夕刊 滿洲日報 六月二十八日

今月中に確定完成する 海軍新國防計畫の大綱

來週中元帥府御諮詢を奏請後 豫算の編成に着手

【東京二十八日發電】軍令部で立案計畫中であつたロンドン條約兵力量に基く新國防計畫については先般谷口新軍令部長が伏見大將宮殿下及び東郷元帥に計畫の大綱を説明して諒解を求めつゝあつたが二十七日に至り谷口部長は永野次長、安藤航空本部長及び及川作戰班長と最後の研究協議を遂げた結果新國防計畫案は今月中に確定完成することゝなつた、依つて谷口部長は更に一、二度東郷元帥を訪問して充分なる諒解を得たる上來週中には條約兵力量の元帥府御諮詢を奏請するものと見られる尚ほ軍事參議官に對しては先例なき事とて正式の會合を行はず非公式に財部、谷口兩大將より説明して諒解を求めることゝなる模樣である、尚新國防計畫は作戰上嚴秘に附されてゐるが、大要は左の如くである

一、潜水艦二萬五千噸の補充作戰
軍令部で研究の結果潜水艦二萬五千噸の不足は航空機の擴張整備及び砲臺の新造等に依りやゝ完全に近く補充し得る、即ち航空機の擴張整備においては現在十七隊の航空隊を更に十數隊增設する航空母艦一隻一萬二千噸を新造し從來の航空母艦と共に母艦收容機數をその最高度まで增加整備する、主力艦及び巡洋艦潜水艦の艦戰機を增加する、砲臺の新設については從來潜水艦に依つて近海防禦をなし得た海面を新設の砲臺にこれを委ねる

二、八吋巡洋艦の七割補充作戰
八吋巡洋艦が七割以下となる一九三六年以後においてはそれまでの期間中において六吋巡洋艦及び各種軍艦の性能を極度に發揮せしめ八吋巡洋艦に對抗し得るものとす、即ち六吋巡洋艦においてはその十六%を驅逐艦より融通して多數の六吋巡洋艦を保有しその六吋砲の威力を八吋砲の威力に匹敵し得るものたらしめると同時にその速力をして八吋巡洋艦と同一戰線に立たしめ得るため速力を增加する各種軍艦の性能を極度に發揮せしめるため特定修理を完全に實行する

三、制限外艦艇の建造
以上潜水艦及び八吋巡洋艦の缺陷にしてなほ補充し得ざるものは制限外艦艇の研究及び建造に依つて之を遺憾なからしめる

四、以上の具體的補充國防計畫の外今後は更に一層戰技及び演習に決死的訓練を實行する

右計畫案の實行は今後軍令部と海相との折衝に依り豫算化するはずである

御眞影を御下賜 軍司令部及び所屬各部隊に

關東軍司令部及び隷屬各部隊には來る七月五日頃聖上兩陛下の御眞影を下賜せらるゝ由

蔣氏の作戰通りに 戰局は有利に展開

用務は葫蘆島起工式參列のため 蔣氏特使張群氏語る

蔣介石氏の密命を帶び秘密裡に赴奉する上海特別區市長張群氏は此程南京政府より青島特別區市長に推薦せられた胡若愚氏同道、廿八日正午入港の奉天丸で來連したがこれより先奉天政府ではこれが出迎への爲特に東北交通委員會委員兼總務處長盧景貴氏、同路政處長鄭祖推氏、同郵傳處長莊斌氏一行五名を出迎への爲來連せしめ一行は既に本朝八時着連、埠頭に張群氏の出迎へた、一方張氏は船中サロンで中山服姿で記者團の質問に對し極めて明快な態度でH本語をもつて答へる

自分の赴奉に對しては色々いはれるであらうが今度の奉天行は南京政府から命ぜられて代表として來月二日擧行られる葫蘆島港の

起工式に 參列する爲で、色々なる重要任務云々など傳へられてゐる樣な事は全くない、この方の件では既に吳鐵城氏や劉光氏なぞが專門で張學良氏と種々協定中だから、何にも今更自分等が乘り出す筈はなからうぢやないか、しかしとかく君達に色々想像される事は仕方ないとあきらめてゐる、昨年自分が日本を二度許り訪問したがその時も只大した用件もなしに行つたのにさも大任務を脊負ひ込んで行つたやうに書き立てられた樣なものさ、自分は餘り時局に對して語りたくないが、もう

北方にて 發行してゐる新聞なぞは情報が北側から入り易いので記事の正鵠を期し難い樣に思はれる、勿論今度の反蔣軍との戰爭は最初のうちはとても中央軍不利であつたが、最近自分が此方に來る頃から漸次好轉しつゝある樣だつたし又蔣介石氏も豫定の行動として形勢の好轉を機として決戰を交へやうとの肚らしく思はれた、初めから最後の決戰の結果は中央軍が勝つものと見られてゐるが、元來戰爭といふものは戰略家からいはせると地の利を得て戰の

指導權を 握るといふ事が必要で戰ひを導くといふ事が結局勝利への道で、この點昨今の形勢は中央軍が支配權を握つたやうに思はれる、南京、上海の方は割合靜かで僅かに長江沿岸大冶を中心に共產黨に名を藉つて土匪が出沒してゐる位のものである、自分はこちら殊に大連には民國四年、もう十五年程前に一度來た切りでその折はよく觀察する機會もなかつたし今度こそ色々市政方面につき調査もし視察もしたいと思つてゐる、又

張學良氏 とも一度も會つた事もないのでこの機會に是非面談したい考へだ、出來れば大連に一兩日滯在したいが總ては出迎への人達の相談の上の事だ葫蘆島には一度赴奉した上で日取を決定出發するつもりである葫蘆島もやはり市政方針に色々參考になる事があるやうに見えるし又あそこは內外ともに重要視してゐるところだからよく視てくる事にする

けふ來連の張群氏（中山服姿）と胡若愚氏（支那服）

青島市長就任はまだ決定しない

けさ來連の胡若愚氏語る

南京政府より青島市長に推薦を受けた胡若愚氏は同じく葫蘆島起工式に列席の爲と稱し廿八日入港奉天丸にて上海市長張群氏と共に來連したが、同氏は船中語る

自分はさきに奉天に來て居た李石曾氏と一緒に上海に行つたもので、今度は南京には行かなかつた、私の青島市長問題はまだ就任するともしないとも考へてゐない、現市長葛氏とは親友の間柄で今度も面會して來たが、病氣なのでその見舞旁々行つたに過ぎない、張群氏とは態々同船した譯でなく偶然乘り合したのだ、來滿の目的は張氏同樣七月一日行はれる葫蘆島の起工式に參列するものである

蔣氏代表劉氏南京へ

國民政府より蔣介石氏の密命を帶び先月初め「學校教育視察」に藉口して來連赴奉した中央派代表劉光氏は廿八日出帆の榊丸にて上海經由南京に歸任の途に就いたがさきに同じ目的の代表李石曾氏の引揚げを見、今日又劉氏の引揚げを見たるは或は張學良氏との間に何等か具體的協定を觀たものではないかといはれてゐるが船客を閉ざして面會せず一說には中央は奉天側に更に別人を代表として出すのではないかと

靳雲鵬氏赴奉

【北平電二十八日發】前國務總理靳雲鵬氏は吳佩孚氏の命を帶びて近く奉天に張學良氏を訪ね時局について協議する豫定

山東交涉處長

【北平二十七日發電】閻錫山氏は濟南占領後同方面の對外關係重大化せるに鑑み外交處アジヤ課長祝惺元氏を山東政府交涉處長に任命即時赴任すべきを電命し祝氏は本日午後四時津浦線で濟南へ向つた

高、劉兩軍に挾まれ 膠濟線の韓軍孤立

李生達軍泰安を占領

【濟南特電二十八日發】劉珍年氏は武力で韓復榘軍の東進を阻止することに決定し目下山西軍と打合中、高桂滋軍は諸城で韓軍の南進を防ぐことになつたが韓軍は膠濟沿線に孤立となつた、泰安は二十六日李生達軍に占領され馬鴻逵氏は全軍を率ゐて東南に退却した

滿珠十題　統軍亭下望鴨江　小杉放庵

濟南の治安完全に維持さる

山西軍排日ビラ貼出を禁止

【濟南特電二十八日發】濟南の治安は第九軍馮鵬▼氏によつて維持されてゐるが山西軍は在留日本人の誤解を恐れて市街に排日標語の貼出を禁止した、南京系の省政府委員は全部青島へ引揚げ濟南青島間の客車は車務處長加賀山氏の努力にて通じてゐる

邦人婦女子避難所から復歸

【濟南二十八日發電】濟南引渡し完了後市中の秩序は平穩に復舊されてゐるので西田領事は邦人婦女子等の避難命令を解除し二十八日朝食後解散した、同留民避難中の衛生狀態は幼兒死亡一名、下痢患者十名餘りであつた

天津濟南間近く開通

【天津特電二十八日發】濟南が山西軍に收められたので津浦鐵路局では黃河鐵橋の修理に技師職工等を急派した、天津濟南間の列車も數日中に開通する豫定

平漢線の南軍駐馬店集結

【北平特電二十八日發】平漢線の南軍は全部駐馬店に集中し何成濬氏始め各將領も同地にて反攻を策してゐる、徐源泉軍の一部が寢返つたのは事實である

東鐵技師俸給

【ハルビン廿八日發電】東鐵管理局長は理事會の承認前に左の技師に對する俸給額を決定した
工務課技師デ・ウーマレウエンナゴ六千金留、機務課マルテンコ技師四千八百留、イ・ベ・マリコワ五千百留、工務課スミルノフ第九區管長技師四千八百留、機務課セマノワ六千留、ヘーシナ八千留
尙イリンスキー氏は歸廳後交通部代表委員となり現在はモスクワにおける監督の地位に就任した、尙新任のベ・イ・ガルブゾフは五千百金留である

ロシヤ共產黨大會

ス氏反幹部派の反對を一掃し 圓滿に終りを告げん

【ハルビン特電二十八日發】蘇聯共產黨第十六回大會は廿五日からモスクワにて開催、各地から約二千の代表者參集しスターリン氏はコルホーズ農村政策の擁護、反對派の根本的一掃に關し長廣舌一席全黨の注目は本大會に集中されてゐるが、反幹部派は多少スターリン氏の農林政策に鋭いメスを振ひ攻擊を加へるであらうが、スターリン一派は既に議員の懷柔に成功せるため大勢は圓滿に終了するものと見らる

關東廳一部異動

けふ午後四時發表

關東廳高等官一部異動は廿八日午後四時發表になる筈であるが、森本勝巳氏の警務課長新任及び增田衞生課長の金州民政支署長田邊同支署長の衞生課長轉任等は確實と見られてゐる、尙文書課長、大連取引所長等の新任も發表されるかも知れぬと

米上院ロ氏 軍縮條約に反對

【ワシントン二十七日發電】上院議員ロビンソン氏は本日放送してロンドン條約は主としてイギリスの希望を滿たし折角アメリカが建造してもこの根據地のないやうな巡洋艦を建造する事、又日本の比率を增加したがアメリカは代償として何等得る處はなかつたと述べた

我鐵道技師派遣要求

ペルシヤから

【東京特電二十八日發】鐵道省では今春ロシヤ政府の依頼で數名の技術員をロシヤに派遣し技術の教習に從事せしめつゝあるが、意想外の大評判でアメリカあたりでも大いに日本の鐵道技術の進步に驚嘆してゐる有樣で江木鐵相の鼻高々であるところへ、今度はペルシヤより同國駐在の笠間公使を通じて鐵道技師一兩名を同國に派遣して技術指導に當らしてくれとの依頼があつた、同國は何分僻陬の地で言語も不自由なため詳しい事情は判明せぬが種々取調べたところ、目下建設中のアストラバッド・テヘラン・モハーメラを結ぶ國有鐵道の工事につき土木技師を派遣して欲しいとの要求らしく、鐵道省では出來る限りこの友邦の申し出でに應ずべく技師派遣の條件等に就き外務省を通じ同國と交涉を進める一方、目下人選中である

竹內博士歡迎會

藏前工業會滿洲支部にては今般東京明電舍の竹內壽太郎博士が廿九日の香港丸にて滿鮮視察の途來連を機として廿九日午後七時よりヤマトホテルにおいて同博士の歡迎會を催す、會費金五圓申込はヤマトホテル（電三一一一番）中野へ

伍堂製鋼社長挨拶

【東京特電二十七日發】今朝入京した伍堂昭和製鋼社長は同日午後三時仙石總裁を訪ひ挨拶した

ほんこん丸船客

【門司特電二十八日發】廿九日大連入港豫定のほんこん丸の主なる船客
新任正金銀行大連支店長鷲尾磯一、三村和一、竹內德亥、紅松雄、竹下重太郎、河野久太郎、石田健一郎、川口市之助、牟田口格郎、片山專之助、高等法院長土屋信民、岡田卓雄

人事

▲千秋寬氏（元鞍山製鐵所長）廿七日夜行で來連ヤマトホテル投宿
▲竹內壽太郎氏（工學博士明電舍技師長）は滿鮮視察のため廿九日入港の香港丸で來連
▲大淵三樹氏（新任滿鐵東京支社長）廿八日入港奉天丸にて上海より來連、一日出帆香港丸にて上京赴任の途に上ると
▲胡若愚氏（南京政府衞生處長）同上來連
▲張群氏（上海市長）同上
▲鄕敏氏（滿鐵社會事務所長）廿八日出帆榊丸にて上海へ
▲劉光氏（南京政府代表）同上
▲山崎元幹氏（滿鐵涉外課長）廿八日出帆うらる丸にて內地へ
▲西山左內氏（關東廳財務部長）同上
▲本位田祥男氏（帝大教授）同上
▲藤井十四三氏（滿鐵下關案內所主任）同上赴任

大觀小觀

今さら金輸出禁止などを提唱するものあり、事業家は金融業者と立場が違ふか。
◇
北軍の南進、意外に急激、蔣氏の頑張り徐州を死守すと、また下野外遊の奥の手を出さねば。
◇
支那でも減俸するといふ。支那の文武大官に月給などアテにしてゐるものあるか知ら。
◇
大連郵便局けふ落成式、輪奐の美と共に內容の充實、奮起を期せよ。
◇
三方、四方、海に惠まれ居る大連の時代が來た。
◇
海へ、濱へ、健康を求めて長風に吹かるべきである。

天氣豫報

廿九日（南西の風）晴一時曇
滿潮 午後零時十分
干潮 午前五時二十分 午後六時五十五分

財界對策を懇談

日銀、民間銀行家と

【東京廿八日發電】日本銀行では民間銀行家と財界對策に關する懇談會を開く事となり廿八日午前十一時より東西シンジケート團の代表十五氏を招き日本銀行側より正副總裁、各理事、大藏省より井上藏相等出席し先づ土方日銀總裁の挨拶あり井上藏相より財界不安一掃に對する銀行側の援助努力を要望する處あつて懇談に入り隔意なき意見の交換を遂ぐる處があつた

吉長鐵營業不振

借入金の償還不能となり 滿鐵に延期方を交涉

【吉林廿八日發電】滿鐵の委任經營に係る吉長鐵道は滿鐵より六百五十萬圓を借入れた時より起算して十一年目即ち民國十七年より每年二十分の一宛を償還する契約になつて居る、而して十七、十八の兩年は完全に義務を履行したが、本年度に入り吉海線全通に因る營業不振に加ふるに銀安の影響を蒙り收入は例年の半に減じた爲め滿鐵への償還不可能となり目下吉長鐵路管理局會計處より滿鐵に向つて延期方照會中であると、猶韓鱗生局長は平素齊副局長との關係面白からざる上に最近局員の增俸要求問題等もあつて地位に留まることを欲せず、他へ轉職の希望を懷いてゐることは確であると

日伊貿易不振原因 井上領事歸朝談

【ハルビン特電二十八日發】井上ミラン領事は賜暇歸朝の途廿七日歐亞聯絡列車にて來哈、八木總領事の出迎へを受けた氏は驛頭にて語る
日伊の通商は一ケ年輸出入約二千萬圓、ミランは商業の中心地だが多くの日本人はローマ、ナポリを見物しミランを見るもの少く自然イタリーを解せぬため日伊取引は發展せぬ又イタリーの物產絹糸その他が日本と似てゐる事も一つの原因だが漆器その他特有の品ももつと立派な品を輸出すれば好いと思ふ、ムツソリーニ氏の政策は徹底してゐる、氏は國定忠次式人物で親分乾兒の綠により結合されてゐるミラン市は百萬の人口で發展する餘裕あるも農村から青年の集まるを防ぐ爲市の發展を政府は限定してゐる、余は九月歸任する

嚴正中立に立歸つた奉天派

閻派溫壽泉氏の活動奏功す

【奉天特電二十八日發】最近南京側にては張學良氏が陸海空軍副司令に就任の意思があるとか東北軍の關內出動の諒解運動が進行してゐるとか或は張學良氏は積極的に閻錫山、馮玉祥兩氏に對して強硬なる

停戰調停 を試みることに決意した等の種々の宣傳に大童になつてゐるが、これ等の宣傳は戰局不利なるため徒らに東北側に空恃みしてゐる南京側の焦燥振りを暴露してゐるのだと奉天では觀てゐる、尤も最近の東北側の態度は李石曾氏の奉天における活躍に依り青島の警備權を東北海軍に附興するとか張學良氏お氣に入りの胡若愚氏を青島市長に任命する等の南京側の抱込策が相當奏効して張學良氏周圍の少壯派の親南京熱が昂まり張學良氏も幾分これに引摺られ氣味で全體の空氣は可なり蔣介石氏援助に傾きかけてゐたのであるが、この形勢を見た

閻錫山氏 側は大いに狼狽し溫壽泉氏を故張作霖氏二周忌祭參列の理由で奉天に急派し張學良氏と張作相氏等の所謂舊派に對し猛烈に南京側との提携破壞を勸說せしめたのであつて悉く溫壽泉氏の運動の結果とはいはれないまでも張作相氏以下の文武舊派は從來の反南京主張に輪をかけて一致して援蔣阻止、嚴正中立を張學良氏に進言しこれが爲め張學良氏も萬更色氣が無いでもなかつたところの陸海空軍副司令の就任を拒絕せざるを得なかつたのである、即ち今日の東北政權は再び確乎たる

嚴正中立 に立歸つたのであつて胡若愚氏あたりが青島市長に任命された位では東北の根本方針には何等の影響を及ぼすものではない、傳へらるゝところの積極的調停說などは全然問題とされて居らず偶々南京側の藁をも摑む溺者のあがきを我から語るに過ぎない、現在の戰局の勝敗が決定するまでは東北は如何なる方面から如何なる誘惑と宣傳を受けても飽くまで中立の殼に立籠つて沈默を續けるであらうことは斷言し得るところである

天津を奉派の勢力圈に

山西派が讓渡

【奉天特電二十八日發】南京側が青島の地盤を好餌として東北側抱込みを策してゐるのに對抗して閻錫山側は天津市政を東北に讓り渡し現北寧鐵路局長高紀毅氏を市長に任命する意嚮あり既に滿寧中の山西代表楊廷溥氏を通じて張學良氏の同意を求めてゐるが現在北寧鐵道は完全に東北側の掌中に在り鐵道に關する限りにおいては天津は東北側の勢力圈に在るのが同鐵路局長であつて東北政權における一方の雄である高紀毅氏を天津市長に任命することは相當實現性を有するものと觀られてゐるが戰局の推移たほ逆睹を許されざる今日張學良氏は輕々に同意を表せざるべく縱んば同意を興へたとしても高氏が實際に就任するまでには相當の時日を要するであらう

モダン大連郵便局 けふ華々しく新築落成式
旅大の知名士多數を集めて 祝意を表す低空飛行

大連の摩天樓——モダーン大連郵便局の新築落成式は二十八日正午から大連全市を眼下に見下す同局屋上庭園に於て行はれた、同郵便局は關東廳に於て豫算八十八萬三千圓を計上し四ヶ年繼續事業として昭和二年十月二十七日起工し翌年六月二十七日

定礎式 を了へ昭和四年十一月二十七日竣工したもので建築は近世復興式、地階を合せて五階建、建坪六百九十六坪餘、高さ前面建物地盤から扶欄上端迄直七十五尺、塔屋上部アンテナポール上端まで百二十五尺、室數七十餘、總延坪二千九百五十七坪餘でその規模の宏大、輪奐の美は目も綾なす許りである この日出席の知名士は太田關東長官、三浦內務局長、厚東要塞司令官、藤田經理部長、大平滿鐵副總裁、神田大連民政署長、西山旅順民政署長、永井市助役を始め市會議員、各關係知名士、沿線各郵便局所長等約五百名、これより先き午前十時より

招待者 を遞信展覽會に案內し定刻開式したが、勝頭和多野郵便局長開會の辭を述べ、櫻井遞信局長の式辭に次いで關東廳臼井技師工事報告をなし太田關東長官の告辭ありて來賓の式辭に移り遞信大臣(篠原遞信局庶務課長代讀)大連市長(永井助役代讀)滿鐵總裁(大平副總裁代讀)田東北交通委員會郵便局長、朝鮮遞信局長(中山遞信局監理課長代讀)村井商工會議所會頭、張大連華商公議會長、龍小尚子公議會長、加藤元遞信局長等の式辭あり、和多野郵便局長の挨拶あり祝宴に移つたが、櫻井遞信局長は杯を擧げて來賓一同の

健康を 祝せば、大平滿鐵副總裁また盃を擧げて遞信從事員の健康を祝し主客歡をつくし同二時散會した、この日航空會社ではモダーン大連の上空にシューパー機を飛ばし「モダーン大連郵便局內の遞信展覽會を御覽下さい」「飛行機上より遙かに大連遞信展覽會の盛會を祝し市民各位の御健康を祈る」等と印刷した紅白、青紫とりどりの宣傳ビラを撒布し祝意を表し景氣を添へた

遞信大臣祝辭

大連は滿洲の門戶にして通信機關の整備に一日も曠くする事能はざるは固より言を俟たず、然るに當局舍は日露戰役後僅に戰禍を免れし民家を充用せしものにして從來執務上に多大の不便を伴ひしは識者の齊しく遺憾とせし所なりしが、今や局舍新營の工成り其の備ふる幾多斬新なる設備は當局各位の熱誠たる努力と相俟ちて克く全滿通信系統の中樞機關たる使命を達成する事を得、內地との通信連絡亦是より全く其の面目を一新せらるゝに至らんとするは余の太だ欣快とする所なり、本日大連郵便局々舍新築落成式に當り一言以て祝辭と爲す

昭和五年六月二十八日　遞信大臣　小泉又次郎

けふの寫眞 (上)太田關東長官の祝辭(中)祝賀飛行の日本航空輸送のシューパー機(下)新廳舍屋上で開かれた祝賀宴

菱刈司令官 初度巡視 けふ關東倉庫その他を

新任の菱刈軍司令官は初度巡視のため恒吉高級副官、今村副官、板垣參謀を隨へ二十八日午前九時五十分自動車にて大連に着いたが、直ちに滿鐵本社に向ひ、大連神社忠靈塔に參拜して關東倉庫に入り晝食を攝つた、午後は憲兵分隊を視察し同二時三十分自動車にて歸旅した

けさの出船 うらる丸賑はふ ◇—知名士を滿載して

廿八日出帆のうらる丸、知名の士を滿載して初夏の朝陽を向け旅立つた、先づ關東廳財務部長西山佐內氏は六年度豫算方針につき拓務省、大藏省側と重要なる協議をなすため上京するのであるが船中で語る

例によつて豫算關係の仕事で行つてくる往復一ヶ月の豫定であるが或ひは

永びく かも知れない、新聞なぞで本年度豫算計上方針に關して色々いはれてゐるが結局政府の方針である低減縮小主義である、細かい數字に就いては何とも今のところいへないが、とにかく警備費や、產業助成等在滿邦人の福利增進に關するものに對しては是非努力してとつておくつもりでゐる、そんな事で主として大藏、拓務兩省に打つかるつもりでゐるが時節柄成功すれば好いと考へてゐる、昭和製鋼所の問題も何だか

目算が ついた樣に新聞で報ぜられてゐるが事實だらうか?自分としてはまだそこまで話が進んでゐる樣にも思へない、また新官制の制定に關しては日下殖產課長が上京打合せるが自分で出來る事は私でもやつても好いと思つてゐる

なほ今回の滿鐵職制改正に伴ふ人事異動で涉外課長に榮轉した山崎元幹氏も同船上京したが「三週間の豫定で東京の各方面に

挨拶に 行くに過ぎない、仙石總裁も在京中の事だからかへつてあちらの方が仕事が多いだらう」と多くを語らず、同じく下關鮮滿案內所長に榮轉してゆく藤井十四三氏は多數の見送り人に圍まれ「久しぶりで內地勤めです在滿中は色々ありがたうございました貴紙を通じてよろしく」とあり、また十日間に亘り消費經濟問題に關する夏期講習に講師として招聘された帝大教授本位田祥雄博士はこちらに來て非常に參考になる事を見たり聞いた

滿鐵の 消費組合なぞの組織はなかなか立派なのに驚いた機會があつたら又來たいと思つてゐる

それに市役所を勇退した上田恭馬平氏「故鄉に歸りますよ色々お世話になりました」と簡單な挨拶を交してゐた

悔悟の淚に……盜みの若僧 天理敎々師も犯行を認めて けふ夫々求刑さる

佛樣と神樣の公判が廿八日午前十時から大連地方法院二號法廷で長島判官係り今村檢察官事務取扱立會の下に開廷された

◇

被告は市內播磨町西本願寺別院僧侶木下晃龍(二四)—判官の審理が始まると被告は人目も恥ずワッと泣き伏し「佛に仕へる身でありながら何んと恐ろしい罪を犯した私でせう」と悔悟の言葉のうち犯罪事實を申し立てた

私は去る九日午後九時ごろ當直の福原了叡が入浴に出た後で、獨りションボリと四十圓の借金返濟方法に就いて考へ拔いてゐました、その時目に留つたのが寺の金庫です、前後のわきまへなく中を開けると手の切れるやうな十圓紙幣が一千圓あるではありませんか、ムラムラと惡心が起き件の手提金庫を抱へるなり若草山に逃げ込みました、犯跡を晦すため外部から泥棒が忍び込んだ樣に窓硝子を破壞して置きましたが犯行直後捕へられたのです、今は悔悟の情に堪へず淚の日を送つてゐます

素直に犯行の事實を申立てゝから法廷の板の間にヒレ伏サメザメと泣き崩れた、立會檢察官は被告に懲役六ヶ月を求刑した

◇

次いで神樣の裁きに移り被告市內天神町七〇番地天理敎々師中原巳之助(二八)が獄中生活にやつれた姿で法廷に立つた、同人は青年時代から惡の道を辿り內地で窃盜、詐欺、賭博で前科三犯の兇狀を持ち世間の爪彈き者であつた、ところが大正十四年七月下旬軍務演習に召集された際、中隊長から懇々と說諭されてから悟りを開き、神に仕へて過去の罪行を淸め正道に就くべく奈良縣丹波市の天理敎學校に入學、大正十五年四月卒業と同時に本部の許可を得て大連に派遣されたものであるが、フトした動機から茶屋遊びの味を呼び覺ましばしば遊里の巷に足を踏み入れるやうになつてから遊興費に窮し罪惡を重ねたもので、彼も神仕へ神を說く身を忘れ再び邪道に落ちたことを深く悔ひ判官の問に對し逐一犯行を認めた、立會檢察官は懲役八ヶ月を求刑した

行李詰の妻と列車逃走を企つ 酌婦稼業中を連出して

【小倉二十八日發電】二十七日午前十時ごろ小倉驛に柳行李を持參長崎線早岐驛託送申出た男あり斤數超過のため拒絕され引取つたが右行李運搬の自動車運轉手が怪しと睨み小倉署に屆出たので搜査の結果、同市高砂町杉浦千代吉方下宿人、長崎縣北松浦郡山口村岩崎貞任(三一)同人內緣の妻、愛媛縣上浮穴郡浮穴村矢野竹子(二〇)の兩名の仕業と判明、岩崎は本年四月小倉市大正町料理屋奧田シズ方に竹子を前借三百圓で賣附け二百圓持つて岡山縣教員養成所に入つたが見込みなく前記杉浦方に止宿中、竹子が持病に苦むので逃走を企て相談のうへ竹子を行李詰にして小倉驛より發送せんとしたもので、竹子は行李中で逆樣に入れられてゐたので瀕死の重態に陷つてゐたため目下小倉署で前借詐欺の罪名で取調中である

前科數犯の窃盜犯逮捕 入質で足がつき兩名ともに

原籍高知市本町三八三當時住所不定杉村克己(三七)は、去る廿三日秋田縣生れ八木長四郞(三九)と共に市內若狹町一一七中野某方より衣類十數點を窃取し、西公園町木谷質店に入質し逢坂町で豪遊してゐるのを入質贓品より足がつき、廿七日夜小崗子署刑事に逮捕された、兩人は何れも窃盜前科四犯五犯を有する强かもので餘罪も多數あり引續き嚴重取調中

露官憲漁船を拿捕 邦人漁夫一名を射殺す カフラン灣で發砲追擊のうへ
驅逐艦『松風』直に出動

【函館二十八日發電】カムチヤツカ西海岸におけるロシア側監視船は遂に日本の川崎船を拿捕し險惡な風雲に蔽はれてゐたが、遂に血迷へるロシア官憲は邦人漁夫の射殺事件を惹起し驅逐艦松風は二十六日大湊を拔錨カムチヤツカに出動するに至つた、事件はカフラン灣に出漁中の日本工船會社蟹工船遼東丸所屬川崎船第二十三國丸(十九噸)が去る二十四日領海侵入の嫌疑を受け、突如ロシア監視船オロスコイ號から發砲追擊のうへ一名を射殺、漁船を拿捕して領海內に在るステチチ島に曳航、乘組員十五名を監禁してそのまゝ同島より姿を消した

外務省を通じて嚴重抗議す

【東京廿八日發電】蟹工船遼東丸附屬「三國丸拿捕並に邦人漁夫射殺事件調査のため急航した農林省監視船錦糸丸より農林省に左の如く入電あつた

二十三日カムサツカ西海岸カフラン灣岸を隔つる三海里二分の一標識から約五哩の沖合で作業中、ロシア監視船のため發砲拿捕され乘組の船頭函館市水島松次郞は死亡し、その他相當負傷者ある模樣である

右に基き農林省では拿捕現場が領海外なること明かになつたので外務省を經て嚴重なる抗議を發すると共に即死者負傷者への賠償を要求したが、目下カフラン灣附近一帶は日露兩國工船が入り亂れて作業中で何時事件を惹起するかも知れぬので、監視船を同所にとゞむると共に驅逐艦朝風に嚴重監視警戒を依賴した

不實の妻に離婚の訴へ 廿六年間連れ添つたが

市內寺內通四一番地田原實一は、正妻たる龍田町百九番地大松洋行方田原トモを相手取り廿八日離婚請求の訴訟を大連地方法院民事部に提起した、理由は實一はトモと明治三十七年正式結婚したが妻が性來の粗暴で家庭に風波の絕間なく、昭和二年九月手切金二百圓を渡し別居した、其後トモは夫の惡口を世間にふれ步き甚しきは禁制品の密賣をするといふて警察に虛僞の訴へをするなど、忍び難い侮辱を與へ到底同棲し難いといふのである

早大劍道部 滿鮮武者修業 高野佐三郞氏に引率されて

【浦和二十八日發電】當地在住の高野佐三郞範士は來る八月十日から九月十日まで早大劍道部員二十五名を引率し、滿鮮を武者修業する筈である

大評判の新柄浴衣

二萬圓大懸賞つきの『婦人俱樂部浴衣』は、賣出し早々飛ぶ樣な賣行、染と質が素敵によくて、値段の安いのが婦人間に大評判である。

臨時競馬(五日目)

星ヶ浦臨時競馬第五日目午前中の成績左の如し

▲第一競馬(春抽)千八百米第一着春美(山本騎手)二分三十六秒四 第二着龍ヽ(一馬身半)第三着(陀)偉鋼(大差)配當十六圓八十錢

▲第二競馬(新古呼)千八百米第一着隆洞(堤騎手)二分二十四秒四 第二着松島(一馬身)配當六圓二十錢

▲第三競馬(各抽)千八百米第一着春日(山下騎手)二分二十六秒一 第二着日之丸(一馬身)叶(半馬身)配當十三圓十錢

▲第四競馬(春抽)千六百米第一着昇光(福島騎手)二分二十一秒四 第二着春光(鼻)第三着龍王(大差)配當六圓二十錢

實業新人チーム旅順に遠征

實業團フレッシュマンチームは旅順關東廳千歲クラブの招聘に應じ二十九日午後二時より旅順グラウンドにおいて對戰することになつた、メムバー左の如くである

投中田 捕平武 一田津 二田山 三西小 遊藤安 左永池 中原上 右川中

富士紡川崎工場に爭議 職工解雇から

【川崎二十八日發電】富士紡川崎工場では二十七日事業整理のため從業員男工二百三十四名、女工百四十四名計三百七十八名を解雇し直に特別手當、普通退職手當をそれぞれ支給したが大正十四年の大爭議に鑑み工場內は憲兵隊が嚴重警戒した、一方解雇從業員は二十七日午後六時總同盟指導の下に爭議團を結成し解雇者の復職要求その他五箇條の要求を決定し六名の交涉委員は二十八日工場側に交涉をなすはずである

相模紡も動搖

【平塚二十八日發電】神奈川縣平塚町相模紡績では操短實施の結果として最近男女工二百名を解雇したが今後なほ犧牲者を出さぬとも限らず職工は動搖してゐる

日曜の催物

▲黑石礁水泳場開場式 午前九時から同場で ▲實滿硬球庭球戰 午前九時から中央公園滿鐵コートで ▲池坊生花會 大連橘會主催で富浦一式の花會を天神町常安寺で

第十四期決算公告

貸借對照表(自昭和四年九月廿一日 至昭和五年三月二十日)

借方	
拂込未濟株金	七〇〇,〇〇〇・〇〇
建物	四五一,一四四・三〇
土地	一七,三一七・九七
機械	一九〇,一〇三・六八
器具	五七,八一〇・九五
什品	一五,七五五・七七
貯藏品	四一,七六二・四四
製品	六九八,六四〇・七七
未收入金	一一七,五五四・三九
假拂金	二〇三,四九二・二〇
有價證券	二,〇〇〇・〇〇
銀行貸金	三三九,一三六・〇〇
他店貸	一〇〇,〇〇〇・〇〇
現金	三五三・九九
合計	二,六六九,一四三・九九

貸方	
株金	一,二〇〇,〇〇〇・〇〇
法定積立金	一三〇,〇〇〇・〇〇
特別積立金	九〇,〇〇〇・〇〇
所有物償却積立金	一六〇,〇〇〇・〇〇
從事員退職基金	五〇,八〇七・〇〇
社員貯金	一一〇,六八三・一三
未拂金	一〇四,八六七・四六
假受金	七七三,七五八・六六
前期繰越金	九,九九二・三六
本期利益金	一二六,七八三・一八
合計	二,六六九,一四三・九九

利益金處分案

借方	
本期利益金	一二六,七八三・一八
前期繰越金	九,九九二・三六
合計	一三六,七七六・五四

貸方	
法定積立金	六,〇〇〇・〇〇
特別積立金	五〇,〇〇〇・〇〇
所有物償却積立金	八,〇〇〇・〇〇
從事員退職基金	八,〇〇〇・〇〇
重役賞與金	一〇,八〇〇・〇〇
株主配當金(年八歩)	三八,〇〇〇・〇〇
次年度繰越金	一五,九七六・五四
合計	一三六,七七六・五四

滿洲船渠株式會社

艶色生膽祕譚 (156)

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

毒盃(二)

御殿お仙の秘密を發くつもりはなかつたが、宿醉疲れの不快さに堪へかね密室の重苦い空氣から脱れやうとつい天井窓を開き、地下部屋まで開けてしまつた右近、

「あツ……」

と思はず一聲ふりかへれば、いままで壁としか見られなかつたにかくし戸だつたか、湯上りに濃い化粧すませたお仙が、しどけない姿態して、媚態こめたまなざしで聲高く笑つて立つ。

「ほ、ほ、ほ、珍しくも御座んすまいに、左近樣、神奈川宿のブランウヰーラあの異人館への生贄おろし、ありやたしか血卍組が御本家でござんしたねえ」

右近は苦笑にまぎらせた。

「さぞおうつとうしいでござんせう、一風呂お浴びなすつたら、五三郎も今夜は暇を出してやりましたよ」

「よかろう、湯上り迄はまたひとしほぢや、愉ます喃」

右近はテレかくしにかう云ひ乍ら廊下へ出た。

「憎い口をお利なさる」

お仙は朗かな笑ひを浴びせた。

風呂場は狹かつたが、その構造はこれまた奇怪至極だつた。

むごたらしい死を遂げた檜物町の清五郎が、曾て大黒屋才兵衞が手に入れる前さる大藩の老隱居の普請道樂を滿足させるため腕限り、根限り、巧をつくしただけのことはある。

ゆつたりと風呂に浸つたまゝのびのび身體を横にして、しかも向ひ側の欄間につくりつけられた鋼鏡で一杯飮めやうといふ凝つた趣好。

高い天井にこそ入れ交り格子がきつてあつたがそれとてもひいてしまへば宛然密閉された罐も同樣御馳走こめれば蒸し風呂とも變ずる構造。

右近は鬱しきつた氣持を一掃しやうと、あふるゝ湯桶に身をひたした。

「御ゆつくり、お酒の支度をして來ますよ」

「なに、此處で飮むのか」

「ほほ、ずんとよく廻りまさアね」

一寸嚴法に云ひすてお仙は出ていつた。

「サーツ、サーツ」

風呂場からは浴びる湯の音がとぎれとぎれにきこえてくる。

「どうして左近樣は何一つ打明けて下さらぬのだらう、こつちがから裸の姿をお見せしても、あちらはうまで何もかも曝けだしいはよ素性の一言、血卍のことに觸れても下さらぬ、細腕乍ら明してさへ下されば、お手助けも出來やうかと今日まで思ひつめてゐたものを……」

お仙は酒のかんを氣にし乍ら心ひそかにうらめしく思ふのであつた。

それにしても短からぬこの月日を戀がれぬいた掛軸、思ふまゝの境界に辿りつけたいまの身を未だに夢かと、胸ときめかすのでもあつた。

と、庭前にいとも忍びやかな足音がきこえた。

「はて！」

お仙は息をこらせた。

「昨夜といひ、またしても——」

そつと爪立して廊下に佇めば氣の所爲か邊りはシインと靜まりかへつてゐる。

「おおさう云へばあの鬮川、あれもどうやら腑におちぬ、たんでこの寮へ忍びよつたものか、それに左近樣が譯もなく一刀にお仆しなされたは……いはば同志の響でもあつたらうに、その擬うつかり說ねやうものなら一口もそのことについてはお聞きなされずあのやうな無理を仰有る……」

と、ほんのかすかではあつたが鳴子につれてひそやかな步調が近づいて來た。

「あれツ！」

お仙はすぐさま風呂場へとつて返さうとしたが、

「おお五三郎かしれぬ」

さう思ひ直して手燭をかざし玄關に出て見た。

と、外では忍びやかに訪ふ聲。

「お仙どのが贅か、案内をたのむ」

低くはあるが力づよい。

お仙はグツと息をのんだ。

いまもいま風呂場にのび／＼と湯にひたつてゐる筈の左近が聲ではないか？

と戸外では再びよびかける。

「お仙どのに逢ひたうてまいつた宮川左近でござるよ」

「あツ！」

腦中惑亂してふら／＼ツよろめいたお仙、傍らのついたてにやつとその身を支へて、

「左、左近樣、まア、何時の間に——御戲談にも程がある……」

さう思つた瞬間、風呂場からは

「サーツ！」

湯を浴びてゐる音だ。

「げツ！」

さすが氣丈なお仙もこれをきくと、双脚俄に力を失ひ、ベツタリそのまゝ尻据はつてしまつた。

第六回 滿日勝繼碁戰(井上氏二回勝三回目)

先二子番　秋元豐二郎氏　井上太市氏

○二一への十五　●二二トの十六　○二三への十七　●二四チの十六
○二五チの十七　●二六リの十六　○二七への十四　●二八ハの十五
○二九ヌの十七　●三〇ヌの十六　○三一ルの十七　●三二ルの十六
○三三ヲの十六　●三四リの十七　○三五リの十八　●三六ヲの十七
○三七ヲの十八　●三八ワの十七　○三九ヲの十五　●四〇リの十二

▲都筑四段講評　白廿一の截りは無理の樣です此手を以て廿二に押し黑廿一に粘きたるとき(い)に下りて打ちたい白廿七も無理單に廿九に飛ぶ所黑廿八は卅四に曲る處さすれば白(ろ)黑(は)白(に)黑廿八白(ほ)黑(へ)となりて白は大に困りましよう黑卅六無理隨いて白卅七の綿は卅八に抱へ黑卅七に下れば白(と)に押へて黑惡し

—【2】—

懸賞募集の當選者近く發表

上映日は七月二日で　時代劇『風雲天滿草紙』に決定

本社演藝部にて懸賞募集中であつた本紙連載日活現代劇特作品「この母を見よ」の大連上映日及び同「續上映週間に組合す日活時代劇題名は去る廿五日を以て締切り當日の消印あるものを有効と認めて整理の結果、總應募數一千七百三十一に上り、そのうち日活作品以外の應募數十三票を除き一千七百十八のうち左の如き成績を以て日下花形俳優として人氣の絶頂にある片岡千惠藏主演の「風雲天滿草紙」が選ばれたので目下日活關西支店と交渉中である、尚第一回の「この母を見よ」の上映日は七月二日と決定した

▲風雲天滿草紙　六六七
▲續大岡政談　五一四
▲素浪人忠彌　三六九
▲春風の彼方へ　七九

その他「腕一本」「唐人お吉」「渦潮」「忠直卿行狀記」「落花飛炎」錄等であつたが、右の結果より見ると、時節より大河内傳次郎と片岡千惠藏の主演作品が接戰をつゞけつゝあつたところ、大河内傳次郎の作品は「續大岡政談」と「素浪人忠彌」に割れた爲め片岡千惠藏の「風雲天滿草紙」が遂に最高點を得たものであるが「素浪人忠彌」が目下撮影中で未封切であるに拘らず斯く多數の應募者があつたのは不思議であるが一面大河内傳次郎の新作品を常にファンが注目してゐることを裏書してゐる、尚「風雲天滿草紙」の應募者六百六十七名のうち「この母を見よ」の上映日を七月二日とした正解者は四十名の多數に上つたので本社にて來る七月一日抽籤を行ひ當選者の等級を決定することになつた【寫眞は素顏の片岡千惠藏】

大連 JQAK

六月廿九日午後七時三十分

▲講話(夏向水菓子製造法第一回)　山城黙照
▲薩摩琵琶(小野訓導)　正派横溝湖城
▲萬歳　川田梅丸、海老一鐵丸、三味線眞崎ツネ
▲俗謠數種　唄川田梅丸、三味線眞崎ツネ
▲浪花節(都の夜嵐)　宮川小金丸
▲料理獻立
▲天氣豫報

名武生李吉瑞來る

嚴徹生

支那劇の眞髓は梅蘭芳の演るやうた蕪麗な女形にのみ在るわけではなく、むしろ大部分は老生と武生に存する。

現代武生の第一人者楊小樓が全支那劇を通じての第一人者であることは、辻聽花先生の東日に發表せられた記事でも充分知られる通りであるが、こゝに往年楊小樓と別に一敵國をなして華北に雄飛した天津派武生の頭領李吉瑞がある

彼は功成り名遂げて十數年前から殆ど隱退して居り、特別の義務劇以外滅多に出演しなかつた、處が今度友人往訪の爲め數日前來連したのを機として在連劇通有志の懇情により昨二十七日から三日間奧町永善舞臺で特別出演してゐる

彼の演ずる武劇は天津派の正宗で、特徴は普通の武劇の如き立廻りをやらないで老生の如く歌を主とするのである、その歌調たるや所謂燕趙悲歌の趣を具現せるもので、演ずる役がすべて歴史上有名な忠臣烈士或は正義派の豪傑である所から聞く者をして思はず共鳴同情の感を催さしめ、殊に俠義を愛する日本男兒を感激せしめるのだが、梅蘭芳に飽はれて餘り日本に知られて居ないのは惜しい。

彼の十八番とする名劇「獨木關」は支那劇中滿洲を舞臺とする唯一無二のもの、即ち安東線鳳凰山の傳説に名高い薛仁貴が月下に滿腔の悲憤をやる場面で、李吉瑞が薛仁貴か薛仁貴か李吉瑞かと云はれるはまり役である。

パテーの蓄音器レコード以外にもう聽かれまいと思つて居た彼の傑作を親しく本人に依つて聽くことの出來るのは滿洲否大連に住む者として望外の幸ひである因みに右の獨木關は最終日たる廿九日の夜に演ずる由。

捨丸が返り初日で一圓均一の町廻りでまた映畫界を喰ふ氣▲來月一日から大連劇場で御目見得する村瀬鳥子が下關から各方面に挨拶狀▲そのうちに河部五郎のも來るだらうし、一若改め三代目奈良丸もそろ／＼宣傳の用意▲これに大相撲で七月は大分賑やか過ぎて映畫街は大恐慌▲その上に法政と慶應に人氣を奪はれたら一體あとに何が殘るのか▲夏枯時に悲觀材料ばかりで「これからは金方を從すより方法がありません」

聲明

常盤座は大連映畫界に唯一つの外國映畫專門封切館として新しく斯界に進出することになりました。

顧りみますれば、わが常盤座が大連映畫街に誕生の産ぶ聲を上げまして今日で丁度半歳を經過して居ります。皆樣の御指導、御聲援のお蔭げをもちまして、今日を保ち得たのでございます。憶へば、滿腔の謝意を表明し、合せてそれに報いなければならないのでございますが、いまだそれさあれ、わが常盤座は徒らに惰眠を貪ぼつてゐるときでないことを知つて居ります。

大連映畫戰線漸く多事多難、異常を傳へてゐます。此の内憂的なる局面に彽徊するの愚をさけるべきではないでせうかこゝに於てわが常盤座は『既に行はるべくして行はれざりし』初志を今日こそ斷然、果斷に手を着けるときを迎へました。高らかに旗をかざして、混沌たる映畫街に超然と外國映畫專門封切館とし飛躍することになりました——

行きづまれる日本映畫を見切つて敢然として進出する、この方針、勿論大衆本位をモツトーとして觀覽料金も日本映畫を御覽になるより御安くといふ主義——專念——經營の合理化を標榜して、未踏地の開拓に斧を揮ひ、優秀なる外國映畫封切を前線にわが常盤座はあくまで堅き陣營と、潑剌たる面目を整へて進みます、この勇躍、この壯擧、必ずやわが常盤座の雄圖行く虎、刮目して看るべきものあらんを。

茲に——全力を盡して皆樣の御期待に背かないことを誓ひ、倍舊の御支持と御聲援を希はんとする所以でございます。

連鎖街　常盤座　經營者　小泉友男

財界の眞相を理解して貰つた
保險業者と懇談會後 井上藏相語る

[illegible]る利害關係にある保險業者に眞の事情を理解して貰つて國家の爲め自重して貰はうと諒解を求めたのである、正直のところ昨日は頭を下げて頼んだのだよ、有價證券の評價方法について意見が出た樣であるが商相も聞いてゐたから考慮される事と思ふ政策轉換論は少しも出なかつた

既に株も底入れ 希望に副へやう
矢野恒太氏語る

[illegible]

地場銀票暴騰す
昨止めより二圓卅錢高

昨日來地場鈔票は五十四圓臺の保合商狀に推移せるところ今朝は五十五圓五十錢と昨後場の止めより一圓二十錢方昂騰して寄り付き、ト崩れありて六圓臺乘せを演じ値五十六圓八十錢を入れ五十六、六十錢と昨後場の止より二圓三十錢方暴騰を呈して止めた、これ銀塊高標金安の銀高材料に地場はマバラが賣過ぎたるあととし物薄に崩れありてかゝる暴騰を出したのである、現在地場鈔票は上海標金より約二圓五六十錢見當の上鞘にあり當地では昨今銀を買ひ上海標金を賣り繋ぐといふ現狀であるから上海は引前常に大連筋の賣りで下落し、寄りも弱氣配であるので當地は一段と高値で寄付くといふ狀態を繰返してゐる、從つて當地が上鞘にある間は仕手關係も手傳つて目先き底意覗りと觀られてゐるが銀塊は弱材料がすつかり消へ失せた譯ではないから相當の警戒は必要であらう

黃縣龍口の錢業閉鎖
商人は大打撃 倒產に瀕す

最近龍口から來連した人の話によると

劉珍年氏が最近黃縣龍口兩地の錢業公司(錢の取引所)を賭博と同樣であるとて取引を中止せしめた、兩地の商人は大打撃を蒙り、此儘二、三ヶ月を經過すれば倒產者が續出する模樣である即ち物を賣つても賣上げを送金することが出來ぬと云ふのは大洋も兩も相場が無くなり爲めに買ふ事が出來ず、又滙票を買ふ事も出來ない、更に物を買はんとするにも銅元相場も、大洋相場も無いと云ふ現狀で商賣人は手も足も出ぬ有樣である

勸銀利率据置き認可

【東京二十八日發電】勸業銀行に於ける昭和五年下期貸附金利率は

前期同樣据置きの認可指令が發せられたと

昨年度に於る滿鐵の業績 (二)
豫算と決算の比較 各種事業と決算額

二

今その事實及び營業に關し總括的方面から槪要を見る事として先づ事業の進行狀態を見るために同年度中の事業費豫算額と其決算を對比するに

イ、原豫算額は四千九百七十九萬五千圓で、これに前年度繰越額二千四百十萬二千圓を加へ、更に追加豫算額一千六百六十萬五千圓を加へれば其合計は八千九百九十六萬二千圓である、これに對する決算額は六千三百七十七萬八千圓で、二百五十四萬四千圓の剩餘金を生じこの外事業遂行に至らず次年度に繰越された金額は二千三百六十四萬圓である

右決算額を前年度に比較すると一千八百五十三萬七千圓の增加を來して居るが、之は主として甘井子石炭船積設備、製油工場及鞍山製鐵所增設計畫に對する諸設備完成等に依る增額である、又事業費の次年度繰越額は前年度と略同額で

これを總豫算額に對比すると二割六分強に當つて居るが、其主なる事情を見るに肥料工場關係の六百七十萬圓は全然工事未着手又土地の買收費四百萬圓は交涉不進捗の爲めであり其他外國に注文した車輛及び機械類の未到着等特殊事情に因つたもの多く、大體において事業の進行狀態は極めて順調に進行した、次にその進行狀態を見るために各種事業の同年度決算額を示すと左の通りである

三

鐵道關係=(車輛の建造、複線工事、軌條敷設、用地買收、通信施設、甘井子施設其他の諸工事) 一千九百〇五萬四千圓

港灣關係=(甘井子施設、東寺兒溝、小崗子の海面埋立、甲埠頭岸壁改築、倉庫新築其他の諸工事) 一千百二萬三千圓

鑛山關係=(新發電所工事、古城子、大山南坑、楊柏堡露天掘設備、用地買收、頁岩破碎工場建設其他の諸工事)

製油工場關係=(乾餾爐及瓦斯發生爐、瓦斯加熱爐及瓦斯排送機建設工事、含蠟油蒸餾裝置、含蠟油蒸餾及粗蠟搾取裝置等の諸工事) 九百四十五萬六千圓

製鐵所關係=(熱風爐、貯鑛場、銑鑛爐設備、骸炭消火並に篩別裝備、骸炭爐新設、其他の諸工事) 四百〇二萬八千圓

地方施設=(長春驛屯電車、建物新築、各醫院の病棟新改築、天小學校新築、安東中學校寄宿舍新築、市街地買收、其他の諸工事) 七百萬三千圓 六百九十一萬四千圓

雜施設=(社宅及び倉庫其他の工事) 五百九十一萬九千圓

秦皇島稅關は休關

【奉天特電二十八日發】秦皇島稅關は國民政府の命令によりなほ事務を停止してゐるが輸出貨物は開灤公務局が保證して出港してゐる稅關員は同稅關を東北政權の管轄に移すべしと決議したが、これに對し國民政府、張學良氏何れからも可否を表明しない、張學良氏は同地公安局に對し稅關員の生命、財產保護を言明した

五品三重役歸連

目下上京中の櫻內五品理事長、佐藤、河村兩理事は三十日東京發來月四日歸連の豫定なりと

吉林地方に於ける毛織物需要狀況
體裁良く價格低廉にして明快な柄合が歡迎される

吉林地方に於ける最近四、五年間の毛織物需要は非常に增加し大正十四、五年頃に比し約七、八倍の需要增で今後も尙相當進展の餘地を有してゐる、而して其使用數量に關しては正確なる統計等の資料なきも吉林省城毛織物取扱邦商及支那側取扱商店等より得たる數量を綜合するに

甲、昭和四年中に於ける消費量

一、服地(支那服を含む)一九七六〇〇碼、其內譯は

A、洋服地=六、七〇〇碼、邦人洋服店(三戶)一、五〇〇碼、支那人洋服店(八戶)五、二〇〇碼

B、支那服地=一九、〇〇〇碼、和興隆七五、〇〇〇碼、和發祥五六、〇〇〇碼、其他六〇、〇〇〇碼、邦商なし

C、和服地=一〇〇碼

二、毛糸(邦人間に使用さるゝものは極めて少量なるを以つて省略す)

三、毛布(調查至難)

乙、吉林地方に於て消費せらるゝ毛織物の種別割及價格

一、洋服地 昨年來サージの需要激減しメルトン之に代る△セル地=四割五分(最高八圓最低二圓六十錢位のもの)△メルトン=三割(最高十圓最低二圓位のもの)△羅紗地=一割(最高六圓最低四圓五十錢位のもの)△サージ=一割(最高六圓五十錢最低四圓位のもの)△其他=五分(ポーラアルパカは多少使用せらるゝもカシミヤの使用絕無)

二、毛布=所謂ロシア、ポーランド毛布歡迎せられ殆んど九割を占む、因に當地方に於いて露西亞毛布と稱せらるゝは大部分本邦製品にして支那商及ロシア商の手を經て販賣せらるゝものなり

丙、輸移入の徑路

一、邦商取扱のもの(中本邦製品六割、英國製品四割を占む)大連、京城及長春方面の邦商羅紗地商の手を經由す

二、支那商取扱のもの

A、本邦製品=全額の九割を占め內七割は愛知縣產他は大阪兵庫、東京の各地產とす、當地に於ける支那服地の約四割を取扱ふ支那商和興隆は大阪に常駐する支那人店員に依り直輸入をなすも他は大連に於ける支那人羅紗商の手を經て輸入す

B、上海製品=全額の一割を占む營口の支那人の手を經て輸入す

以上の如くであるが、將來の發展策としては居留邦人は僅か千名に過ぎずその需要は局限せられ居るを以て、主として支那人顧客に就いての考究を要すべくその槪要は左の如きものであらう

一、品質及價格 左程良好ならずとも一見體裁良く且つ價格も割合に低廉なるものなることを適當とす、品質粗惡なる上海製品が僅か支那商總取扱の一割に過ぎざるも少しでも喰込み居るは價格極めて低廉なるによるものと解せらる

二、柄合 一見明快にして淡味なきものなるを適當とす、洋服地としては縞物、支那服地としては無地のもの歡迎せらる

而して之が宣傳の方法としては有り觸れたるものなるも左の方法を最も適當と思考す

A、當地邦商を利用して宣傳に努むること

B、見本の送附と見本市の開催

輸出附加稅は正稅の五割增
陸境特惠稅の五割增でない 安東經由輸出稅槪算

安東に於ける陸境特惠稅率(正稅の三分の二)は旣報の如く日支關稅協定第二覺書により愈々來る九月十六日より廢止さるべき旨、二十四日安東稅務司より公示された一方輸出附加稅は七月一日より實施されるが、右附加稅は正稅の二分五厘、即ち從量從價共五割增であるから、安東通過貨物に對する輸出附加稅は特惠稅率(正稅の三分の二)の五割增に足らずして、輸出正稅の五割增なることは注意を要する、從つて七月一日より九月十五日迄に於ける安東通過輸出の主要貨物の實際納稅槪算額(一車に對し)を示せば左の如くである

	正稅	特惠稅	附加稅	實際納稅
粟	四五	三〇	二三	五三
高粱	四五	三〇	二三	五三
蕎麥	三三	二〇	一七	三九
包米	四五	三〇	二三	五三
豆粕	一五	一〇	免稅	一〇

關東州鹽の輸出 今年は減少見込
朝鮮總督の輸入監理と銀安で 工業用鹽のみは有望

關東州內における貯鹽は依然五億斤臺を下らず本夏製鹽期に入つたので大日本製鹽會社初め各當業者は素より關東廳當局に於ても目下頻りに右州鹽の輸出增につき腐心してゐるが、目下の狀勢では州鹽の本年輸出目先きは朝鮮總督府の輸入監理や銀安關係で却つて昨年より輸出減となるべく見られてゐる、即ち前年に於ける輸出總量は朝鮮向一億二千萬斤、內地專賣局納入八千萬斤、同工業用鹽六千萬斤、カムチヤツカ漁業鹽四千四百萬斤、

香港向 四千萬斤、樺太百五十萬斤及び州內消費鹽三千五百萬斤、合計四億一千五十萬斤であつたが、本年は前述の如き事情に依り朝鮮向に於て約三千萬[illegible]港向は三割以上約二千萬斤の遞減となる模樣であるが、青島鹽乃至山東鹽に比し州鹽の品質優秀なる鹽は近年頓に內地に於ける工業用鹽として需要を增してゐるので該鹽だけは本年は一躍一億斤を突破するであらうと

六月末日限 豆粕受渡增加

大連取引所特產市場に於ける豆粕の六月末日限受渡しは二十七日前場を以て納會を告げた、賣買總出來高は十四萬六千枚、受渡高は七萬五千枚、この步合は五割一分四厘弱、標準値段は二圓五十八錢でこれを五月末日限に比すと賣買總出來高は十四萬枚、受渡高は七萬一千枚の各激增を示し標準値段は二十六錢の上値であつた、主なる手口を示せば左の如し(單位千枚)

▲渡方 三泰三一、三菱三

▲受方 鼎新昌五六

二十八日限り 鈔票受渡增加

大連取引所錢鈔市場における二十八日限受渡しは二十七日前場を以て納會を告げた、受渡高は二十二萬圓で五月廿八日限に比すと七十四萬圓の增加である値段標準は五十三圓九十三錢であつた主なる手口を示せば左の如し(單位千圓)

▲賣方 德泰七六〇、雙聚福一四〇、山本六〇〇、福順二三〇

▲買方 裕昌祥一七〇、三菱二七〇、三井一、六一〇

芝罘、青島からも出品

滿洲見本市に對し青島の二三製造業者より出品の申込あり、なほ芝罘の藥商十名、青島の藥商數名よりも參加希望の申出があつた、內地では東京、大阪等の見本市に於

蘇聯盟 新關稅率表 (18)

第三條 サントニン及びその半製品……一六五留

第四條 本稅則に明示されざる商品は一切……無稅

註 未だ硬化せざる「イジュブリ」(鹿の一種)の角の國外輸出は同品が養鹿場に於ける「イジュブリ」より採取したるもの又は狩獵許可を得たる期間中に採取したるものなることを證する蘇聯農務人民委員會管下機關の證明書を提示したる場合に之れを許可す、尙ほ又未だ硬化せざるマラル(鹿の一種)及斑點鹿の角の輸出は養鹿場內の右動物狩取し狩獵に依り捕獲したるものにあらざることの證明書を上記の機關より受け之れを提示したる場合に限り許可するものとす

(ロ)輸出禁止品

第五條 武器、彈藥、軍事用雙眼鏡、飛行機及右部分品並に軍裝

註 本條に示されたる物品は其都度蘇聯內外國貿易人民委員會が陸海軍人民委員會及聯合國家政治局と協議の上施行する特許に據り輸出することを得べし

第六條 廢棄せられたる有價證券

第七條 鱗鹿の角、マラル及斑點鹿の硬化せざる角にして養鹿場以外の地にて採取せられたるもの、狩獵禁止期間に於て捕獲したる「イジュブリ」の硬化せざる角

第八條 麝香鼠、シニヤク、河獺クレストワチク、斑點鹿の毛皮

第九條 艾の種子「サントニン」及頭部並に苦蓬の種子

第十條 金、白金(原料)

第十一條 生ける鳩

第十二條 古物及美術品、例へば繪畫、手製肖像彫刻、水彩畫微細畫、毛氈、昔の聖像、宗敎上又は家事上の物品、武具、家具、織物、裝飾品、衣服、書物樂器、工具等各種考古學上の物品

註 本條に示されたる物品は當該共和國の文部人民委員會の特許ある場合に限り之れを輸出することを得、但し此の場合現代美術家の創作物は無稅其他の物品に對しては右許可書面に示されたる評價價格の三十五%の關稅を徵するものとす

蘇聯人民委員會議長代理 ヴエ・シユミツド
蘇聯人民委員會議及勞働國防會議書記長 エヌ・ゴルブーノフ クレムリ
於莫斯科 一九三〇年一月二十一日

黃塵

◇…滿洲見本市の開催も十日後に迫り關係方面においては準備や打合せに忙殺されてゐる。

◇…參加者は三府一道廿五縣に關東州を加へ參加人員三千名以上に上り出品點數約七萬點以上の大がかりのもので我國空前の見本市である。

◇…不景氣の折柄殊に銀安時代に支那方面の販路を開拓するは至難のことに相違ないが斯くの如く組織的な方法を以て優秀なる國產品を海外に紹介することは實に意義あることゝ言はねばならぬ。

◇…只從來の見本市は府縣當局の監督と慫慂あるにかゝはらず約定後の取引において往々日本商人の惡風たる見本と品とは大違ひと言ふ非難を屢々聞く處であるが今回は斷じてかゝることがないやうに關係者の注意を望む

市況

特產 銀價の強調に一般軟調

今朝の市場は銀價の昂騰を眺め各品共に概して軟調を呈し殊に大豆は上げ一途の推移した後とて一段と反落を示し高粱買氣失せに無氣力大引

◇定期前場(銀建)

▲大豆(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	七六四〇	七六九〇	七六四〇	七六八〇
七月末	八〇四〇	八〇八〇	七九八〇	八〇一〇
八月末	八二〇〇	八二〇〇	八一三〇	八一四〇
九月末	八二八〇	八三〇〇	八二三〇	八二四〇
十月末	七六九〇	七六九〇	七六三〇	七六三〇

出來高 百九十八車

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	二五八〇	二五八〇	二五六〇	二五七〇
八月限	二五八五	二五八五	二五七〇	二五七〇

出來高 五萬六千枚

▲豆油(軟調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	二三八五	二三九〇	二三七〇	二三七〇
八月限	二三〇〇	二三〇〇	二二八〇	二二九〇
九月限	二三〇〇	二三〇〇	二二六五	二三〇〇
十月限	二三九〇	二三九〇	二三九〇	二三九〇

出來高 一萬箱

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	五一五〇	五一五〇	五一三〇	五一三〇
七月末	五二三〇	五二三〇	五二一〇	五二一〇
八月末	五三一〇	五三一〇	五二五〇	五二五〇
九月末	五三一〇	五三一〇	五三〇〇	五三〇〇
十月末	五一〇〇	五一〇〇	五〇九〇	五〇九〇

出來高 三十三車

▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	七九七〇	七九三〇
大豆(裸物) 出來高	三十車	
普通大豆(袋物)(裸物)	七八九〇	七八九〇
出來高	十車	
豆粕	二六〇〇	二五九〇
出來高	九千枚	
豆油	二二七〇	二二七〇
出來高	二千八百箱	
高粱	五一七〇	五一八〇
出來高	三車	
包米	四七〇〇	四七〇〇
出來高	三車	

定期喰合高(廿日限へ)(前日對比較 △印減)

大豆	一七四八車	五車
高粱	八四四車	△一二車
豆粕	四七五十枚	一千枚
豆油	一〇四五百箱	一五百箱

錢鈔 銀高材料で鈔票暴騰

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十五片十六分の十五と(十六分の七高)先物は十五片四分の三と(十六分の七高)紐育は三十四仙八分の一と(二分の一高)孟買は四十五留比十六分の十三と(八分の五高)滙爾は七十一兩三〇、滙中は七十三兩三五、大洋は九十七圓九十錢、日米は四十九弗八分の三と(同事)米日は四十九弗二分の一と(同事)米英は八十六仙三十二分の三と(三十二分の一高)米支は三十七弗八分の一と(四分の三高)上海標金は五百九十六兩三と寄り九十五兩丁度と止め當市の銀價は暴騰を呈した

◇定期取引(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	五五五〇	五六八〇	五五〇五	五六六〇

出來高 一千三百三萬圓

◇現物取引(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	五五五五	一一八〇〇	二二三四〇
十時	五五四五	一一八〇〇	二二三五五
十一時	五五七五	一一八〇〇	二二一六五
十二時	五六〇五	一一八〇〇	二〇九〇〇

出來高(銀對金 百卅萬七千七百圓)(銀對洋 一萬八千圓)

商品 前場

•麻袋(保合) 鐵嶺同事爲替八分の一安と低落を入れたるも銀票反騰に氣配變らず依然として商內なし

•綿糸(盆唐) 米棉五六十錢反落大阪三品前場寄三四圓掘みの低落を示したが銀票五圓臺乘せと反騰

市場電報 (廿八日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊 一五片十六分の一五
同 先物 一五片四分の三
紐育銀塊 三四仙八分の一
孟買銀塊 四五留比十六分の十三
英米爲替 四弗八六仙卅二分の三
米日爲替 四九弗二分の一
米支爲替 三七弗八分の一

棉花

●米棉(換算〇〇錢安)

現物 一三仙四〇
七月 一三仙五〇
十月 一三仙二一
十二月 一三仙三八
一月 一三仙四四
三月 一三仙三九

●印棉

ペンゴール 一四〇留比
ウロータ 一三三留比
オームラ 一六〇留比

株式

內地株弱含み 當市も軟弱

今朝北濱寄は大株十錢安、大新八十錢安、鐘紡同事、鐘新同事、東をみせ大阪後場は受渡休會とて當市氣乘薄く見送る

株

今朝北濱諸株はボンヤリを示し東京も保合を入れたので當市現物の內地株は三四十錢安の弱保合地場株も十錢安と保合つたが內地の引安を入れて引際弱氣配となつた▲慘落後の反撥相場も一巡となり內地主力株は一齊に保合圈內に還入つたやうである▲流石の軟派も今次の急反撥を眺めては調子に乘り過ぎてハメを外して賣込む譯には行かずさりとて積極的に買つて出る者も無からうから結局は茲らで機會待ちに保合の外なからう▲休日明けの下旬貿易がどういふ成績を示すか依然として入超を續けるやうなら再度の賣人氣を誘發するかも知れない目先材料としては先づ貿易狀態でも目標とする外あるまい

豆

今朝の市場は銀市の好調を眺め各品共に軟弱商狀に推移した▲とくに大豆は一氣に上げ過ぎたるあとゝて反動も手傳ひ七錢から九錢方の急落▲高粱は買氣なく人氣引き立たず二錢から五錢方の低落を呈した▲各品共に別に差したる買氣がある譯ではないから銀市の强氣配を眺め目先迷ひと一般に觀測されてゐる▲現物大豆は油坊十五車、鼎新昌、廣源泰、廣泰、建成で十五車▲豆粕は建成で九千枚、豆油は三井二千八百箱の各手合はせがあつた▲今日の油坊生產高は三萬五千枚で操業工場は十四軒、明日の屆出は今日と同じである▲篠崎嘉郎氏が取引所長云々の問題で取引所は大人氣である、よからうといふものもあれば惡からう又からすぎるといふ人々——取引所の人氣を一人で背負つてゐる樣だ

銀

今朝地場鈔票は五十五圓五十錢と昨日後場の止めより一圓二十錢方昂騰して寄付き高値六圓八十錢、引六圓六十錢と遂に六圓臺乘せを演出した▲これは銀塊の一齊高及び標金の低落等の銀高材料に仕手關係も手傳ひてかゝる暴騰が演出されたのであらう▲當地は上海より上鞘にあり當地仕手は銀を買ひ上海で標金を賣るといふ狀態であるから▲標金は引前低落し翌日安寄りするといふ有樣であるこ▲かゝる狀態が日々繰返されてゐるから當地が上海より上放れしてゐる間は鈔票は底意覗りと觀られてゐる▲華商連中は六十圓臺も見當まで上伸を呈すると豫想してゐる樣だ▲しかし銀塊は安材料が消え失せたといふのではないから相當の警戒は必要であらう

京短期東新も十錢高と保合つたので當市定期も五品十錢安、新豆十錢安、錢鈔十錢安、新東六十錢安現物も五品、新豆同事、錢鈔十錢安、大新三十錢安、東新五十錢內外、鐘新四十錢安と軟弱を呈した出來高定期百枚、現物千四百枚

前場

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	—	—	—
	引	—	—	—
新豆	寄	—	—	九七
	引	—	—	九八
錢鈔	寄	—	—	五三
	引	—	—	五三
新東	寄	—	—	八六
	引	—	—	八五
五品	中	—	—	六七
	引	—	—	六七

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	六七	六八	六七	六八
商信	—	—	—	—
新豆	九五	九五	九五	九五
錢鈔	一四九	一四九	一四九	一四九
氷新	—	—	—	—

◇現物(乙部)

銘柄	寄	引
大新	四八二	—
鐘新	三六三	—
新東	八六七	八六五
新滿鐵	—	—

◇爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代引	代渡	日步
五品	七〇	六〇〇	六三〇		六
商信	—	—	—		
新豆	九五	三三〇	一〇		三
錢鈔	五〇	三〇	一三		三
氷新	八五	三〇	一三		三
東新	八五	七〇	—		無

滿鐵株(軟)

▲東短前場 滿鐵新株 二十八圓八十錢
▲大阪現物 滿鐵舊株 五十八圓五十錢

後場(弱含)

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	—	—	—
新豆	寄引	—	—	九七
錢鈔	寄引	—	—	五三
東新	寄引	—	—	八六

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	六七	六七	六七	六七
商信	—	—	—	—
新豆	九四	九四	九四	九四
錢鈔	一五一	一五一	一五一	一五一
氷新	—	—	—	—

◇現物(乙部)

銘柄	寄	引
大新	四四一	東新 八六一
鐘新	三五三	—

株式出來高(廿八日)

定期	一四〇枚
現物	一、六八〇枚
合計	一、八二〇枚

手形交換(廿八日)

	枚數	金額
金	八六枚	六二三九、八〇四圓
銀	五九〇枚	七〇、一〇九、一四〇圓

爲替相場(廿八日正午)

正金(銀勘定)

日本向參着賣(銀貨) 六〇圓一〇
同 十五日賣(同) 五九圓三〇
上海向參着賣(銀貨) 七三兩三二

正金(金勘定)

倫敦向電信賣(圓) 二志〇片八分三
信用付二月買(同) 二志〇片十六分一
米國向電信賣(百圓) 四九弗八分五
同 九十日拂買(同) 五〇弗〇分〇

鮮銀(金勘定)

倫敦向電信賣(圓) 二志〇片八分三
同 二ケ月買(同) 二志〇片十六分十五
紐育向電信賣(金貨) 四九弗八分三
上海向電信賣(金貨) 一二九兩八分

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一〇〇四〇	一〇〇五〇
東新	八〇一〇	八〇〇〇
五品 當	—	—
五品 中	—	—
五品 先	—	—
豆新 當	—	—
豆新 中	—	—
豆新 先	—	—
同(短期)寄値	東新 八〇八〇	五品 六〇三〇
引値	—	—
高値	—	—
安値	—	—

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	六二四〇	六三七〇
大新	四八六〇	四八六〇
鐘紡	一三三〇〇	一三六一〇
鐘新	三六二〇	三六五〇
日糖	—	—
郵船	—	—
東新	—	—

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二六二一	二六三三
中限	二六四八	二六四四
先限	二六九九	二七〇三

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二六六二	二七二一
中限	二六九一	二七四四
先限	二六九九	二七四四

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
六月	未着	未着
七月	—	—
八月	—	—
九月	—	—
十月	—	—
十一月	—	—
十二月	—	—

大阪棉花

寄付 大引 —

神戶豆粕

	前場一節
當限	二九八〇
先限	二九六五

限月	前場一節
六月	三一八〇
七月	—
八月	—
九月	—
十月	—

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
六月	未着	未着
七月	—	—
八月	—	—
九月	—	—
十月	—	—
十一月	—	—

六月	三〇一〇
七月	三〇一〇
八月	三〇三〇
九月	三〇〇〇
十月	三〇四〇

印度麻袋

實物直積	三三留比三分一
鐵嶺直積	三留比五分〇
爲替相場	一三七留比八分三

奧地市況(廿八日前場)

錢鈔

奉天(奉票)現物	一一、一三〇	一一、一三〇
同(奉票)先限	—	—
奉天(大洋票)現物	三五三、六〇	三五三、六〇
同 定期	一六八、七〇	一六八、七〇
開原(奉票)現物	三五三、四〇	三五三、四〇
同 先限	一六八、五〇	一六八、五〇
同(鈔票)現物	一六八、五〇	一六八、五〇
同 先限	—	—
安東(鎭平銀)近期	七六三	七六三
同 遠期	—	—
哈爾濱(大洋)現物	四三、九〇	四三、九〇

同 日本向電信賣(銀貨) 六〇圓一〇
同 十五日拂賣(同) 五九圓三〇
同 毛圓二五

特產

▲大豆

		寄付	大引
開原	七月限	二、〇三〇	二、〇三〇
	八月限	二、〇六〇	二、〇六〇
	九月限	二、一一〇	二、〇九〇
長春	七月限	—	—
	八月限	—	—
	九月限	—	—
公主嶺	七月限	二、〇五〇	二、〇五〇
	八月限	—	—
	九月限	—	—
哈爾濱	七月限	一、六三〇	一、六三〇
	八月限	一、六八〇	一、六八〇
	九月限	一、六七〇	一、六七〇

▲高粱

		寄付	大引
開原	七月限	—	—
	八月限	—	—
	九月限	—	—
長春	七月限	—	—
	八月限	—	—
	九月限	—	—

▲小麥

		寄付	大引
公主嶺	七月限	一、四六〇	一、四六〇
	八月限	一、五〇〇	一、五〇〇
	九月限	—	—
哈爾濱	七月限	三、二五〇	三、二五〇
	八月限	二、三〇〇	二、三〇〇
	九月限	三、一〇〇	三、一〇〇

御斷り

電線故障の爲め本日橫濱生糸大阪綿糸、大阪日糖、大阪郵船、大阪新東並に上海爲替、標金情報は休載します

滿洲日報

社說

私立小學校生れ出でよ

下は幼稚園小學校より上は高等學校大學に至るまで日本に於ける教育の全般を通じて共通的な缺陷と見るべきものは著しく傳統的なことである、勿論教育者の多くは教育の革新改善に日夜つとめては居るがそこには依然として舊態を改めぬ執拗な傳統が影の形に添ふが如く常につき纏つてゐる。

◇

教育は常に進展して止まぬ生命の流れでなければならない、潑剌たる生命の躍動でなければならない、然るに傳統は一つの形骸であつて、教育の仕事に傳統が多ければ多いほど生命の進展は阻碍される、然らば如何にして此の執拗なる傳統を脱し得るか、それには教育を司るもの、自覺と、教育者の自覺と民衆の自覺とそして、それに伴ふ絶えざる努力とが必要である。

◇

教育に對する民衆の自覺はやがて教育者への要求となつて現れ、教育者の自覺と努力は又教育を統ぶる者への要求となり、これらの要求は更らに教育を司る者の自覺を促すこと、なり、そしてその努力はやがてよき教育制度となつて現れる、然し現在の教育界を見るに學校に子弟を託する父兄の多くに教育を觀るの明と努力とがなく從つて教育者に要求するだけの理解を持たない、それから又多くの教育當事者は當局者に當然要求すべきこと要求するだけの熱意と勇氣とがなく教育を司るもの又傳統の中に安逸を續けてゐる、斯くて時代は絶えざる進展を續けてゐるのに反し教育は舊態依然として進歩しない所以である、恐らく斯うした狀態は今後も永く續くであらう。

◇

斯の如く八方塞り的な教育界に於いて唯一つの血路とも見るべきものは私立學校の設立である、現在に於いては幾多の私立學校特に新學校としての色彩の明らかな私立小學校が各所に設立され、これらの學校は窮屈な制度と幾多の傳統とから完全に脱し教育の眞の目的に向つて目覺しい活躍を續けてゐるが、これら私立學校の經營者及び其の教育に携はるものはいづれも傳統に捉はれた官學に拘らずして飛び出した教育界の反逆者のみである、これらの教育者にはサラリーなどは問題とならない、唯望むところは生命ある教育の崇高な姿である、眞に個性の生かされた潑剌たる人格の伸びゆく姿である。

◇

そこで滿洲の教育界を眺めるといづれも大量生産的なそして官學の色彩の濃厚な學校のみで一つの私立學校のないことは實に遺憾である、滿洲にも私立小學校の一つや二つはあつていゝ時だ、私立小學校の經營を夢みてゐる人も決して少くはない、又さうした學校の經營に對して優れた理想と教育に對する牢乎たる信念とを有する教育家も決して少いとは言へない、切に斯る小學校が一、二校設立されたにしてもそれは一部少數の兒童を收容し得るに過ぎないものではある、然し時代の要求から見ても新教育の機運を促進する上から見るも將た又一般教育界に教育の歩むべきヒントを常に與へ得ることから見るも其の設立は決して無意義でないことを固く信ずるものである。

英紙筆を揃へて御答禮使宮を奉迎

日英兩帝國皇室の密接なる御交情は更らに深められん

【東京特電二十八日發】廿七日朝のロンドン新聞は競つて高松宮、同妃兩殿下奉迎の記事を掲げた、その中

ロンドンタイムスの社說

ガーター勳章御答禮使高松宮殿下並びに同妃殿下の御來英は日英兩帝國皇室の密接なる御交情を更に深からしむに至るであらう、而して吾人が希望して止まぬのは更に殿下の皇弟澄宮崇仁親王殿下が御兄宮方をはじめ日本皇室の慣例とされたるイギリス御訪問を近き將來において儆はせられん事これである、高松宮兩殿下には我が英國皇室の懇ろなる御歡迎振りが直ちにイギリス全國民の日本に對する感情を代表してゐるものである事を必らずや御感得遊ばされた事であらう

デリーエキスプレスは曰く

海の宮樣及び日本のあらゆる善きもの、うち最もやさしく最もいみじきもの、權化たる妃の宮喜久子殿下を今我等の都に迎へたるは最大の喜びである

デリーニユウスは曰く

ロンドンは最も鄭重な禮を以つて珍らしき賓客高松宮殿下を奉迎した而してチヤーミングな新婚妃宮こそは今のロンドンの社交季節に際し敬愛の的たるに相應はしき御方でなくてはならぬ

皇室賓客を御辭退

高松宮兩殿下ホテルお移り

【ロンドン二十七日發電】高松宮同妃兩殿下には二十七日を以つてイギリス皇室の賓客としての御待遇を辭退され、二十八日午前十一時クレアリツヂス、ホテルに御移り遊ばされ午後はロンドン飛行場にて行はれる公立飛行隊の航空ページエントを御覽遊ばさるゝ御豫定である

ロンドン條約の樞府御諮詢奏請期

來月三日の定例閣議で決定し外相直ちに手續き

【東京廿八日發電】ロンドン條約兵力量による新國防計畫案の大綱も略目鼻がついたので財部海相は來週早々非公式軍事參議官會議及び元帥府に諮詢を奏請すべく、政府は四日の定例閣議を三日に繰上げロンドン條約樞府御諮詢期日及びこれに關する一切の方針を決定し直ちに幣原外相は三日若しくは四日參內御諮詢奏請手續きを完了することになつた

陸軍省の節約額一千萬圓程度か

【東京二十八日發電】本年度實行豫算節約につき强硬な態度を持してゐる陸軍では大藏當局の要求もあるので結局なほ四、五百萬圓位を節約し合計一千萬圓位で折れ合ふ事となる模樣である

濱口首相 來月五日に園公訪問

【東京二十八日發電】濱口首相は四日午前十時東京發興津に至り同日は水口屋旅館に一泊、五日坐魚莊に西園寺公を訪ひ若槻全權歸朝以來の軍縮問題經過、新國防計畫の大綱を詳細說明しロンドン條約の樞府御諮詢奏請に關し充分なる諒解を求めることゝなつた、首相は尙夫より鎌倉別莊に赴き同所に二泊靜養の上六日歸京する豫定である

秩父宮樣へ御禮言上

仙石總裁伺候

【東京特電二十八日發】仙石滿鐵總裁は廿八日午前十時半秩父宮邸に伺候し過般の滿洲御巡視に就て御禮を言上しかつ御機嫌を奉伺した

公正會代表海相と會見

軍縮問題で

【東京廿八日發電】貴族院公正會の財部海相に對する軍縮問題經過說明の要求委員たる鍋島直明、今園國貞兩男は廿八日午後官邸に海相を訪問し矢吹政務次官立會の上海相に面會し公正會政務調査委員會に出席して說明する事が出來ぬとならば當方より代表者を訪問せしむることゝするが如何と述べたるに對し海相も之に同意を與へたので打合せの結果、來る卅日午後五時半海相官邸に於て公正會代表と會見することゝなつた

仙石滿鐵總裁江木鐵相を訪ふ

【東京廿八日發電】仙石滿鐵總裁は廿八日午後一時十分江木鐵相を訪問し滿鐵の經營狀況を報告し且つロンドン條約諮詢の情勢につき消息を聽取した

海相說明拒否問題對策

【東京二十八日發電】貴族院公正會は二十七日臨時幹部會を開き二十五日財部海相を訪問し出席說明方を交渉拒否せられたる今園男より海相との折衝經過を報告した後

一、國軍に關する最高諮詢機關たる軍事參議官會議の回避を閣議に於て協議し若しくば軍部に關係なき閣僚と協議するが如きは不可で同會議は一日も速かに開催せねばならぬ

一、兵力量問題は海陸關連事項であるから軍事參議官會議を開く事とせねばならぬ

一、ロンドン條約問題は會議の經過等を調べるよりも統帥權問題國防安全問題等について財部海相に訊し時局に善處する必要がある

等の意見の開陳あり財部海相の出席拒否對策として如何にすべきかについて協議の結果今園國貞、鍋島直明兩男をして二十八日中に海

畏し大御心

失業救濟、不景氣緩和に 離宮と御用邸御造營

【東京二十八日發電】宮廷費御節減の聖旨に基き編成される宮內省の明年度豫算は御料林の賣行不振その他の收入減のため自然本年度よりも更に大緊縮をなすことゝなり目下各部局で取纏め中であるが、宮中では打續く不景氣のため一般事業界の不振、失業者激增の現狀を叡慮し明年度豫算には特に本年度を以て工事を打切るべく豫定してゐた伊勢離宮の工事および昨年畏き思召により土地買收だけにとゞめさせられた神奈川縣初聲村の御用邸御造營の工事費を計上すべく考慮中である、これは一に失業救濟、不景氣緩和に幾分たりとも貢獻したい聖旨であるため從來受容れてゐた在鄕軍人、青年團等の熱誠なる勞力奉仕は謝絕し努めて一般勞働者を雇傭する方針であると

產業合理化實行に別働隊の會社設立

藏相、銀行家と懇談

【東京廿八日發電】政府は產業合理化の實現に當りこれが助長徹底を期するため諸種の方法を講究中であるが、過般英國に產業合理化の別働隊として設立されたバンカース、インダストリアル、デベロツプメント、カムパニーに倣ひこれに類似せる會社を我國にも設立せんとの意向あり、二十八日日銀において開かれた東西シンヂケート銀行代表者との懇談會に於て井上藏相よりこの點につき銀行家の諒解を求めた

青訓終了者に特典を與ふ

海軍でもいよ〳〵實施

【東京廿八日發電】全國各地の青年訓練所終了者は大正十五年該事業實施以來徵兵に際し陸軍の在營年限六月短縮の恩典を與へられてゐるが、今回文部省と海軍省と交渉の結果、海軍に於ても青年訓練終了者は服務期間二月短縮の特典を認めるに決し二十八日官報を以て檢定規定(海軍省令)が公布され六月三十日より實施されることゝなつた

奉天派へ五百萬元

出兵賠償費に張群氏が携行

【上海特電二十八日發】奉天派の關內出兵を慫慂すべき最後的折衝をなす爲めに去る廿六日當地發、奉天に潛行した上海特別區市長張群氏は奉天派に送るべき出兵賠償費として當地より五百萬元を携帶したと

張學良氏は動くまい

上海での觀測

【上海特電二十八日發】南京側の奉天派に對する出兵慫慂は飽く迄頑りなるものあり天津、青島の兩地を讓ることを條件まで持ち出し實現せしめんとしたが依然應ずるところとならなかつたので遂に今次の最後的折衝となつたものであるが、當地に於ては五百萬元は受取るであらうが張學良氏の從來の態度は之によつて變るやうなことはあるまいと見られてゐる

關東廳高等官の一部異動のふ發表

關東廳高等官の一部異動は二十八日午後四時左の如く發表された

警視 森本勝巳
任關東廳事務官敍高等官四等(七級俸下賜)

關東廳事務官 森本勝巳
命關東廳警務局警務課長

關東廳事務官 田邊秀雄
任關東廳文書課長、警務局兼務を命ず

關東廳事務官 中谷政一
警務局課長兼務を命ず

關東廳事務官 有田宗義
警務局衛生課兼務を命ず

關東廳事務官 中谷政一
警務局警務課兼務を命ず

關東廳事務官 田邊秀雄
長官々房秘書課長安藤明道不在中代理を命ず

關東廳事務官 松田道義
金州民政支署長を解く

關東廳事務官 日下長太
長官々房文書課兼務を免ず
長官秘書課長兼務を免ず

關東廳事務官 田邊秀雄
官房報告主任を命ず
關東廳統計主任を命ず
審議委員を命ず
關東廳法規整理委員を命ず
關東廳普通試驗委員を命ず
關東廳審議委員會委員を命ず

關東廳事務官 松田芳助
審議委員を命ず

關東廳事務官 有田宗義
產婆試驗委員を命ず
看護婦試驗主事を命ず

關東廳事務官 日下長太
官報々告主任を免ず
統計主任を免ず
關東廳普通試驗委員を免ず
關東廳文官普通懲戒委員會委員を免ず
關東廳警察共濟組合審查員委員を免ず
巡查及消防丁懲戒委員を免ず

關東廳事務官 森本勝巳
關東州普通公學堂及關東州公學堂教員檢定試驗常任檢定委員を免ず
巡查及消防丁懲戒委員を命ず
警部警部補特別任用考試委員を命ず
關東廳警察共濟組合審查委員を命ず

關東廳事務官 松田道義
巡查及消防丁懲戒委員を免ず
關東廳警察共濟組合審查員を免ず
關東廳警部警部補特別任用考試委員を免ず
產婆試驗委員を免ず
看護婦試驗主事を免ず
警察官練習所教官兼務を免ず
審議委員を免ず
關東廳法規整理委員を免ず
大連都市計畫委員會委員を免ず

州內教育研究會

第二部會旅順で開催

關東州教育研究會第三十回第二部會第一日は二十八日午前九時半から旅順師範學堂附屬公學堂に於て開會、出席會員約三百名にして關東廳よりは御影池學務課長以下武田技師、山本體育研究所主事、村上、香川視學等並に石川、津田新師範學堂長、在旅中初等學校長等來賓多數列席の上、部會當番主事古野附屬主事より開會の挨拶、入退會者の紹介報告ありて直に部會に移り、教科部會は古野附屬堂長體育衛生部會は山口金州堂長訓練部會は島西貔子窩堂長それぞれ議長となり三部に分れて協議に入つたが、教科部會では先づ「日本語讀本編纂掛圖に就て」關東西貔子窩公學堂教諭「漢字讀音統一に關する私案」岡本附屬訓導の研究發表、次いで議題

一、公學堂に於ける各教科々目每週教授時數に關する法規の一部を訂正する必要なきや(大連伏見臺提出)

につき協議、その結果右は各地方の事情に應じ增減し得る樣融通性ある規則に改正さるゝ樣その筋に建議することに一決次で議題

二、中國文科の學習に資するため簡單なる讀音辭書を共同作製しては如何(旅順附屬提案)

に移つたが、是は中國人教員から國音に統一の意見多く出でゝ意見の一致を見ず結局引續き將來研究を要すべき事項として保留最後に談話題

一、現今公學堂に使用しつゝある初等日本語讀本並に中等日本語讀本の程度及び分量につき實際取扱者教科書如何(西崗子提出)

二、各學堂における兒童の教科書購入狀況を承りたし(金州提出)

三、日本語教授において特に口形練習の系統案を作り課せられつゝある學堂ありや、若しあらばその實況を承はりたし(沙河口提出)

につき各出席者より種々有益なる研究意見の開陳があつたが、第二問については各公學堂とも近時は銀暴落等の關係から購入者が漸く教科書の値下げを要望してゐるので來學期からは相當編纂部に於て値下げをなす旨の答辯があつた次に別室に於ける體育衛生及び訓練部會では先づ山本體育研究所主事より「我國體育界の近狀」と題して約一時間に亘る講演あり

協議題

一、兒童の體力檢査を合同して實施しては如何(旅順附屬提出)

談話題

一、公學堂兒童に衛生思想を養成せる適切なる方案如何(沙河口提出)

二、學堂內に於て兒童が傷害を受けたる場合の取扱實況を承りたし(同上)

三、トラホームに罹りたる兒童に對して採られつゝある治療の方法及其成績につき話し合ひ良法を研究したし(普蘭店、貔子窩提出)

四、學習態度養成上特に指導を要する點並にその指導法如何(附屬提出)

五、州內における中國の善良なる風俗習慣及び矯正を要する風俗習慣の主なるものは何か(西崗子提出)

六、各學堂內に於て勤勞の良習を得しむる爲め現在實施されつゝある作業の實際を承りたし(沙河口提出)

七、兒童宿舍の施設標準舍費補助の程度につき各學堂の實狀を承りたし(金州、貔子窩提出)

等の各題につき逐一協議するところあり、體力檢査は委員會を組織し體育研究所と連絡して實施することに決定、談話題については各學堂より有益なる意見百出したがトラホーム患者は各堂とも頗る多く爲めにこの治療には各學堂とも手を燒いてゐると、尙第二日附屬分教場にて主として農業教育に關する講演、意見發表、授業參觀がある由

米支の公債條約

廿七日兩國間に調印

【ワシントン廿七日發電】米貨公債條約は本日支那アメリカ兩者間において調印を了した

小坂拓務次官 奉天視察

けふ撫順へ向ふ

【奉天特電二十八日發】廿七日來奉せる小坂拓務次官はヤマトホテルに投宿二十八日午前奉天神社、忠靈塔に參拜し滿洲醫大を參觀、次いで東亞勸業、毛織會社の視察をなし、午後は四時から北陵別邸に於ける張學良氏の招待宴に臨みさらに同夜七時からヤマトホテルにおいて開かれた在奉官民の歡迎會に列席したが、二十九日午前九時十分發列車で撫順に向ふ筈である

中谷警務局長北行

中谷關東廳警務局長は目下來滿中の小坂拓務次官一行案內のため二十八日夜急行にて北行したが、奉天に於て一行と合し滿鐵沿線各地を案內の上七月六日歸任すると

土匪軍沙市を包圍

形勢極めて危險

【上海二十八日發電】沙市來電によれば同地は目下土匪軍のため四面包圍され市中は異常に緊張してゐる、同地附近の各村落は悉く占領され銃擊頻りに起り下航中の米國汽船は郝穴附近で射擊さるゝ等形勢は極めて危險となつた、なほ沙市には邦人十五、六名在住してゐる

錢鈔信託株主總會

配當年一割据置

大連錢鈔信託會社では二十八日午後三時より株主總會を開いたが當期決算に關する件は異議なく原案を可決し當期株主配當は年一割据置に決定、次いで監查役神成季吉、赤塚彌太郎、遲子祥三氏の任期滿了一名の缺員監查役の改選については議長指名の七名の銓衡委員によりて銓衡の結果、神成季吉、首藤定、曲子源、安承生四氏が監查役に選任され同三時半閉會、尙當期利益金處分案左の如し

一當期純益金 [illegible]
一前期繰越金 [illegible]
合計 [illegible]
右處分左ノ通リ
一法定積立金 [illegible]
一命令積立金 [illegible]
一使用人退職手當基金 [illegible]
一役員賞與金 [illegible]
一株主配當金(年一割) [illegible]
一後期繰越金 [illegible]

王奉天財政部委員

さきに南京政府が主催した全國厘金稅撤廢會議に奉天側を代表して出席中であつた奉天財政部委員王家鼎氏は廿八日入港奉天丸にて歸滿したが會議は本月一日より三日間に亘り行はれ全國各省より一二名宛の委員出席、結局本秋十月一日より厘金稅を廢止する事とした、しかしてその代りとして海關側が適宜の方法によりこれを徵收する事に決定を見たといふ

河本大佐待命

【東京廿八日發電】滿洲事件で休職中であつた河本大佐に對し廿八日左の如き辭令があつた

休職步兵大佐 河本大作
第十六師團司令部附被仰付(廿七日附)

第十六師團司令部附步兵大佐 河本大作
待命被仰付(廿八日附)

香港丸遲る

廿九日午後一時港外着の豫定

英の別働隊機構

銀行家の產業援助

【東京二十八日發電】產業合理化の別働隊として過般英國に設立されたバンカース、インダストリアル、デベロツプメント、カムパニーと云ふのは、その名の示す如く銀行家が集つて產業發達の爲に援助するもので、資本金は六百萬磅(內拂込四分の一)で總株數は僅かに六十株であるから一株の金額は十萬磅である、而してこの內四十五株は銀行が引受け殘り十五株は英蘭銀行の別働隊たるセキユリテイ、トラストが引受けてゐるが此のセキユリテイトラストの持株は一株につき三株に相當する議決權を與へられてゐるから普通株の合計と同數の議決權を有する譯である、而して該會社の重役も總て銀行家が占めて居り取締役會長には英蘭銀行總裁が就任してゐる該會社の仕事は產業合理化の案が出來れば詳細に調査を爲し有望な事業には進んで金融を爲し或は株式を引受けて產業の發展を圖る事を主眼とするものである

關東廳で州外事務官會議

關東廳では恒例に依り來る七月七八日の兩日に亘り同廳會議室にて州外事務官會議を開催する筈であるが、當日は滿鐵沿線各領事館關東廳事務官並に滿洲里外北滿駐在の各領事、同出張所長等多數出席する由

人事

▲中川喜久松氏(滿鐵チチハル公所長) 廿九日大連出發赴任の筈
▲鈴木二郎氏(滿鐵々道部次長) 二十八日關東廳その他に新任挨拶のため旅大往復
▲伊藤太郎氏(同運輸課長) 同上
▲下津春五郎氏(同旅客課長) 同上
▲田中千吉氏(大連市長) 上京中のところ二十九日入港のほんこん丸で歸連の筈

安眠子

ウヰスキー好きで有名な仙石滿鐵總裁の「ウヰスキーを常用するの辯」に曰く「お湯で四五倍に薄めて飲めばこんな廉い酒はない」又曰く「そのウヰスキーはこの程度で飲めば第一健康によい、お湯で薄めたウヰスキーは幾ら廉くついても決して僞物ではない」▲これで見ると仙石氏のウヰスキー飲用は世間で想像して居る程、決して大酒でないことが判る▲これは別な話だが或處で、偶々鯨の話が出ると傍で聞いて居た仙石翁「鯨が恐いなんて意氣地のない話ぢや、俺など世間で賞揚する白味など決して喰はぬ、俺が好きなのは鯨の皮からわたぢや」▲その總裁の話では「鯨の毒に對しては平野水を飲めば一ぺんに消せる」とあるさうだ

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百廿二車

▲豆粕(出來不申)
▲豆油(出來不申)
▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二十車

現物後場(銀建)

▲包米(出來不申)

	寄付	大引
混保(後込)大豆(標物)	七九〇〇	七九〇〇

出來高 十車

品目	
普通大豆	出來不申
豆粕	出來不申
豆油	出來不申
高粱	出來不申
包米	出來不申

錢鈔

定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百三十七萬圓

現物後場(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金 六萬圓 銀對洋 四千圓)

商品

後場

大阪株式(廿八日)
▲受渡休會

銘柄	後場寄	後場引
株新	[illegible]	[illegible]
紡新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
船新	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
限月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

神戶期米

限月	後場寄	後場引
限月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

滿日地方版

奉天

省城女學生の赤化を防止 新に女督學員を設置

近來省城各女學校の生徒間には共產主義にかぶれ赤化を謳歌してゐるものが尠くないので省政府では之が取締りに苦心中の處今回官制を定め東北邊防公署内に女督學員を置くことゝなつたそしてその督學員には過般國民政府教育部より歐米女子教育視察に派遣された宿六平を任用し之が善導をなさしめることになつたと

水上選手權大會 ◇けふ奉天プールで

全奉天水上競技選手權大會は廿九日の日曜日左の如く體育協會主催の下に大々的に奉大プールに於て開催されるが本競技會はレコード本位のスピード競技と興味本位の各種餘興が擧行されるので河童連は勿論一般に非常な期待を以て迎へられてゐる

スピード競技（午前十時開始）

種目		距離
選手	自由	五〇米
同		一〇〇米
同		二〇〇米
同		四〇〇米
同		八〇〇米
背		一〇〇米
平		二〇〇米
リレー		二〇〇米
女子	自由	五〇米
少年（尋六以下及高等科に區分）	自由	五〇米
同		一〇〇米
一般	自由	五〇米
同		一〇〇米
背		一〇〇米

餘興（午後一時開始）參加者隨意
水中角力、抽籤、綱引、川中島、寶探し、ローソク競泳、リンゴ取り、障碍物競泳、棒押、古式泳法各種、跳込み

拓大辯論部遊説

東京拓殖大學辯論部の滿鮮遊説は七月五日東京を振出しに鮮滿各地で行はれるが奉天には十三日八時半着同夜場所未定辯論大會を開き一泊十四日十五時五十六分北行の豫定であると

モヒ中毒女に同情金

邦人の夫を捨て支那人の許に走り遂に二人の女の子を抱へながら强度のモヒ中毒に罹り途方に暮れてゐる長崎縣生れ市内吉野町二番地井手つる（三〇）に對し奉天署では大連の慈惠病院に施療患者として入院せしめるため照會中であつた事は既報の通りであるがその後慈惠病院では之を心よく承諾したため廿七日二十時半發列車で保護を加へ赴通せしめた病氣も一ケ月餘治療すれば全快する筈で快癒の上は長女（一〇）及び三女（一）を伴ひ實父のゐる福岡縣嘉穗郡飯塚町に歸吉することになつてゐるなほつるの身の上につき各方面から同情が集りつゝあるがその氏名は左の通り

觀音講一圓五十錢、白石龍二氏三圓、末芳町内會三圓、松井藤三郎氏二圓、佐藤胤治氏五十錢、末芳町内會長月川八百八氏は家賃その他五十圓を免除、城殿松本芳松氏二十圓

赤痢猖獗 六月中に廿五名

本年も傳染病の流行時期を前に控へ傳染病患者が漸次現はれてゐるが殊に赤痢は氣候の關係で六月に入り既に廿五名も發生し昨廿六日の如きは四名、廿七日は三名の新患者を出し猶續々發生する模樣があるので奉天署では更に力を入れ之が豫防に努めてゐるが患者の大部分は食物が原因となつてゐるためこの際一般市民も注意が肝要であると

日曜の催し

▲午前十時より全奉天水上競技豫選大會午後一時より同餘興何れも奉天プールに於て開催
▲夕方ヤマトホテルのルーフ開き
▲琴平町廣瀬市郎氏方に於て筑前琵琶の教授稱號試驗施行受驗者は奉天、營口、撫順、四平街より十數名
▲午前八時半より醫大、中學堂、三井物產、勸業公司、滿鐵々道關係、實業側、正金銀行その他のチームに分け優勝旗爭奪硬球庭球戰を體育協會主催の下に擧行、終つて右近氏の送別を兼ね懇親會を催す
▲奉天西分會射擊會は午前九時から午後四時まで射擊場（入口は練兵場より）に於て開催賞品は各射手の區別に從ひ一等より十五等まで班の競點射擊を行ひ優勝班に優勝旗授與
▲午後六時半から春日小學校に於て高勇吉、關鑑子氏等の音樂と舞踊の會開催、ピアノとセロ二重奏、セロ、獨奏、ソプラノ獨唱舞踊等がある

吉林

民有地の買收 ◇市政籌備處が商埠地整理◇

吉林市政籌備處では今回商埠地の整理を行ふため民有地買收價格を七等級に分ちて買收するに決定した、これに依れば民有樓房は一律に每間を五百元で買收し、墓地は移轉費用として一個に付大洋三十元を給し、牆垣等に對しても相當買收費を支拂ふ旨を規定してある尚土地は每畝に付左の價格を以て買收すると

▲一等百六十元▲二等百四十元▲三等百二十元▲四等百〇五元▲五等八十元▲六等六十元▲七等四十元

腸チフス續發 近く豫防注射

吉林居留民會では腸チフス患者が引續き發生するので近く豫防注射を行ふ筈である

電影園の犧牲者遺族に 恤救金を下附

去る三月十八日夜の吉林省城大東門内永吉電影園の慘死者一名につき吉林省政府委員會において恤救金吉林大洋五百元づゝを各遺族に發給する案を議決し、近く財政廳より分配すると

教育廳長訓示 校長會議で

吉林教育廳長王莘林氏は各學校の暑中休暇も目前に迫つたので、此程各學校長を召集して校長會議を行つた席上、大要次の如く訓示した

月下時局不靖の際で不逞徒が學生を利用煽動して事端を釀す恐れがあるから、各學校長は自校の學生に嚴重訓諭して勉學を勸め、以て軌外運動と職學を戒められたし

舊官帖燒却

吉林永衡官銀號では來月三、四、五の三日間各午前十時より北山麓において、各機關より派出の立會人監視の下に破損の舊官帖五千萬吊の燒却處分を行ふべく此旨各機關に通達した由

四平街

打通線の値下 對策研究の聲擧る

既報打通線運賃五割引問題は地方特產商の損害も亦至大なるものあり、而して輸入品についても同額の割引を實施されんか打擊の範圍は可なり廣汎に亘るものあるより當市民協會側は山添、鶴見の正副會長並びに桂馨三、竹本二丸、田中佐重郎、島村喜久馬の經濟委員を始め源田特產組合長以下池田吉郎、松田琢海、伊藤新八、飯塚鹿之助の諸氏は二十七日午後七時三十分より驛前植半旅館に集合對策協議會を開いたが青年聯盟でも近く市民大會を開催して大に輿論喚起に努める由である

長春

赤痢らしい惡疫猖獗を極む ＝下痢と高度の發熱 既に城内で百名罹病

昨今の雨季に入つて長春方面では去る十三日前後から城内方面に赤痢やうの患者續出し入院患者だけでも百餘名に達してゐる、症狀は急激の下痢と共に三十九度乃至四十度の發熱があり危險狀態に陷るものである、その外に隱蔽されてゐる患者は夥だしい數に上つてゐるらしいが何故か支那側公安局及び衞生當局は放任して防疫處置を講じてゐないので病菌は益々蔓延する一方である、附屬地内においても昨今赤痢が流行し猖獗を極めんとしてゐる折柄、各家庭では野菜その他飲食物及び寢冷等に充分注意が肝要である

馬賊の片割れ 平康里で逮捕

去る二十日夜吉野町平康里において馬場刑事及び巡捕一名が擧動不審の一支那人を逮捕取調中の處、同人は趙田發（三〇）と云ひ鐵北方面を荒してゐた馬賊の一味なることを自白した

防疫打合會

二十四、二十五の兩日長春警察署衞生係が長春座で催した衞生活寫會は頗る好評で入場者は約二千名に達した尚衞生係では廿六日午後三時から滿鐵側の參加を得て衞生會議を開き防疫上の打合せを爲した

送別式と推戴式 長春健兒團で

長春健兒團では土肥原團長が大連に赴任することゝなつたので二十七日午後四時からキャンプ場に於て土肥原團長の送別及び大岩峰吉氏の團長推戴式を擧行し茶話會を催した

蠅の買上や野菜消毒 一日から實行 防疫協議會で決定

長春警察署及び滿鐵衞生當局の二十五日の防疫會議の結果

一、七月一日より附屬地外より搬入される野菜類果實を泉町、西公園、朝日通り、西廣場驛前の各派出所並びに東廣場及び東五條通り祝町交叉點で消毒を施行すること

二、蠅驅除のため同日より蠅の買上げを行ふこと

三、飲食店、料理店の衞生設備を完全にし飲食物の消毒を督勵すること

の諸項を決した

異動で料理店賑ふ

今回の滿鐵異動で長春在勤者にして他地に轉ずるものが頗る多く殆ど每日送別會續きで廿七日の日本側二十八日の支那側土肥原氏送別、二十四日の日支合同中島交涉係長送別、二十六日の日本側二十七日の支那側記者團の同氏送別を始め地事驛兩方面とも送別や歡迎が續くので料理店方面はホクホク顏である

射擊會の入賞者

既報二十四二十五兩日の長春警察署員の西寬城子射擊場に於ける拳銃射擊會の入賞者左の如し

三〇米拳銃
▲一等四四點杉澤巡查▲二等四一點日高巡查▲三等四一點本田警部補▲四等四一點內藤巡查▲五等四〇點谷口巡查

二百米長銃
▲一等三八點武田巡查▲二等三六點木村巡查▲三等三二點鶴原巡查▲四等三二點安本部長▲五等三二點石井署長

九齒全長對抗野球戰延期

九州齒科醫專對全長春軍の野球試合は二十六日開催の筈の處雨天のため延期された

所長更迭披露

土肥、大岩新舊地事所長の更迭披露宴は二十六日午後六時半からヤマトホテル納涼園で開催、來賓は日支人約百二十名、土肥舊所長の挨拶に次いで大岩新所長の新任挨拶あり、來賓側からは田代領事及び周市政籌備處長の謝辭ありて午後八時半閉宴した

白系露人南米行

國を追はれた白系露人は今でも哈爾賓長春等の北滿方面に職業もなく放浪生活を續けてゐるものが多いが、昨今之等白系露人間には亦復ブラジル移住熱が勃興し出したと見へて續々長春經由南下してゐる

驛員海水浴に

長春驛では森田驛長の發案で夏季の閑散時に驛員の海水浴場行きを實行することゝなり二十五日第一班が出發したが各班一週間交代で十班に分かれ八月二十四日で終ると場所は夏家河子だと

營口

在營の華商 葫蘆島進出 移住者續出せん

支那側では葫蘆島築港熱狂の際にして同地へ轉住するものに對しては土地の無料貸下をなすなどいろいろの便宜を與へて商民の招徠に狂奔して居るが、當地永世街、恭順利外二十餘軒の商店は同地に赴き土地の借入れにつき手續中である、舊市街では昨年以來市區の改正や道路擴張のため商民が家屋の改築に投じたる資金は實に莫大の額に達して搗てゝ加へて不況と銀塊暴落の痛手を受け困憊の極に達し居る彼等商民は寧ろ此際繁榮に傾ける當地に早く見切りを付けて新興氣分の旺溢せる葫蘆島に移住して一擧げた方が得策だと考ふるもの多く、今後なほ移轉者續出の傾向にある

原警部補出發

當地警察原警部補は二十五日附瓦房店本署保安主任に榮轉と發表二十七日第十六列車にて家族同伴赴任の途に就いたが驛頭には多數の日支官民が見送つた、尚後任には大連より松枝警部補が第十五列車にて着任した

湯街漫語

去る六月一日から沿線各地に於ける郵便物の取集め時間が改正されたが夜間は日暮れ八時に開函するのみで其の郵便物は翌日十二時の列車にて遞送するので、前夜八時過ぎに投函した郵便物は從來五六時間內外で大連市内に配達されたものが二十四時間以上を要する事となり沙河口老虎灘方面等の如きは發信後三日目の朝でなければ配達されないと今度の改正には不平の聲が高い

飛行郵便 奉天—營口 七月上旬から

遞信省政府では奉天營口間の飛行郵便を實施することゝし七月上旬から實行する筈である

菱刈軍司令官 七月十九日來營

菱刈新任關東軍司令官は初度の巡視として七月十九日午後二時三十五分來營、同夜は淸林館に一泊翌二十日午前十時半赴鞍、隨員は高級參謀同副官及專屬副官の三名なりと

商業實習所 柔道部新設

營口商業實習所では從來の劍道部に更に柔道部をも設くることゝなり警察の柔道教師中國仲次郎氏每週火、木、土の三日間午後四時から同五時まで指南することゝなり二十六日から道場開きをなし稽古を始めた

熊岳城

農業實習所の入所試へ 應募者は五倍

熊岳城農業實習所では二十五、二十六の兩日に亘つて入所試驗を行つた、今回の應募者は七十五名で募入人員は約五分の一の十五名だと云ふ

▲第一日は午前八時より十時迄所長の話、八時十五分より九時迄筆記試驗、九時十分より十二時まで體育試驗、午後二時より同五時まで實科の試驗

第二日は口答試問で就職難時代だけに涙ぐましい場面が演ぜられて居る

公主嶺

人事

▲飯田博氏（遼陽醫院長）二十六日各所廳訪問着任挨拶

長春商業生 軍隊生活研究

長春商業學校四、五年生百四十餘名は二十七日十三時五十一分着の列車にて來公、三十日まで騎兵聯隊に宿泊野外教練並に軍隊生活の研究をなすと

保々田村兩氏來公

前地方部長保々氏と田村氏は退社挨拶のため二十七日午後十一時五十一分當驛着の北行列車で來公した

修養團講習會

公主嶺修養團支部では三十日午後三時から守備隊將校集合所で講習會を開く

大隈堂長榮轉

公主嶺公學堂長大隈堪次郎氏は今回開原の公學堂に榮轉近く離公するが好堂長として日支人より惜まれてゐる

鐵嶺

國民知識促進會 支部發會式

當地支那側の國民智識促進會支部では今二十九日西關清樂茶園において縣教育會主催の下に支部の創立發會式を擧行し新舊劇音樂歌舞等の餘興もあると

家出少年歸國

既報無斷家出した福岡商業學校二年生井口久雄（一七）は當地滿鐵社員鹿毛鹿藏氏が同人の亡姉と知人であつた關係上同氏が預つてゐたが親からの希望により同人にも懇々說諭した結果二十六日溫かい親許に歸つて行つた

新畫頒布會

日本現代中堅畫家とも謂ひつべき東京、京都十二畫伯の新作品畫頒布會では明三十日午前九時より午後六時まで當地滿鐵クラブを會場として展覽會を開催し希望者には抽籤にて頒布する由

篤志看護婦會員の慰問

鐵嶺篤志看護婦人會鐵嶺支部員十餘名は二十七日午後一時赤十字支部事務所に集合して衞戍病院に赴き入院中の傷病兵二十餘名を慰問しレコードや遊戲具などを贈り病院の施設を參觀した

今日の案内（廿九日）

◇陸上競技會 午前十時より小學校々庭において連日猛練習中の選手全部を召集して鐵開四公對抗大競技の前衞戰たる競技會を開催す

◇寶生流初謡會 午後七時より滿鐵クラブにおいて復活第一回の寶生流謡曲初會を開催會員及び入會希望者の出席を希望す

◇山口牧師告別講演會 午前十時半より鐵嶺教會において奉天山口牧師最後の告別講演說教

開原

馬賊の頭目逮捕さる

伊通縣沙河子の昌圖炭礦を根據とし昌圖、開原、伊通の三縣下に亘り暴威を逞しくして居た馬賊頭目劉大舌頭或は劉占山と稱する原籍遼寧省本溪湖石橋子住所不定劉海山（三〇）は目下部下三十餘名を擁し大明目唐小六子と氣脈を通じ人質拉去、殺人强盜等を行ひつゝあつたが、二十七日午前八時五十三分第二十八列車に馬仲河驛より三人連にて撫順へ向け乘車せるを同地派出所よりの電話により本署にては直ちに沿線各署に手配し中固驛において劉海山を車中に逮捕し本署に引致目下嚴重取調中であると尚同行者二名は鐵嶺署に引致されたと

庭球紅白試合 廿九日滿鐵で

滿鐵運動會開原支部庭球部にては二十九日滿鐵コートにおいて紅白庭球試合を擧行すると

神社常任會計更迭

開原神社常任會計幹事遠藤氏辭任につき後任に地方事務所經理主任中野常春氏を委囑したと

周孫家臺公安分局長榮轉

開原縣小孫家臺公安分局長周宇文氏は今般金川縣公安局長に榮轉し二十七日出發赴任せるが後任に就いては運動激烈のため尹開原縣公安局長は省當局に其派遣方を申請中なりと

井上驛長出發

井上安東驛長一家は二十七日十一時發列車にて日華官民驛員其他の見送りを受け赴任した

新舊驛長挨拶

新任開原驛長和光正路、前驛長井上芳雄氏は同道にて廿六日新任並びに離開の挨拶に各方面を廻訪

井上氏の寄附

前開原驛長井上芳雄氏は離開に際し開原小學校父兄會へ金廿圓を寄附したと

鞍山

中等校聯合演習 來一日から三日まで

滿鐵中等學校聯合演習は既報の如く七月一、二日の兩日に亘り守備隊の後援を以て擧行されるが北軍は立山驛附近に、南軍は大石橋側に一日正午までに集合し、午後一時より戰鬪を開始して夜に入り二日は午前四時より行動を開始し戰備行軍警戒等の演習を行ひ三日午前三時より白兵戰を行つて演習を修了し講評を行ふ豫定である

富永次長歸鞍

鞍鐵部次長富永能雄氏は大連へ出張中の處二十七日十四時二十二分着急行列車にて歸鞍した

鞍山附近で檢閱演習 二週間に亘る

奉天步兵第三十三聯隊の檢閱演習は二十九日より向ふ二週間鞍山附近において實施せられるが、同聯隊先發隊は廿六日十一時四十四分着列車にて來鞍、參加人員は約九百名であると

ゴルフ對抗試合 來月六日撫、鞍で

撫順鞍山のゴルフ對抗試合は來月六日擧行せられるが、A組は撫順B組は鞍山にて行ふ豫定である

千秋氏出發

前鞍山製鐵所長千秋寬氏は二十七日十五時九分發急行にて家族同伴離鞍したが、驛頭には富永次長始め所員多數、松木署長、間野院長、加藤協會長、實業青年團、老人會等其他官民三百數十名が見送つた尚同氏は離鞍に際し濟生會小中學校軍人後援會、更生會、神社、修養團等に金八百圓を寄附したと

立山元郵便局入札

立山附屬地驛前元郵便局木造平家建一棟卅一坪三四は七月七日午前十一時より鞍山地方事務所經理係において公入札の上賣却、入札希望者は經理係に問合はせられたしと

安東

州外中等校野外演習參加 安中生卅日出發

滿鐵地方部主催の州外中等學校並に守備隊聯合野外演習は七月初旬鞍山、千山附近において擧行の筈で演習地帶實地調查に赴いた阿久刀川安東中學校教官は二十五日歸校と同時に諸般の準備を整へ來る三十日安東發演習地に向ふ事となつた、參加者は安中四、五年生九十名、監督者は阿久刀川大尉、柴田特務曹長、伊東校長、辛島、緒方兩教諭及び宮原經理の六氏であると

篠田實 沿線巡業日程

瓦房店廿日　奉天廿一日廿二日
撫順廿三日廿四日　營口廿五日
鞍山廿六日　遼陽廿七日
長春廿八日廿九日　哈爾賓卅日一日
四平街二日　開原三日
鐵嶺四日　本溪湖五日
安東六日七日

新義州木材商組合賃銀値下

木材界の不況に際し新義州木材商組合は屢々會合し對策を講究してゐたが其の一方法として製材從業員の賃金を一割方引下げるべき決議をなし二十六日より實施したと

小坂拓務次官 多獅島を視察

二十五日夜國境入りをした小坂拓務次官は二十六日午前七時鐵道ホテルを發し自動車にて道廳に向つたが、道廳玄關前にて各課長以上高等官の堵列出迎へを受けて知事室に入り管內狀況の報告を聽取し尚營林署視察の豫定を變更したので引續き伊藤營林署長より事業概況の報告をも聽取した道廳に於ける事約一時間にして午前十時發石川知事の案內にて一行五臺の自動車に分乘し多獅島視察に向つたかくて午前十時三十分三橋川を渡り午後零時二十分多獅島到着、同一時四十分までに視察並に中食を濟ませたる上多獅島出發、二時四十分龍岩浦着、約三十分間視察三時十分龍岩浦を發し四時半新義州に歸着直に公會堂の官民合同歡迎會に臨んだ

姙婦を蹴飛ばす

新義州府若竹町七番地飲食店の李英子（二五）といふ鮮婦人は去る十八日午前一時頃同町十七番地李希根の妻と喧嘩を初めたのを李希根の妾女徐善女（一九）が之を見兼ね仲に入り双方をなだめ夫を連れ歸らうとしたところ李英子は生意氣な奴だと矢庭に靴履きのまゝ姙娠八箇月の身重の善女の腹部を蹴飛ばした爲め廿五日夜早產嬰兒を死に至らしめた、新義州署に於ては直に加害者李英子を引致し取調中である

遼陽

廿萬圓問題 原案承認 法人團設立委員も決る ▽……廿七日の市民大會

遼陽市民大會は廿七日午後一時五十分から公會堂に開催、地方事務所長と折衝委員との決定せる配分案は二三質問ありたるも大多數で承認、社團法人、財團法人組織設立の件も異議なく通過したが、最後に設立發起人選任に當り、銓衡委員を議長指名とするか會員中より選ぶかに關し議論紛糾を極めたが、折衷說の動議に依り銓衡委員六名が選ばれた結果、生田、松田、梶泉、安藤、高橋、安東、近藤（補缺笠井）の七名を設立委員に決定し午後六時半閉會した、これで久しく行き惱んで居た所謂廿萬圓問題も關東廳と滿鐵本社の當局さへ決まれば全部の解決を見るも遠きにあらざる事になつた

哈爾賓

巴里の畫壇 日本人畫家では矢張藤田氏 戸谷畫伯談

廿五日ハルビン着歐亞連絡列車の三等車からひよつこり姿を現した戸谷畫家は——

巴里生活約三ケ年日本人は大使館に屆けてゐる者だけで約三百數十名、其の八割までは畫家である、藤田氏の評判は矢張り日本人中で第一、次は青木芳夫君が認められてゐる、ロシヤ人の畫家も相當ある、クラシカルなものが尊重されてゐる、支那人畫家は模倣のみに力を注いでゐる、日本人は先生に師事するとか西歐の大家が殘した博物館の名畫を手本にしてゐる、畫家の多いことは世界一番だが二十餘戶の畫商の勢力は大したもので大多數の畫家は畫商に頤使されてゐる、畫家も立派な鑑賞眼を有し、將來有望な人物とみれば直間接に保護もする、巴里で製作された畫が米國から歐洲、獨、伊其他に輸出される額は大したものであるが、最近は多少沈滯した、それは財界の不況の半面、模造品の濫製に因ると畫商等は語つてゐる、ロシヤ人の畫家が認められてゐるのはロシヤ人の畫商があるからで、日本人でも日本人の畫商があればもつと世界的に認められるだらう

八人組の掏摸

ハルビンを中心にして最近露人のスリ團が往行し女も混つてゐる一味は八名で列車內の混雜に乘じスルのが專門である、驛長はこの事情を知つてゐるが支那側が取締らぬので困ると言ふてゐる

宇佐美所長 二十七日着任

宇佐美事務所長は二十七日午前八時着哈、驛にはエムシヤノフ、ルーデイ氏、李紹庚その他日支官民多數出迎へた

濱江雜俎

チエツクスラバツクの代表的會社であるシコタ製鋼會社極東支配人アラーゴ氏は本月中旬奉天に向つたまゝ未だ歸哈しないが、遼寧省當局に目下飛行機の賣込奔走中であると

◇東鐵にてはヘルビンから七月八日出發しポグラに至り十三日歸哈する從業員の兒童に對する夏期休暇無賃車の運轉を開始した

◇東鐵材料係では燃料用の薪、ケラシン、石油其他に對し新評價を發表した

◇東鐵にては夏期間中第四及三號列車は游泳者の便宜を計りアルグン河驛は臨時停車すると

◇東鐵の二十六日の換算率は二五〇元

◇新城大街公園内に二十七日から關內專屬の特別市華俄商店が開業した當日在哈日支新聞記者を招待し披露宴を開催した

◇滿洲里市政局は東鐵に向け昨年の露支紛爭のために市政局の財產は破壞されたので、電燈廠の復活に要する補助をして欲しいと皮肉な要求をして來た、東鐵では考究中

旅順

吾等の町を語る 外國人を誘致せよ 物價や關稅の低下も必要 那須梅吉氏談

旅順の今日の衰微は自然でせう、國防の見地とかソンナ專門的方面はサッパリ判りませんが、旅順を生かす事は何と云つても要塞を撤廢するか、少くとも現在の規則を大いに緩和して人口の增加を圖る事が一番だと思ひます、人口さへ增加すれば種々な事業も勃興し問題は總てが解決されると信じる近頃大分旅順大連間の接近を促して來ましたが未だ〳〵今日の如き狀態では駄目です、

◇其他の發展策については種々と理想もありますが、可能性を有する當面の問題としては、民政署が外國人に對し土地の租借權を與へぬ方針を執つてゐる事は一寸研究すべき問題だと思ひます、資本の少ない日本人が如何に焦つても結局何にもならない事で、寧ろ信用ある外國人なら開放してやつた方が却つて好くはないでせうか現に十萬圓の投資をして旅順に住み度いと云ふ外人もあるが、此の外人の云ふ處に依ると、自分だけでも三家族は旅順に永住するので自然これが動機となつて逐次永住する者も出來ると話して居つた、夏から秋にかけて來る母國の見學團が來て落す金も結構ですが、外國人の多數が永住して旅順市に落す金はヨリ以上の額に上り各方面を潤はす事も多いと思ひます、

◇第二に旅順の物價を安くする事も必要です、それには現在の制度が惡い、理由は白菜一つでも持つて來い、金拂は慢々的、最後には金を與れない、此の制度を改めない內は物價の低下は望まれないと思ひます、關稅をモット安くして生產品の勃興を促す事も必要です、現在のやうな有樣では致方がありません、一昨年から見ると約三倍の高率を示してゐる今日では、到底新興事業の出現は困難と思ひます（寫眞は那須氏）

金が降つた昔話 夢のやうな好景氣 藥業主人 岡野武市氏談

卅八年頃は、どだい滿洲に行つたら金が腐るやうに降つてゐると云ふので、死んだ家內のお秀とスタンダードに雇はれて來たのが三十八年の二月二十一日でしたよ私が丁度二十三の時で、着いたのが秦皇島、それから山海關まで貨車に乘つて更に天津まで來たがその時の醜さと云つたら御話しにならなかつた、互に抱き合つて毛布から風呂敷まで頭から引つかぶつたやうな始末でした、兎に角すぐ旅順には上陸出來ず、芝罘からなら出來ると云ふので同地に五日間滯在し、漸く便船を得て上陸したのが驟雨だつた、それから當時漸く開業したばかりの「さくらや」といふ料理店に雇はれたが、その時を今想ふと總てが無茶だつた

◇使はれてゐる若い者も多勢であつたが、晝飯にはビールの一打位は御茶の替りに空けられる、暇があつたら藤八拳を打つて、それで六七十圓の金はいつも懷中に出入してゐた、その時に二龍と云ふ藝者が居たが一ケ月の祝儀だけで千圓宛貰つてゐた、賣揚は八百圓內外でしたよ、それが移り變つて今日此頃の不景氣、いろ〳〵の理由があるでせうが、一つは世間が進んだためもあるでせう、然し今日のやうにドン底の不景氣になるとは思はなんだ、何と云つても現在より惡くはなるまいと思ふ、見込んで住んだ旅順ですからどんなになつても大に戰ふつもりですよ今後の旅順——さうですネ、遊覽地とするのが一番だと思ひます、マア私共の來た當時のやうに、家內なんかが寢衣に着替る時間をほどくと、パラ〳〵と蠟苦茶の札が落ちるやうな時は二度とありませんネ

皇后先づ範を――英の綿製品週間

全國の同情と理解を獲得して大成功裡に了る

積極的な宣傳

イギリスでは去る五月五日から十一日までを「綿製品週間」として綿業者は全國的の大宣傳をやつた、都市の小賣店ではウヰンドウに綿製品を飾り立て、一般消費者、殊に婦人の注意を喚起するに努めた、新聞も亦盛にそれを書いた、綿業者は廣告にポスターに、聲を限りと訴へた。

先づ皇室から

その結果はどうであつたか、皇后陛下が先づヴオイル其他數々の生地を御買上げになつた、そして本年の夏は綿製品を御着用になると御沙汰があり、御買上げの生地を用ひてドレスを御作らせになるとか傳へられてゐる、ランカシアの喜びは一方でない、新聞には御買上げになつた綿布の寫眞が出る、皇室の御示しになつた御手本に從つて、綿製品愛用のトツプを切つたのは下院に議席を有する婦人代議士連である「綿製品週間」中彼等は綿服着用で議會に出席した、これが又大評判になつて、新聞が書き立てる。斯うなると世間の人々は綿製品にあつまり、あらゆる階級の人々が競つて綿製の衣服を着る、綿服を持ち合せない貴婦人連は急いで新調するといふ騒ぎである、流行の尖端をゆく女優たちもわれ劣らじと綿製のドレスを着飾つて、新聞紙上に寫眞を掲げて貰つた。

五ツの理由

綿製品を安物であり、低級品と心得てゐたイギリス人はすつかり驚いてしまつた、いつの間にこんなに技術が進んだものか、原料はコツトンでも藝術的な高級品がいくらでも出來るやうになつてゐる、そして千種萬別、好きなものがある、或る店では五つの理由を掲げて大に綿製品を買ふべしと宣傳した

第一は「持ちがよい」
第二は「洗ひがきく」
第三は「縮まない」
第四は「安い」
第五は「失業者を少くする」

といふのである。

擧國の後援

國を擧げての大騒である、イギリスの綿業者が大同團結し、各部門協力一致して計畫した仕事である、全產業總動員の大宣傳である、こんな事は今まで例のない事である、それに新聞が加勢をしてゐる、新聞は擴聲機である、これを通じて社會に訴へる時は大衆が躍り出す、けれどもイギリスの國民は綿業者の吹く笛につれて徒らに躍つたのではない、綿業はイギリス最大の輸出工業である、その重要な產業が近年衰退し、何十萬といふ失業群を出してゐる、これはイギリス全國民の最大關心事である、この國民的憂慮が凝りかたまつて「コツトン・ウヰーク」となり、そして此の全國民的な後援となつたのである。

日本も受難期

勿論、イギリス內地で需要が增したとてランカシアにとり大した助けとはならないけれども、全國民に綿業の苦悶を訴へ、その理解と同情と後援とを求めたのは、決して無意義なことではあるまい、日本の綿業も受難期に入つてゐるそして今日「加工品へ、高級品へ」と進まんとしてゐる、日本の綿業者も國民的後援を求むべきではないか。

感謝と勤勉

ガンヂー氏の獄中記

五月五日未明突如アミユラム・カラチの天幕からボンベイ州警察の手により一八二七年ボンベイ州治安條例第廿七條で「國家の都合上」プーナ郊外のエラウダ中央刑務所に投獄された非暴力不服從抗爭の指導者モハンダス・カラムチヤンド・ガンヂー氏の其後の消息は、デーリー・ヘラルド記者ジヨージ・スロコブ氏の會見記の他殆ど全く杜絶えて居た、最近獄中からアーメダバツド・アシユラムの

留守を

預かつて居るスレード孃に宛てた左の如き聖雄の手紙が發表された

「…は久しい以前から望んで居た孤獨が出來たので現在の獄中生活を極樂だ、夜は涼しいが時に許を得て蒼空の星下にねて居る、獄裡の睡眠で大いに元氣を養ふことが出來さうだ、獄中では出來るだけチヤーカ（紡ぎ車）に親しんで居るが相變らず仕事はのろい、一時間三十封度も紡げない位だ、最初入獄した日には殆ど七時間紡ぎ續けたがそれでも漸く百六十封度だ、もう少し早く

仕事が

出來るやうになりたいと思つてゐる、身體工合は申分ない、朝はアシユラムの規定時間（午前四時）に起る、明りも貰へるのでアシユラムの通り聖典も讀める、段々疲れも直つて來るやうだ、朝八時から十二時までは規則正しく休養することゝし、その內二三時間の睡眠をとる、行軍中はオレンヂを止めて居たがこゝへ來てから又食べ出した、最近入獄の日には山羊の乳を飲んだが、その後ズツト續けて一日三封度づゝ飲むことにして居る、或は少し山羊乳の分量を減らし凝乳にして

飲む方

がいゝかも知れない朝起きると先づ冷水を飲むことにしてゐる、湯を作る設備もあるが冷水で身體がほてるのに態々あつくする必要はない、又蜂蜜も止めた、山羊の乳を搾るのは自分の目の前でするのだから乳の純良なことに疑ひがない、食器を洗つたりその他掃除煮炊の爲め特に人を一人附けて呉れた、食物については決して心配して呉れるな

ガンヂー氏は更に夫人にも手紙を出して居るが、特に神の加護に對する氏の深い信念を吐露してから書送つて居る

自分が逮捕の前夜お前を始め多數の

姉妹に

會へたのは何と有難いことだらう、あの晩お前の宿所まで同行し得たことは實に嬉しい次第だ、神の惠みは恰も天から降る慈雨のやうに我々に降り注がれるのだ、お前達は決して神經過敏になつたり氣を腐らしてはならぬ

ガンヂー氏は四月九日煽動罪の廉で一ケ年の重禁錮に處された令息ダヴイダス・ガンヂー氏にも書翰を與へ

「父はその許が今何處に居るか知る由もないが、天に在す神が我々を護つて下さるからお互のことで氣をつかはぬやうにしよう」

と美しい父としての情を披瀝して居る

▽新刊批評△

▲ソヴエート・ロシヤ文學の展望（ペ・エス・コガン著、黒田辰男譯）原著者は現代ロシヤが持つ文學史家の第一人者で本著は彼の類書中でも最近のものであり彼の傑作の一つに數へられるものである、著者は本著においてその以前の作「現代の文學」「我々の文學的論爭」「プロレタリア文學論」「文學に於ける赤衞軍」等々について檢討せられた諸現象を再檢討し新しい幾多の事實を補充してゐる、即ちかの有名なる十月革命以後のロシヤ文學を二期に分つて素晴らしいその發展を講述してゐる、著者はその第一期の本質を――文學を革命の仕事へ誘引するための鬪爭、理想主義的文學觀からの解放のための鬪爭、時間と空間を外にして發展し行きつゝある藝術のための藝術の理論、さうしたものの殘存物に對する鬪爭であつた――とし第二期の本質を――文學の社會的意義が總ての人々に容認され鬪爭は文學を上層機構と認める認めないの鬪爭でなくなり、文學のグループはお互にプロレタリアートの欲求であり武器であらうとする名譽を爭ふ――ものであるとして、この本論を進めてゐる、即ち「十月」の前夜、プロレタリア文學、同伴者文學の三章に分ち最近十年間の文學界をソウエート人の立場から明らかにしてゐる（四六版三百二十一頁定價一圓東京麹町區四番町叢文閣發行）

哈市のプロフヰル（三）

これは又抜目ない更紗の宣傳賣出

▽…コムらしくない官僚商內

洋服の切地もない、更紗の着替へすらつくることのできない、白パンの喰へないソウエート聯邦だと人は言ふが、全聯邦織物シンヂケートは世界的有名なロシヤ更紗の支那市場開拓のために、超スピードの宣傳振りである

◇

露支紛爭の際は一時閉居して本國に引揚げてゐたが、既に堂々と店舗をキタイスカヤ街マカジナヤ街の角の舊趾で新陣容を整への躍進

◇

白地夏物の更紗が廣い店頭の陳列棚一面にギツシリ積まれてゐる、最近ダリバンクから百萬圓の資金を得て本國から豐富な品物を取寄せたが、自國民は着なくても他國人に新らしいものを着せよとのコム思想から打算した結果であるのかどうかは別だが、賣子は全部支那店員が其の衝に當つてゐる、「國家直營の貿易だ」――臺所は日の丸ぢやない赤勞農旗だから心配することはないのだらう、店員の官吏風な不愛想な態度、支那としては全く問題にならないものばかり、うちの一人、老頭兒が店員は五十名はゐる、品物は一日平均どれ程賣れるか判らない、一ケ月三千疋もあれば一萬疋も賣れることもある、一疋袋三十疋が一梱だ、小賣は勿論一切しない、哈大洋票の暴落で買足が遠いかつて――サア、建値は日本金だから別に關係はないと說明するチヨルオネツツを使用せず圓金を本位として取引をしてゐる處が不思議だその根源を洗へば資金は圓金であるかも知れない

◇

ソウエートの五ケ年計畫の產業革命の尖端を走つてゐるのが紡織シンヂゲートであらう、舊帝政時代のアルシン尺度制は革命によつてメートル制に改められ古い人間の頭に無理な計算を注入してゐるが、長さはメートルであるも幅は矢張り舊帝政のアルシン物ばかりである　これから觀測しても製織機は舊型の殘物を使用してゐることが判る

◇

其の長さのメートル建が又ニイチエボ式、三三米半、二五米二、五五米三、等々一疋として幾尺の揃ふたものがない、これではメートルに馴れない支那商人は計算に惱まされるだらう、この點は逆比例式のマイナスス、ピードではある値段は大體において一米が金十七、八錢から十二、二錢、逍にロシヤ式な更紗模樣もあるが粗製品が多い、豆の漏れさうな品もある捺染式に藥品が少し異ふ位ゐがロシヤ更紗としての眞生命であらうが、所々に斑點があり色合が變つたところもあるのだから、粗製品で有名な本邦品に比べて遜色のないことは保證ができる

◇

階下の販賣は全部支那店員に委任し階上にはソウエート代表者が盛んにタイプライターのキーを叩いてゐる、電話が飛ぶ急がしいこと、だが「インタービユーは通商代表のところで總括してゐるから此處では話せない」との挨拶であつた、ソウエート國營機關の元締は通商代表が統制管理することに紛爭後改められたのであつた

◇

一米二十錢で仕入れた更紗が、秋林其他の商店へ轉入すると一ヤード（二尺四寸）又は一アルシン（一尺七寸）の建値に變り、値段は一米を基本にした卸値で今大洋票の換算に改められて消費者の手に渡つて行くのである、コンメルサントは一米で約二割方の餘剩價値を得てゐる譯である（ハルビン特信）

探偵小說　女妖（128）

江戶川亂步　橫溝正史　作
伊藤幾久造　畫

奔馬（五）

綾小路浪子が今非常な危難に遭遇したと聞かされて、由良子は氣も顚倒するばかりの思ひであつた

「さあ、早くあたしを其の場所へ連れて行つて下さい。早く、早く！」

彼女は相手の男が馬車に乘るのも待ちきれないでさう言ふのであつた。

「一體、何處でそんな事が起つたのです？誰もその場に居合せなかつたのですか」

「公園の側なんです。どうしたはづみか、浪子さんが馬車に乘ると急に馬が暴れ出して……何しろ急な事ですから、誰も手を出す事が出來なかつたのです」

由良子は胸をわく／＼させながらその話を聞いてゐた。浪子は何んと言つても彼女にとつては恩人である。幾度か彼女によつて由良子は救はれて來た。殊に最近、あの春日邸で起つた殺人事件――それに關して、彼女は誰よりも肩身の狹い思ひをしたければならなかつた。たつた一夜の宿のためにも、彼女は恐ろしい疑惑の中心に立たねばならなかつた。さうした場合にも、親身になつて彼女を救ふために奔走してくれたのは、他ならぬ浪子であつた。

さうして主人の居なくなつた春日邸から、何處へ行く事も出來なくなつた彼女を、又昔の優しい心を以て迎へてくれたのは、綾小路浪子に他ならなかつた。

「あゝ、神樣、何事も起つてゐませぬやうに浪子さまが御無事でゐらせられますやうに」

由良子はそれきり默りこんで、たゞひたすら前方のみを見つめてゐる。その顏はめつきりと窶れはて蒼白んだ頰には、昔のやうな色艶は全く見られなかつた。僅か數ケ月の歲月だつたけれど最近の苦惱はすつかりと彼女の健康を奪つて了つてゐた。

やがて馬車は公園の側までやつて來た。見ると所々に三々五々集つて何事かを語り合つてゐる。それを見ると、由良子は早くも不吉な思ひに胸を慄はせた。

「何て、お前さん、知らねエんですかって」

馭者の問ひに對して、直ぐそれ等のうちの一人が答へた。

「何しろ大變でさ。まア、もう少し向ふへ行つて見な。馬は首根っこを折つて死んで了つてゐるよ。さア、乘つてゐた人達かね。さアえ、直ぐ病院へかつぎこまれたで、どうせあの樣子ぢや助からねえに違ひねえよ」

「まア！」

由良子は息を嚥みこむと、今にも氣が遠くなりさうだつた。

「どうしやう。あたし、どうしやう」

彼女は胸の前で腕を組み合せて叫んだ。

公園通の曲り角までくると、そこには慘憺たる光景があつた。馬車はもう木端微塵に碎けとび、馬が長くなつて橫たはつてゐた。その皮は破れ、白い腿の骨が生々しく見えた。

由良子はそれを見ると急いで馬車から飛び下りた。

「浪子さんは？浪子さんは？」

その聲を聞きつけて、浪子の馭者がびっこを曳きながら、蒼白い顏を出した。彼は不思議にも、この大慘事に、脚の骨を折つただけで助かつたのだ。

「あゝ、お孃さま、大變なことが出來まして……」

彼は如何にも自分の粗忽を詫るやうに低い聲で言つた。

「浪さんは？浪子さんはどうなすつて？」

「奧樣は、今、直ぐそこの病院へお連れ申しました。お氣は確かです然し然し、あゝ大怪我では……」

「そして、あの小夏ちやんは……？」

「あゝ、あの小さいお孃さま……」

と言ひかけたが、彼は思はず顏を外らして言葉を濁して了つた。

家庭

教育者の見た 國産品愛用奬勵
兒童は悉く 國産品の愛用者ばかり
柿野南山麓小學校長（A）と記者（B）との對話

現内閣が我國刻下の經濟難局打開策として輸出の奬勵のためには産業の合理化を勸め、輸入の防止については國産品愛用の勵行を國民に慫慂してゐるが、文部省では過般來全國の各學校に通牒を發して學用品の國産使用及兒童を通じての國産愛用奬勵につとめてゐるが、之につき南山麓小學校に柿野校長を訪ねて意見を訊いて見る

B、文部省が學用品の國産品使用及び兒童生徒を通じての國産愛用奬勵に大いに勵めてゐるやうですが、兒童の學用品を調査した結果はどうでしたか

A、學用品として外國品を使つてゐるのは一人もありません

B、兒童は國産品だとか外國品だとかいふことについては案外無關心でせうね

A、何も考へてゐないでせう、何しろ兒童の使用してゐる學用品といつたところでそれはいづれも極めて安價なものではあり、大部分は學校の賣店で取扱つてゐるものですから兒童の學用品については特に國産品を奬勵しなければならないといふやうな必要はないやうです

B、さうなると、國産奬勵についての學校の仕事は兒童を通じて家庭へ呼びかけるの一途が殘されるわけですね

A、結局さうなります、これについてはいづれ校長會などで打合せをした上奬勵の方法を講ずることにならうと思ひます

B、國産品使用についてはいろいろ意見があるやうですが之を家庭經濟或は個人經濟から見ると國産品であらうが、外國品であらうがとにかく品質がよくて値段も安いものを買ふといふことになるのが自然だと思ひますね それで結局は、品質がよくて値も安いといふ國産品が出來るやうにならなければ國産品愛用といふことはほんとうに徹底しないと思ひますがこの點について御意見は如何です

A、個人的立場から見ると私もさう思ひます、しかし私は教育的立場からこんな風に考へてゐます、つまり現政府が國産品の愛用を奬勵する所以のものは年々輸入超過に超過を重ねつゝある輸入防遏にあるのであるから國の財貨を外國に流出せしめないといふ趣旨から見て、國民は個人の經濟に多少の犠牲を拂つてもつとめて國産品を愛用するやうにしなければならないと考へてゐます

B、つまり多少品質が惡くとも値段は高くとも國産品を使用するといふことですね

A、さうです、これは個人經濟の立場から見ると如何にも矛盾してゐるやうですが一歩退いて之を國家的に見るとそれは國策の精神と全く一致すると思ひます

B、その論旨をそのまゝ實行することは事實に於て不可能ではありませうが、一面經濟の相關々係から見て、國民が全然外國品を使用せず專ら國産品を使用するとなれば、結局國産品に對する需要が増加することゝなり、需要が増加すれば生産者も大量生産が出來るから値段も安くなり、それと同時に資金も潤澤になるから設備も完全して品質の優良なものが出來るやうになるといふやうに我國の生産業が相關的に進歩發達するとも考へられますね

A、さうです、さういふ風に考へたいのです、そして結局は我國民の要する事物は悉く我國内で産出されるといふやうになることが理想です、勿論之をそのまゝ實現させることはむづかしいことであるかもしれません、しかし、出來るだけこの理想に近づくやう努力を怠つてはならないと思ひます（寫眞は柿野校長）

完全に消化されるものは よい食物でない
不消化物は腸の蠕動を助ける

▼…吾々の食べ物はすべて消化の良いものでなければいけないと云はれて居りますが若し食物のすべてが消化してしまふものとするなら好ましくない現象を呈する、それは腸の蠕動力を弱くするからであります。元來食物が先づ胃で消化されて腸へ下つて來ると腸はその縦横斜走の筋肉層が刺戟を受けて蠕動を初めます、此の蠕動によつて

▼…食物が押し進められて肛門の方へ行くのですが、蠕動の力が弱い場合は排便が工合良くゆかないため何時までも腸内につかへて居ります、つまり便秘を起すのであります、それで食物中には適度の不消化分を含んでゐる必要があります、此の蠕動を助ける爲めの不消化分としては植物性の食物が最もよくなほ蠕動を助ける爲めには大腸菌その他の細菌によつて發生する瓦斯も良い結果を與へます、大腸菌は時に害を及ぼするがあるが一方右の樣に間接な益を與へてゐます

―スピード―

M奥さんは此の燒けつくやうな眞夏に、しかも生れたばかりの乳兒があるにもかゝわらず、何時訪ねても帶をキチンとお太鼓にしめてゐるのは感心だつた、感心と言ふよりも寧ろ不思議だつた。

童謡 あこがれ
春木和夫

夢のお國は
海越えた
遠い南の
椰子の島。

木蔭にいこふ
姫さまの
長いもすそが
いとしうて。

今日も一日
片岡の
芝生の上に
おもふこと。

―眞白な雲に
のれたなら
もしも翼が
あつたなら、

あこがれ遠い
椰子島に
空をかけても
行かうもの―。

あゝ雲がゆく
はるばると
裏のお山の
空遠く……。

麻布の涼しい感觸
◇洗濯の仕方

麻布の着物 はすべて身體を冷すので、時に御婦人にはよろしくないなどと云はれたものでありますがそれは身體にさわる程冷す譯のものでなく、夏の暑い時分としては當然その方が良い事は云ふまでもありません、何故麻布が身體を冷すかと申しますと、麻の纎維は熱をよく傳達するからであります、その上麻の性質として、さらくして居りますから感觸から言つてもまさ夏向きと云はねばなりません、麻の類と云つても、

普通の麻も あり、最近流行の絹麻あるひはリンネルなどは何れも夏向きとして[illegible]しい布とされて居ります、絹麻は一寸縮のやうであて肌ざわりがさらりとして麻の本質を失つてゐないし、なほ揉み洗ひしても毛羽が立たずぼやけもせぬのが特徴でありますリンネルは亞麻製で、一名リンネルとも呼びます、やはり普通の麻や絹麻と同じ樣な特徴を持つて居りますが、これはもつと丈夫です麻類は他の布と違つて汚れが少いので大へん便利です。

洗濯の場合 には暫く水に浸して置いてから濯いだ丈けでもきれいになります、そして絞らずにその儘乾かすのです、乾いてから霧を吹いてアイロンをかけるか壓しをして置けば新しいものゝ樣に美しくなります、なほ着た後では霧を吹いてしめりを與へ、壓をかけて置くと着くづれがする樣な事がありません

◇……初夏の涼味……◇

家族本位の海水浴場
滿鐵地方課が 星ケ浦に開設

海のなつかしいシーズンになつて逸早くも滿鐵地方課では昨二十八日から昨年同樣星ケ浦の温泉停留所前に一般海水浴客のため家族會館を開設した、此の星ケ浦家族會館は、滿鐵地方課が一般社會施設中の保健施設として、昨年の夏期中開設したもので場所は廣く、建物は宏壯で、眺望佳く、電車の便もよいので昨年は大いに好評を博した、本年は更に一般休憩室の改造と、宿泊室の改造を爲し、前年よりは一層利用者の便を計ることになつてゐるさうである。

星ケ浦電車西門停留所で下車すると、直ぐ其前が家族會館である。居ながらにして油繪のやうな海の眺め、腹一杯清澄な空氣を呼吸することが出來る。

……家族會館の目的は大連……

に居住する一般市民及沿線社員にして其家族の健康に留意し、或は海水浴、或は海岸を逍遙し、清澄なる郊外の海氣を味得しやうとする者の爲めに休憩所として之を開設し、家族團欒の趣味を享受せしめんとしたもので一般休憩利用者のために階上に日本間三十六疊、同二十疊、同十二疊、洋室、ベランダ、階下洋室が開放されてゐる。日本間は涼しい葭張の衝立で仕切るやうになつてゐるから、家族は一團となつて遠慮なく打寛ぐことも出來、洋室には安樂椅子や肘掛椅子があり、ベランダには大人用藤椅子、兒童用の藤椅子等心地よき設備がしてある、尚その他

……沿線社員家族のために……

宿泊の設備がある。宿泊室は全部日本間で、四疊一間、八疊三間、十四疊一間の外に豫備室があつて沿線家族の希望者が宿泊の出來るやうになつてゐる。それから一般利用者の爲に階上、階下に湯呑場が設備してあつて無料で供給する又清涼飲料水の館内販賣もする酒は一切取扱はないさうである、尚食事は宿泊者のために安價で美味な定食を供する外、一般利用者の爲めにも簡易な食事を準備する。食費は三食で金八十錢（朝二十錢、晝三十錢、晩三十錢）當分の内自炊の設備はしないことになつてゐる。

……一般休憩利用者のため……

には、清楚な男女別浴場の設備がある。沿線の社員家族のためには別に氣持のよい浴場の設備があり館内には巡回文庫、雜誌、新聞等の備へ付けがしてある外、活動寫眞、蓄音機、自働ピアノ、碁、將棋等の娯樂設備もある、それから海岸又は公園内で遊ぶ者のために希望に依つては茣蓙を貸す、又兒童にはバケツ、シヤベル、浮き袋等を無料で借りることが出來る。

……一般休憩者の入館料と……

しては大人金十錢、小人金五錢五歳以下は無料である。又居室に餘裕ある場合は料金の定むる所に依り、專用利用の希望に應じ、五歳未滿は無料である。宿泊者は夜具を持參することになつてゐるが、館内備へ付けの寢具を借りることも出來る。寢具は來客毎に洗濯した被布を使用する故、極めて清潔である。使用料金は一日一組（敷布團、掛毛布各一枚、枕一個）金二十錢、蚊帳は金五錢である、宿泊申込は沿線社員並に同家族宿泊希望者は所屬氏名、續柄、男女別年齡等を記載し、滿鐵地方課に申込めば申込順に許可することになつてゐる。

大島義昌大將銅像

その頃を語る

關東總督府は大連にか旅順にか

繁昌の中心は磐城町、岩代町　二十五年前の回顧

遼東新報の初號發刊は明治三十八年十月廿五日である、但毎週二回發行といふのであつた、第一號は本日本紙十頁として欄外に「本紙創業の際編輯庶務共に不行屆勝にて大方の御督顧に背き候段平に御宥恕希上候次號よりは着々整頓可仕候に付左樣御承知被成下度候」としてある。當時はまだ軍政が布かれて居り滿洲軍總司令官は侯爵大山巖、關東州（當時は洲の字を用ゆ）民政署民政長官が今の臺灣總督石塚英藏氏であつた。

新聞紙は何といふても遼東新報が滿洲で最初の邦字新聞、第五號から觀れば頗る時代ばなれのしたもので、ロンドン電報、東京電報の二種を聯ね、第一號の東京電報のうちには二號活字で東郷大將の凱旋といふ見出しの傍に（十月廿二日發）とあり本文は

「今朝十時半東郷大將以下凱旋す「プラットホーム」より二重橋に掛け官私團體及個人の歡迎者堵の如く萬歲の聲は鯨波を爲して雲表に響く」

とあり、大山元帥の凱旋については二十一日の電報として

「滿洲軍總司令官凱旋入京に際し上陸する港灣には帝國軍艦を在泊せしめ其先任指揮官は之に對し禮砲を行ふ（一九發）」

公布式

この遼東新報が十月二十五日づけを以て關令第五號により關東州における公布式と定められた。

民政に關し滿洲軍總司令官の發する命令及關東州民政署民政長官の發する命令は遼東新報に掲載するを以て公布式と定む

遼東新報社の社主は末永純一郎で發行兼編輯人であり印刷人は淺野外吉といふ人であつた。一ケ月前金四十錢、一部金五錢、廣告料は十九字詰一行に付、普通金五十錢特別金一圓といふところ、伊勢町五番戸に本社があり、旅順三笠町廿二番戸に旅順出張所、遼陽學且場内に遼陽出張所があつた。末永社主は「首途の一言」と題し約一段にわたり所懷を述べ新聞經營の抱負を披瀝してゐる。すなはち

「戰ひの幕一たび落ち平和の舞臺は茲に開かれたり。同胞の血を以て染め得たる遼東半島の地は再び、故主の手裡に還りぬ、山河靈あらば健在を祝すべし。天地情あらば久潤を叙しなん。頃しもあれ、我が遼東新報は滿腹の經綸と多大の期待とを抱いて、大連の一角に蹶起しぬ、自ら以爲らく、新聞紙は文化の宣擧使なり、開明の傳道者なり、文明の精神を扶植せんとせば、新聞紙に依らざるべからず社會の實務を知覺せんと欲する者は新聞紙に來らざるべからず。此故に文明の存在する所、一日も新聞紙なかるべからず、新聞紙の成立せる所、片時も文明の缺乏を容さんや。新聞紙は或意味に於て一種の神權なり、而して之に從事する新聞記者は一種の天職なる哉。新聞社其物に至りては直ちに一種の階級なり、吾人豈自ら高く標置せんや、社會の進歩は吾人の理想を實現して此極に至らしめんとせり、吾人安んぞ眼勉自彊以て大勢に追陪せんことを期せざらんや。

然りと雖も憤るべくして憤り、喜ぶべくして喜び、悲しむべくして悲み、笑ふべくして笑ふは直情徑行の人之を爲す、吾人も亦實に之を欲す。奈何せん感情の激する所は、往々にして理性の向ふ所と背馳す、是れ吾人の最も愼戒を要する所、幸にして遼東の地未だ內地の自由なるが如く自由ならざるなり、特に或範圍內に於ける言論の檢束は時勢の止むを得ざるものある歟、爲めに吾人をして奔放自在なる能はざらしむ、吾人は須らく此間に於て修養自存する所あるべきを期す、世の吾人を知るもの庶幾くは以て諒とせん哉。」

と軍政當時、言論の必ずしも自由なる能はざるべきを告白し、最後に至つて、

「吾人は茲に吾人の所志と境遇とを言明するに方り、肅然として敬意を致し、恭しく謝意を表せざるを得ざるものあり。各種事業中に在りて、新聞事業は最も困難なるものゝ一に算せらるゝに拘らず、吾人をして其今日初一歩を踏ましむるに至らしめたる、深厚なる諸君の同情と、剴切なる注意則ち是なり、想ふに新聞事業の困難は、尚ほ多く今日以後に在るべし、山の如き諸君の高義、火の如き諸君の熱情以て吾人を啓發し、以て吾人を提撕するにあらずんば、恐らくは吾人の堪ふる能はざるものあらん、諸君翼くは高眷を愛しむ勿らんことを。

終に臨んで本紙發刊に際し、祝詞祝文並物品等を寄贈せられたる諸君の好意に對し茲に謹んで滿腔の謝意を致す。」

大觀小觀

當初は「茶の煙」といふ欄があつた後に「一砂けぶり」となつたものであらうが今日の「大觀小觀」すなはち短評をモノしたもの、第一號には

此度の戰爭に付大阪商界は罰食物其他物資の買上のため九州地方は石炭騰貴のため等にて大繁昌を極めたが關東地方は戰爭の餘澤に與ら無かつた所から非常に不景氣に苦んだとのことだ、△所がコンナ餘惠や餘澤は別問題として茲に戰爭の爲め直接大損害を蒙つた者が居る夫れは誰かと云へば戰爭際迄浦鹽滿洲遼東の各所に居住した吾同胞である

と宣戰布告と周章狼狽、取るものをも取り敢ず引揚げた人達の氣の毒な狀況を述べてある。「御紹介致します」といふ今日の「滿日案內」といつたものは「一件錢五十錢三行以內とす」といふので

△男子雇はれたし、男年三十普通高等兩教育を受け文筆相應品行缺點なし相當の會社商店で雇はれん事を望む（姓名在社）

とあつて當時は東洋の風雲を望んで雄飛せんものと相當の元氣者、しかも筆も立ち舌もあり腕も利くといふやうな國士先生が職を求めて來たものらし、○讀者の氣焰（私怨を報ふな、誹毀に亘るな、嘘を吐くな、冗长に流れるな）の欄中には

眞正なる市民の利害を代表する居留民會の組織たきゝ大連市民の大恥辱ならずや（憤慨生）△市場のチヤン〳〵は實に失敬です女のお客を見ればホーホーデとかサイコ〳〵とかチヤンの癖に生意氣千萬見當り次第撫り飛ばすぞ（江戸ッ子）△大連の藝者さんモ少し三味の稽古をしなさい値も滅法高いが鴨屋で女は多いが言葉の分らんのが芙蓉館で日本料理と來たら矢ッ張扇芳亭でせう、尤も食ふ一方なら支那料理屋に限るよ（極常生）△一日も早く小包郵便の便利を得たい者です（磐城町松田生）商品陳列館は何日から始まるのですか教へて下さい（若鬪子）

遞信鎖商店が出來たり大連郵便局が新築されたりした今日から回顧すれば二十五年の昔も全く今昔の感に堪へぬものがある。

當時の物價

當時大連市物價なるものを示せば

日用品小賣値段

品名	單位	値段
米（日本精米上）	一斗	金二圓
木炭	一貫目	十八錢
石炭	百斤	一圓
牛肉	一斤	二十五錢
豚肉	一斤	二十二錢
清酒（灘製上物）	一斗	四圓五十錢
醬油（日本製上）	同	三圓
白菜	一斤	一錢五厘
玉葱	同	五厘
煙草（官製紙捲煙）朝日		五錢
同　チエリー		四錢
同　リリー		三錢五厘

明治三十八年當時における大連市繁昌の中心は磐城岩代の二町、之に次ぐは常盤公園の內外、其次ぎは吉野町附近ならん店の偉大な所から見れば鴨屋、芙蓉館扇芳亭を第一流とし、二流には研屋ホテル、日の出館、萬華、三筋庵あり、三流の雄なるものは水晶館、井筒樓等なるべし以上は何れも抱へ藝者なる者あれど此以下酌婦專門の所、帝國館明月樓、名古屋館の類は枚擧に暇あらざる程なり、中にも飛驒町のビヤホールや、大連湯の大將（一に親分と云ふ）の如きは、いの一番に當地に乘込んだので甘い汁を吸つてゐるとか

今日のカフエー大流行を比較すると二、三世紀も前のやうな氣がせざるを得ない。十月三十日の第二號による大連居住者の營業別は十月現在において

營業	數	營業	數
雜貨	一二二	食料品	三七
飲食	五五	旅館	五三
料理	六九	土木建築	三一
陶器	二	請負	六
靑物	四	藥種	五
印刷	五	魚類	三
ラムネ	二	湯屋	三
貸家	四	屠獸	〇
海產	四	牧畜	七
艀船	四	織物	一
靴革具商	二	商船會社	一
荒物	三	造船	一
馬車	一	硫黄	二
提灯製造	一	回漕	一
下宿業	一	興行許可	一二
運送業	二六	漁業	九
時計	七	寫眞	六
酒	四〇	醫師	一六
味噌	一五	醬油	二
小間物	二	石油	五
牛肉屋	七	洗濯業	二
雜誌	二	書籍	三
諸器械	二	文房具	二
倉庫	一	鐵工	一
潜水	二	石炭	一
		糸	
製氷	一	委托販賣	一
洋服	二	古物	二
獸醫蹄鐵工	一	漬物	一
西洋料理	一	吳服	一
麥粉	一	遊戲	五

大連か旅順か

關東州を統轄する行政の中心を旅順に置くべきか、それとも大連に置くべきかといふことは當時の重大問題であつたらしく、いまだ決するに至らなかつたらしい、第二號の「茶の烟」では次ぎの如くに大連、旅順の品定めをやつてゐる

△茶の烟△今度新たに定められた關東總督府は總督に陸軍大將大島義昌氏、參謀長に陸軍少將落合豐三郎氏、民政長官に石塚英藏氏が任命されて、其他の幕僚も大抵遼東兵站監部から補任さるゝといふことだへ寛嚴宜きを得たる大島男を戴くるに俊爽なる落合氏と、殖民地の經論には申分なき石塚氏とを以てすれば今後遼東の政務は無論臺灣よりも速かに好成績を擧ぐるであらう△夫れにしても、總督府は何れの地に置かるゝであらうか形勢交通を以てすれば無論大連のモノだけれども唯形勢と交通と許りでは其位地を決する譯に行かぬ與國に對する政略上或は却つて偏僻なる旅順に置かれぬとも限らぬまい△夫に又、大連には官衙の明屋が誠に少ないけれど、旅順の方には夫れが幾らでもあつて、而かも皆大連のよりは立派な建物だから道理上、此方が總督府を置くに便利な樣にも思はれる△夫れで無くとも、元來旅順は役人町的に出來てる所で、大連は其反對の町人町だ役人町に役所が出來たとて、町人の者は別に怪むにも又羨むにも及ばぬ話、紀句夫れが却て政治執行にも都合が好く、商業發達にも中分無い譯ではは無からうか△兎に角戰後の大連は露淸貿易の中間に立つて、非常に繁昌すべき運命を有してるのだから、此地の商人たる者は今後其度胸を太くして御用商や軍隊相手の買込みの夢を見ず、進んで正式の永遠的貿易に從事せられんことを望み度いものだ△然るに歸還兵士が吾妻橋を越へてコチラへ來んと云つて今日既に落膽してる商人が多いが、之では迚モ大連商權擴張の任に當らしめる譯には參らぬ扨々情け無いぢやないか

總督府は都督府となり遂に旅順に鎭座することになつたが歷史は繰返すといふが、とにかく商人はその當時と今日と同じやうな心理狀態で商賣してゐることは不思議といへば不思議の次第である

新築社屋落成記念

一、社會奉仕部設置
イ、在滿陸海軍諸部隊及在滿警察團へ慰安娛樂器具寄贈
ロ、在滿邦人七十七歲以上の高齡者に對し敬老の意味を以て『喜字祝』に因み記念品を贈り表彰す

二、愛讀者優待大福引
イ、景品總額壹萬圓
ロ、當籤總數五千本
ハ、籤外讀者に漏れなく記念品贈呈

三、記念祝賀
イ、本紙後援支持者招待大園遊會
ロ、廣告展、廣告假裝行列

四、本社事業大擴張
イ、十三段制實施
ロ、滿日型超高速度輪轉機增設
ハ、紙面刷新大飛躍
ニ、印刷所機械更新增設

本紙創刊廿五周年　滿洲日報社

地下室でモヒ密造中ガス中毒で二名窒死す
＝大連實業藥劑師會の正副會長＝
昨夜若狹町の怪事件

廿八日午後五時ごろ市内若狹町七四番地合資會社小島藥局内の地下室に設けられたる秘密工場に於て同家の主人、大連實業藥劑師會副會長小島一雄氏(四四)と市内岩代町二三番地中央堂藥局主大連實業藥劑師會々長萱島猛雄氏(四二)とが折り重つて變死してゐた怪事件があり、同日午後七時三十分屆出に接した大連署では藤井司法主任以下刑事總出動で現場に急行、大連檢察局から池内檢察官出張し怪事件の眞相を摑むべく、深更に至るまで家人の取調べ、家宅捜査等を嚴密に行つたが、變死の原因はモヒ密造中瓦斯中毒で窒息したものと見られ、近ごろ珍しい怪事件とされてゐる

發見したのは死後二、三時間を經過してから
晝すぎから地下室におりてゐた

大連實業藥劑師會正副會長が變死した小島藥局内の地下室は同家の店と炊事場の中央に當る所より切り開かれ地下約一間半を掘下げて設けられたる八疊位の工場である、小島、萱島兩氏は同日午後零時半ごろ地下室に下つたまゝ四時間餘になつても上つて來ぬので、小島氏妻女トミが不審に思ひ地下室を覗ふと異樣な臭氣が鼻をつき、苦悶の形相で萱島氏が變死してをり、そのすぐ傍らに小島氏が打ち伏したまゝ悶死してゐるを發見、驚いて家人を呼集め兩氏の死體を二階八疊の間に運ぶと同時に櫻井醫師を迎へて應急手當を加へたが死後既に二、三時間を經過してをり施す術もなかつた、現場の模樣から見て室内に充滿せる瓦斯中毒のため萱島氏が最初に打ち倒れこれを見た小島氏は萱島氏を抱き起して手當を加へるうち自分も中毒してフラ〱と眩暈を覺えたので室内から逃れんとし階段に足をかけたまゝ打ち倒れたものらしく鼻上に打撲傷を負ふてゐた

モヒ密造工場として完全な地下室の設備
昨年二月ごろから大仕掛の密造
某方面に密輸を續く

兩氏の死の原因に就ては種々奇怪な風說が立てられてゐるが、眞相として傳へられるところによると同地下室はモヒ密造工場として完全な設備が整へられ、室の周圍には十數本の瓦斯管を引入れモーター及びボイラーの設置までしてあり、久しく警察當局の眼を晦してモヒ密造を行つてゐたものらしく、廿八日も小島、萱島兩氏はモヒ密造のため地下室に下りて作業中、不用意に放置せる瓦斯管から瓦斯が洩れてゐるのに氣付かず作業を續けてゐるうち室内に充滿した瓦斯のため遂に窒息死に至つたものである、同工場は小島、萱島兩氏が共謀のうへモヒ密造を目的に昨年二月頃造作したもので、爾來

地下室で は大掛りなモヒ密造が行はれ巧に某方面に向けて密輸し莫大な不正利得をなしてゐたものと云はれ、多量の製品が二階六疊の間に隱匿してあつた

屆出に先だち製品を隱匿
他にも連類者ありと睨んで大連署大活動を開始

變事を發見した小島氏妻女トミは家人を呼び集めて兩氏の死體を二階に運ぶと同時に變事を大連署に屆出る前に、モヒ密造の發覺を恐れ、地下室工場内に隱匿してあつたモヒ製品を大急ぎで二階六疊の

押入れに 隱し犯跡の發覺を防いだ形跡あり、所轄大連署では同夜午後十一時ごろ本署に小島藥局店員數名及びボーイ等を連行し新妻、大崎兩警部補、中島巡査の手で深更に至るまで嚴重取調べを行つた、而して斯る大規模に行はれてゐるモヒ密造が今日まで何故隱蔽されて來たか——萱島、小島兩氏が藥劑師會の正副會長たる

名譽職に 在り、殊に小島氏は柔道四段で各方面の顏師をつとめ世間的に相當信用を博してゐたことから巧みに警察の眼を誤魔化して來たが、兩氏の變死で端しなくも右犯罪が暴露したものであるなほ大連署では大仕掛のモヒ密造の裏面には相當有力な連類者と密賣の手先となつた

禁制品屋 が介在してゐるものと睨み、小島方の家宅捜査で得た資料を手掛りに各方面に亘つて大活動を開始した

萱島猛雄氏

小島一雄氏

何がナンだか判りません
萱島氏宅の話

池内檢察官の檢證終了と共に午後十一時過ぎ變死の現場たる若狹町小島藥局より店員並びに人夫に護られ毛布に包まれて會長萱島猛雄氏の死體は自宅なる岩代町廿三番地中央堂藥局に自動車によつて運ばれたが、同家を訪へば留守番に來て居た親戚の一人は語る

此處の主人は何時出掛けたか全く知らないのです、家人のものは今皆二階の方にのぼつてゐますし失禮させていただきます、飛んだことが出來たものですが私達には何が何やら少しも判りません

異樣な匂ひに近所で迷惑
眩暈を感じたことさへある
近隣のひとの話

近所の人は驚きの面持ちで語る

小島さんは磊落な氣持ちの良い人でしたがモヒ密造なんてやつてゐたんですか？そういへば今更ら思ひ當ることですが、多季中はそうまでありませんが夏になると小島さんの裏口から異樣な匂ひが

洩れて 來て近所の人が非常に迷惑をしてゐました、昨年の夏のことです、私が裏口で仕事をしてゐますと小島さんの家から發する惡臭のためフラ〱と眩暈を感じたことすらありました、小島さんにはいろ〱な種類の人が出入してゐました

直接原因は炭酸ガス
櫻井醫師の談

兩氏の變死體を診た市内愛宕町七二番地櫻井醫師を同醫院に訪へば

萱島さんの姿は時々見受けたが餘り繁々とは來られなかつた樣です、變事當日もお晝ごろ遊びにゆきましたが變つた樣子は少しもなかつたのに午後五時半ごろ小島さんが二階から

墜ちて 死なれたといふことを聞きましたがそんな大變な出來事とは想像もつきませんでした

語る　私が馳けつけたときは既に兩人の軀は硬直してゐて死後二時間を經過してゐた、死の直接原因は室内に充滿せる炭酸瓦斯のため窒息したものです、何しろ地下室は九十度以上の高熱があり、私が馳けつけた時もカツとするほどの熱力であつた、それに本日は非常に暑かつたので瓦斯の充滿も早く、知らず〱のうちに恰度モヒ患者がモヒを吸つた時のやうな快さで窒息したものでせう、小島さんの鼻上に打撲傷のあつたのは、呼吸苦しさの餘り室から逃れようとして一旦立ち上り卒倒した際土間で打つたものと思ふ

今夏來征の慶大陸上チーム
◇—顏觸れと試合日取

津田、北本、阿武、小野、齋藤、板橋等日本インターカレッヂの粹を集める慶應大學陸上チームは既報の如く今夏休暇を利用していよ〱八月二日神戸發定期船で遠征の途につくことになつたが、一行のメムバー及び日程は左の如くであるが、七月二十一日豫選會を開き追加選手を決定の筈

▲日程　八月二日神戸發五日大連着、九、十日對全滿洲戰(大連運動場)十三日對撫順戰(撫順運動場)　▲メムバー(監督)淺野均一(主將)黒田保次(選手)阿武巖夫、菅沼定明、吉田信貞、奈良龍雄、高西博、北本正路、北村義男、中濱軍治、小野操、岩本重秋、齋藤良衛、板橋政治郎、山本定治、門田重文、渡邊卿太郎

尙競技方法は交渉中であるが九、十兩日の競技種目左の如くである

▲第一日 (1)百米 (2)砲丸投 (3)千五百米 (4)棒高跳 (5)四百米 (6)百十米高障碍 (7)八百米繼走　▲第二日 (1)二百米 (2)走高跳 (3)八百米 (4)圓盤投 (5)四百米低障碍 (6)三段跳 (7)槍投 (8)五千米 (9)千六百米繼走

また同試合にそなへるため大連側選手は二十七日より猛練習を開始した

手斧を揮ひ刄傷沙汰
ゆふべ賭博に勝つた男

廿八日午後十時、人影まだ絶えやらぬ市内能登町大通りで僅ばかりの賭博の金の貸借から手斧を揮つてのなまぐさい事件が起きた、市内若狹町一二八王玉田(二)は去る日同町たる孫中巴外三名と稱する賭博を開帳、王は孫に小洋十圓ほど勝ち越したが、孫は再三催促しても支拂はぬので王は憤慨し孫が能登町附近を徘徊してゐるのをみすまし隱し持つた手斧で左顳並びに肩先にザックリ斬つけ重傷を負はせた、犯人は直ちに大連署で逮捕目下取調べ中で被害者は取敢ず普愛病院にかつぎ込んだが生命は取りとめるらしい

臨時競馬大賑ひ
關東長官や要塞司令官ら見物
きのふ午後の成績

星ケ浦臨時競馬第五日目の二十八日午後は觀衆も非常に多く太田關東長官は三浦外事課長、小林秘書官、厚東旅順要塞司令官は藤田主計監その他各幕僚と共に大連郵便局新築落成式よりの歸途來場し見物する等大賑はひであつた、午後の成績左の如し

▲第五競馬(駈歩速歩)三千二百米　第一着滿山(小川騎手)九分二　第二着萬歳、第三着千里(配當五十圓)

▲第六競馬(各抽)二千米　第一着桂(山下騎手)二分四十二秒、第二着羽衣(二馬身)第三着千昌(大差)(配當十圓)

▲第七競馬(各抽)千八百米　第一着大和(杉村騎手)二分三十二秒二、第二着一(五馬身)第三着千鳥(一馬身半)配當二十一圓四十錢

▲第八競馬(各抽)千六百米　第一着ヶ峯(小川騎手)二分十秒九、第二着小鷹(一馬身)第三着淡月(一馬身半)配當廿二圓八十錢

▲第九競馬(春抽)千六百米　第一着隼(小川騎手)二分十四秒、第二着白金(二馬身)第三着白眉(大差)(配當六圓六十錢)

▲第十競馬(各抽)千八百米　第一着麒麟(山下騎手)二分廿八秒、第二着初風(半馬身)第三着大黒(大差)(配當五圓四十錢)

▲第十一競馬(春抽)千八百米　第一着勝見(打田騎手)二分卅一秒、第二着雲鳳(大差)(配當五圓十錢)

▲第十二競馬(新古呼)千六百米　第一着旭昇(細貝騎手)二分三秒、第二着大颯(大差)配當五圓

▲第十三競馬(各抽)千八百米　第一着大正(小川騎手)二分廿七秒、第二着一姬(一馬身)第三着銀(二馬身半)配當八圓七十錢

▲第十四競馬(春抽)千八百米　第一着紀州(堤騎手)二分卅一秒四、第二着琴崎(二馬身半)第三着鶴島(四馬身)(配當七圓六十錢)

因に五日目馬券總賣揚高は四萬七千四百四十五圓であつた

御下賜品差押へ事件で責任者を處分
きのふ夫々言渡す

大連市役所では去る五月三十一日、黒石礁三六三元駐日支那公使莊璟河氏に對する市稅滯納の財産差押へ處分に際し執行に向つた書記阪田進治並に書記補高橋元二の兩氏が天皇陛下御下賜の天盃並に伏見宮殿下、李王殿下およびルーマニア皇室よりの御下賜品その他を封印差押へて失當の處置を執つたので之れが事件の善後策に關し永井助役以下首腦部は直接その衝に當つた阪田、高橋兩氏並に被害者莊璟河方のボーイ陳子增に就き連日調査中であつたが、いよ〱阪田、高橋の兩氏は職務上の注意を怠りたるに因る事明瞭となつたので關東州市制第廿條の規定により二十八日午後五時半永井市長代理は過怠金阪田氏に對し二十五圓、高橋氏に對し十五圓に、また財務課長大久保忠一氏は平素部下の監督不行屆きに因るものとして同規則により譴責處分をそれぞれ言ひ渡した

愼重に調査處分した
永井市長代理談

右に關し永井市長代理は語る

本件は問題が問題なので當局としても直接執行の衝に當つた阪田書記並に高橋書記補、および當時莊璟河方の留守をあづかつてゐたボーイ陳子增等に就き愼重調査したが、差押へ當時阪田書記は物品を點檢し高橋書記補は調書を作成してゐた、その時陳は兩名に對し天盃である旨を話したと云ふ事だが兩名は仕事に夢中になつて居り聞かなかつたと答へ、陳も多忙な模樣であつたから或ひは聞きとれなかつたかも知れないと述べてゐる、この點判つきりしないが兩者の心理狀態に依つて判斷せねばならぬ、差押品が一見して天盃である事が判らなかつたかと云ふ點であるが阪田書記も高橋書記補も天盃を拜觀した事がないから、これは致し方がない、兎に角阪田、高橋兩名の執行した差押へが失當である以上は規則に依つて處分するもやむを得ない事である

全滿少年野球大會組合せ日割決定す
愈よ七月一日より火蓋を切る
きのふの監督會議で

大なる期待を以て迎へられてゐる本社主催の第一回全滿少年野球大會州内豫選會はいよ〱來る七月一日より擧行されるが州外豫選會は都合に依りこれを廢止し州内大會を以て全滿洲大會(本年度に限り)となすことになつた(州外における出場希望校は大連に於ける大會優勝校に挑戰することを認める)が、二十八日正午より本社樓上會議室に於て參加校監督會議を開催し抽籤の結果左の如く組合せ決定した

第一日目 (一日)朝日小學校對伏見臺小學校戰

▲伏見臺小學校チーム(監督)志水英雄(投手)小平儀、黒澤正(捕手)寺井信義、一番ヶ瀨博(一壘)石河陽二、島田修(二壘)山本貞(三壘)伊藤毅(遊擊)竹川(左翼)松岡定次、吉岡健次(中堅)杉山正一(右翼)西島正博、山本巖

▲朝日小學校チーム(監督)久留島昇(投手)内海榮朗(捕手)渕居廣(一壘)木村昇(二壘)鹿良太郎(三壘)池田大作(遊擊)山田和男(左翼)松井克巳(中堅)杉浦忠(右翼)柴草功(補缺)古田一雄、峰田三策、長澤智夫、袴田豐秋

第二日目 (二日)常盤小學校對聖德小學校戰

▲常盤小學校チーム(監督)山田敏雄(投手)山内久一(捕手)鶴田大八郎(一壘)横田三良(二壘)高木安雄(三壘)河瀨重一(遊擊)木村賀夫(左翼)國枝良三(中堅)河田昌司(右翼)倉橋榮三(補缺)青木三郎、鳴尾吉郎、兒玉安雄、山本駿三郎、松岡遼平

▲聖德小學校チーム(監督)松尾忠風(投手)藤本達也(捕手)長谷川一夫(一壘)川田爵(二壘)河瀨治郎(三壘)久保田正　廣谷和　(左翼)百井　(右翼)辻本洋(補缺)植月茂彦、中川驍、竹島敏夫

不戰一勝チーム

▲日本橋小學校チーム(監督)茂木實(投手)廣崎和夫(捕手)村田泰次郎(一壘)市川常夫(二壘)牧嵐裕(三壘)牛澤太市(遊擊)山本斌雄(左翼)八丁敏臣(中堅)楠正男(右翼)角藤代二(補缺)志津里重道、齋藤定夫、友田敏臣

▲春日小學校チーム(監督)甲斐清作(投手)中川五郎(捕手)中村是明(一壘)谷岡敬夫(二壘)田中正彦(三壘)有田茂(遊擊)上野陽(左翼)櫻高太郎(中堅)井上嘉久治(右翼)内迫英雄(補缺)齋藤末男、伊勢眞廣、小關修

なほ實滿兩球場を使用する筈であつたが三日より實滿對八幡戰が擧行されるので兩球場とも使用不可能となつたから決定次第發表することになつた

溝幇子を土匪團襲撃
混亂に陷る

【奉天特電二十八日發】二十七日深更土匪の大集團溝幇子驛附近の民家を襲撃し同地一帶混亂に陷つた爲め北寧鐵道は一時不通となり今朝六時着奉すべき急行列車は十一時に至つて漸く到着した、なほ一兩日間は所定時間の運轉は不可能らしい

土砂崩潰し列車埋沒
生死不明十四名

【東京二十八日發電】鐵道省着電＝美彌線の列車埋沒し遭難乘客三十五名中二十八名は救助されたが生死不明のもの乘客乘務員合せて十四名である

【東京二十八日發電】鐵道省着電によると美彌線の列車は約九百坪の土砂崩潰し後部の四、五兩車は屋根も見えぬ位埋沒何れも大破した模樣でその乘客は五十名見當である

死傷者氏名判明者

【東京廿八日發電】鐵道省發表＝美彌線列車遭難死傷者中午後三時迄に判明せる者の氏名左の如し

即死　荷扱人國廣興吉(三三)須賀十九驅逐隊二等兵曹古谷精一、呉市寺本町佐伯甚六▲負傷　萩市米屋町中村文子(四九)

全英庭球選手權
第五日目成績
英皇帝行幸

【東京特電二十七日發】廿七日の英國ウイブルドンに於ける全英庭球選手權大會第五日目には英國皇帝皇后兩陛下行幸啓あらせられ各試合とも緊張した、主なる勝敗左の如し

▲混合複試合二回戰
三木・トーマス(英)　九—七、四—六、六—四　グローヴアー(英)・サンディソン孃(印)
安部・タツキー夫人(英)　五—七、六—三、六—三　マルフロイ(新西)・エドワーズ(英)

▲男子複試合二回戰
安部組は不戰一勝したもの

▲男子單試合四回戰
クオフォード・ムーン(濠)　九—七、五—七、四—六、七—五、六—〇　モルブルゴ(伊)
ユーシエ(佛)　六—三、四—六、六—二、六—一　レスター(英)
マンギン(米)　九—七、六—八、六—〇　オースチン(英)
ドーグ(米)　六—三、六—三、六—一　デヴイツド(英)

▲女子單試合四回戰
ムーデー夫人(米)　六—〇、六—一　キヤンスタサターース(和)
マチウ夫人(佛)　六—四、七—五　サターウエー夫人(英)

小日山氏招宴

近く内地に引揚げる前滿鐵理事小日山直登氏は來る一日午後七時より大連ヤマトホテルに旅大官民を招待し一夕の宴を催すと

父甚治郎(狂蝶園理風)病氣の處本日午後四時死亡致候間此段御通知に代へ謹告仕候
追て葬儀は廿九日午後四時葬列を廢し明照寺に於て執行致候
六月二十八日
男 伊室利雄
親族總代 伊室多郎吉
友人總代 豐田太郎

■日活現代劇臺本より■ この母を見よ (四六)

畸面座同人構成

其の翌朝——

夜が明けた大都市は瞬間にしてわき返るやうな活動が始まつた。車馬は轟々と音を立てゝ電燈、電話の架線は朝の大氣を呼吸して輝いてゐた。

其の輝かしさに調子を合せるかの如く元氣に、繪の道具を持つた倭子が、造花工場へと急いでゐた。

都會は種々雜多な動きを呈してゐた。或は立體的に、或は平面的に、或は大ビルデングは目に見得ぬ活動を續けてゐた、

と、元氣よく歩いてゐた倭子は突然迷惑そうに顔色を變へて、立止まつた。

倭子を待ち受けてゐた等が、馴れ〳〵しく近づいて來たからである。

桑木さん
待つて居りました
もう僕の——

皆まで聞かずに逃れやうとする倭子、それを逃さじとする等、二人は力の限り爭ふた。

止むを得ない場合は
プラトニックな讃美で
滿足するが……
さうでない場合は
なか〳〵プラトニック
ではない……
それが男である——

等は倭子の背から組ついた。其の時等の手にかゝつた倭子の擔當籠が……ガラン……と大きな音を立てゝ落ちた。

落ちた籠の中には……何も這入つてゐない。二人はハツとして顔を見合せた。

擔當籠を拾ひ上げた倭子は周章てゝ等から逃れやうとした

が、等は執つこくも後を追ふのであつた。

突然行途に瑠璃子の顔が現はれた。そうして皮肉な笑みを浮べつつ倭子と等の爭ひの間に這入つて來た。

滿村さん!
おたのしみ……
みつともないわよ!

瑠璃子は當惑さうな倭子と、平然としてゐる等を尻目にかけて去つて行つた。

やうやく等の手より逃れる事の出來た倭子も、瑠璃子の後を追つて工場へ急ぐのであつた。

好機を逸した等はじつと倭子の後姿を見送つてゐたが、やがて——

神よ!

お前に一つ
云ふ事がある、
お前は……
頓馬だッ!

工場では、今夫人が神の御名の下に女工達に演説を始めてゐた。

「一寸御無理な御注文でしたが、皆様に少しでも多くのお金を働いて戴かうと思ひまして……

同情週間の花章を
受けました

夫人は取り澄ました顔で壁にかけられてゐるキリストの像をあふぎ見た……が、そのキリストの頭から壁時計にかけて一匹の蜘蛛がたくみに其の網を張りつゝある事には氣がつかなかつた。

非常に忙しい御注文な
ので今夜から
二時間の夜業を行ひ、
お給金は二時間、
十五錢と決めます

二時間の夜業が十五錢……女工達は顔を見合せ、それから壁のキリストを見上げた。くもの巣……キリストの頭の蜘蛛の巣……それが女工達の目に映つた(寫眞は瀧花

新刊紹介

▲海軍と航空(七號、日本海々戰記念號)勇ましい日本海々戰當時を偲べる寫眞を添へ力一杯の編輯振、日本海々戰廿五周年を迎へて(池田敬之助)偉なる哉トツワナ艇長(下位春吉)等(定價八十錢東京芝櫻田本郷町内田ビル其社發行)

▲西郷南洲續編(伊藤痴遊著集)前編で南洲の磊落まで執筆した著者は、其の後の政府と隣長の軋轢を叙し、實權を得た大久保の活躍から有名なる十年の西南戰爭に筆を進め熊本籠城、谷村計介の活躍、兒玉參謀の苦心と宍戸正輝の奮鬪、乃木少佐の苦戰と聯隊旗、そう言つた方面を裏面から面白く描き出し、城兵の突破戰と協同隊の講史までを記してゐる(豫約本東京錦町六番町平凡社發行)

▲經濟國難打開の途(中外商業新報經濟部編)金解禁以來約半歳、今や日本は國を擧げて經濟國難に當面してその切拔策にあえいでゐる、勿論朝野二大政黨或ひは無産黨のその對策は別としても等しくこの事實だけは認めてゐる、本著には日本各方面の代表的事業會社の社長、取締役はぢめ經濟學者等五十一氏の經濟國難打開對策の意見を纒めて收録し卷末に井上藏相の財政方針演説、三土前藏相の質問これに對する濱口首相、井上藏相の答辯を添へてゐる、(四六版二百九十四頁定價一圓五十錢東京京橋第一相互千倉書房發行)

▲成功指導外務員のために(馬場部著)販賣戰の尖鋭化は當然に外交員の向上とその必要を増大し、各營利事業とともにその重大性を認められるやうになつた、本著は福徳無盡株式會社長たる著者がその經驗から若き外交員に呼びかけた言葉、その資格方法等を説いてゐる(百二十九頁定價八十錢京城南大門通三福徳無盡時報社發行)

懸賞詰碁珠發表(八)

題名「葉櫻」正解 上木三山調

【白(十四)の「ほ」に來る分】

(十三)の四追に對し白(一四)と何氣なく三聯を引いたのは攻防ある絶妙の一手にして本題賞案の大眼目である、然かも本變化を明示したもの僅かに二案、有段者にして此點を逸したものさへあつたのは甚だ遺憾であつた。此時黒手拍子にて「い、ろ、は、に」の四追を敢行せんか立ち所に「乙、甲」と乘られて黒敗眼の憂目を見るのである。黒靜かに(一五)と入るは之又妙手であつて眞に葉櫻の艶冷やかなる趣がある。

▲(二十三)後「甲」の勝(二十五珠打上)

▲(十六)の(十八)は「十九、二十一、い、甲」の順

▲入賞者

一等 ナシ
二等 大連市乃木町七安達方 原口勝美
佳作 旅順市稲立町一〇 吉田滿雄
同 奉天稲島町一二高辻 興衛
同 大連市西崗町一五九 野木晴次

夕刊 滿洲日報 六月二十八日

今月中に確定完成する海軍新國防計畫の大綱

來週中元帥府御諮詢を奏請後 豫算の編成に着手

【東京二十八日發電】軍令部で立案計畫中であつたロンドン條約兵力量に基く新國防計畫については先般谷口新軍令部長が伏見大將宮殿下及び東郷元帥に計畫の大綱を説明して諒解を求めつゝあつたが二十七日に至り谷口部長は永野次長、安藤航空本部長及び及川作戰班長と最後の研究協議を遂げた結果新國防計畫案は今月中に確定完成することゝなつた、依つて谷口部長は更に一、二度東郷元帥を訪問して充分なる諒解を得たる上來週中には條約兵力量の元帥府御諮詢を奏請するものと見られる而して軍事參議官に對しては先例なき事とて正式の會合を行はず非公式に財部、谷口兩大將より説明して諒解を求めることゝなる模樣である、尙新國防計畫は作戰上嚴秘に附されてゐるが、大要は左の如くである

一、潜水艦二萬五千噸の補充作戰

軍令部で研究の結果潜水艦二萬五千噸の不足は航空機の擴張整備及び砲臺の築造等に依りやゝ完全に近く補充し得る、即ち航空機の擴張整備においては現在十七隊の航空隊を更に十數隊增設する航空母艦一隻一萬二千噸を新造し從來の航空母艦と共に母艦收容機數をその最高度まで增加整備する、主力艦及び巡洋艦潜水艦の艦戰機を增加する、砲臺の新設については從來潜水艦に依つて近海防禦をなし得た海面を新設の砲臺にこれを委ねる

二、八吋巡洋艦の七割補充作戰

八吋巡洋艦が七割以下となる一九三六年以後においてはそれまでの期間中において六吋巡洋艦及び各種軍艦の性能を極度に發揮せしめ八吋巡洋艦に對抗し得るものとす、即ち六吋巡洋艦においてはその十六％を驅逐艦より融通して多數の六吋巡洋艦を保有しその六吋砲の威力を八吋砲の威力に匹敵し得るものたらしめると同時にその速力をして八吋巡洋艦と同一戰線に立たしめ得るため速力を增加する各種軍艦の性能を極度に發揮せしめるため特定修理を完全に實行する

三、制限外艦艇の建造

以上潜水艦及び八吋巡洋艦の缺陷にしてなほ補充し得ざるものは制限外艦艇の研究及び建造に依つて之を遺憾なからしめる

四、以上の具體的補充國防計畫の外今後は更に一層戰技及び演習に決死的訓練を實行する

右計畫案の實行は今後軍令部と海相との折衝に依り豫算化するはずである

御眞影を御下賜

軍司令部及び所屬各部隊に

關東軍司令部及び隷屬各部隊には來る七月五日頃聖上兩陛下の御眞影を下賜せらるゝ由

蔣氏の作戰通りに戰局は有利に展開

用務は葫蘆島起工式參列のため 蔣氏特使張群氏語る

蔣介石氏の密命を帶び秘密裡に赴奉する上海特別區市長張群氏は此程南京政府より青島特別區市長に推薦せられた胡若愚氏同道、廿八日正午入港の奉天丸で來連したがこれより先奉天政府ではこれが出迎への爲特に東北交通委員會委員兼總務處長盧景貴氏、同象路政處長鄒致推氏、同郵傳處長莊斌氏一行五名を出迎への爲來連せしめ一行は既に本朝八時着連、埠頭に張群氏の出迎へた、一方張氏は船中サロンで中山服姿で記者團の質問に對し極めて明快な態度で日本語をもつて答へる

起工式に 參列する爲で、自分の赴奉に對しては色々いはれるであらうが今度の奉天行は南京政府から命ぜられて代表として來月二日擧げられる葫蘆島港の起工式に參列する爲で、重要任務云々なぞといふ事は全くない、こ傳へられてゐる樣な重要任務云々の方の件では既に吳鐵城氏や劉光氏なぞが專門で張學良氏と種々協定中だから、何にも今更自分等が乘り出す筈はなからうぢやないか、しかしとかく君達に色々想像される事は仕方ないとあきらめてゐる、昨年自分が日本を二度許り訪問したがその時も只大した用件もなしに行つたのにさも大任務を背負ひ込んで行つたやうに書き立てられた樣なものさ、自分は餘り時局に對して語りたくないが、もう

北方にて 發行してゐる新聞なぞは情報が北側から入り易いので記事の正鵠を期し難い樣に思はれる、勿論今度の反蔣軍との戰爭は最初のうちはとても中央軍不利であつたが、最近自分が此方に來る頃から漸次好轉しつゝある樣だつたし又蔣介石氏も豫定の行動として形勢の好轉を機として決戰を交へやうと

の肚らしく思はれた、初めから最後の決戰の結果は中央軍が勝つものと見られてゐるが、元來戰爭といふものは戰略家からいはせると地の利を得て戰の

指導權を 握るといふ事が必要で戰ひを導くといふ事が結局勝利への道で、この點昨今の形勢は中央軍が支配權を握つたやうに思はれる、南京、上海の方は割合靜かで僅かに長江沿岸大冶を中心に共産黨に名を藉つて土匪が出沒してゐる位のものである、自分はこちら殊に大連には民國四年、もう十五年程前に一度來た切りでその折はよく觀察する機會もなかつたし今度こそ色々市政方面につき調査もし觀察もしたいと思つてゐる、又

張學良氏 とも一度も會つた事もないのでこの機會に是非面談したい考へだ、出來れば大連に一兩日滯在したいが總ては出迎への人達の相談の上の事だ葫蘆島には一度赴奉した上で日取を決定出發するつもりでゐる葫蘆島もやはり市政方針に色々參考になる事があるやうに見えるし又あそこは内外ともに重要視してゐるところだからよく視てくる事にする

青島市長就任はまだ決定しない

けさ來連の 胡若愚氏語る

南京政府より青島市長に推薦を受けた胡若愚氏は同じく葫蘆島起工式に列席の爲と稱し廿八日入港奉天丸にて上海市長張群氏と共に來連したが、同氏は船中語る

自分はさきに一緒に奉天に來て居た李石曾氏と一緒に上海に行つたものので、今度は南京には行かなかつた、私の青島市長問題はまだ就任するともしないとも考へて間柄で今度も面會して來たが、病氣なのでその見舞旁々行つたに過ぎない、張群氏とは態々同船した譯でなく偶然乘り合したのだ、來滿の目的は張氏同樣七月一日行はれる葫蘆島の起工式に參列するものである

蔣氏代表劉氏 南京へ

嚴正中立に立歸つた奉天派

閻派溫壽泉氏の活動奏功す

【奉天特電二十八日發】最近南京側にては張學良氏が陸海空軍副司令に就任の意思があるとか東北軍の關内出動の諒解運動が進行してゐるとか或は張學良氏は積極的に閻錫山、馮玉祥兩氏に對して強硬なる

停戰調停 を試みることに決意した等の種々の宣傳に大童になつてゐるが、これ等の宣傳は戰局不利なるため徒らに東北側に空恃みしてゐる南京側の焦燥振りを暴露してゐるのだと奉天では觀てゐる、尤も最近の東北側の態度は李石曾氏の奉天における活躍に依り青島の警備權を東北海軍に附與するとか張學良氏お氣に入りの胡若愚氏を青島市長に任命する等の南京側の抱込策が相當奏効して張學良氏周圍の少壯派の親南京熱が昂まり張學良氏も幾分これに引摺られ氣味で全體の空氣は可なり蔣介石氏援助に傾きかけてゐたのであるが、この形勢を見た

閻錫山氏 側は大いに狼狽し溫壽泉氏を故張作霖氏三周忌祭參列の理由で奉天に急派し張學良氏と張作相氏等の所謂舊派に對し猛烈に南京側との提攜破壞を勸說せしめたのであつて悉く溫壽泉氏の運動の結果とはいはれないまでも張作相氏以下の文武舊派は從來の反南京主張に輪をかけて一致して援蔣阻止、嚴正中立を張學良氏に進言しこれが爲め張學良氏も萬更色氣が無いでもなかつたところの陸海空軍副司令の就任を拒絶せざるを得なかつたのである、即ち今日の東北政權は再び確乎たる

嚴正中立 に立歸つたのであつて胡若愚氏あたりが青島市長に任命された位では東北の根本方針には何等の影響を及ぼすもので はない、傳へらるゝところの積極的調停說などは全然問題とされて居らず偶々南京側の藁をも摑む者のあがきを我から語るに過ぎない、現在の戰局の勝敗か決定するまでは東北は如何なる方面から如何なる誘惑と宣傳を受けても飽くまで中立の殼に立籠つて沈默を續けるであらうことは斷言し得るところである

天津を奉派の勢力圏に

山西派が讓渡

【奉天特電二十八日發】南京側が青島の地盤を好餌として東北側抱込みを策してゐるのに對抗して閻錫山氏側は天津市政を東北に讓り渡し現北寧鐵路局長高紀毅氏を市長に任命する意嚮あり既に滯奉中の山西代表楊廷溥氏を通じて張學良氏の同意を求めてゐるが現在北寧鐵道は完全に東北側の掌中に在り鐵道に關する限りにおいては天津は東北側の勢力圏に在るの▢同鐵路局長であつて東北政權における一方の雄である高紀毅氏を天津市長に任命することは相當實現性を有するものと觀られてゐるが戰局の推移なほ逆睹を許されざる今日張學良氏は輕々に同意を表せざるべく縱んば同意を與へたとしても高氏が實際に就任するまでには相當の時日を要するであらう

統軍亭下望鴨江 小杉放庵

靳雲鶚氏赴奉

び先月初め「學校教育視察」に藉口して來連赴奉した中央派代表劉光氏は廿八日出帆の榊丸にて上海經由南京に歸任の途に就いたがさきに同じ目的の代表李石曾氏の引揚げを見、今日又劉氏の引揚げを見たるは或は張學良氏との間に何等か具體的協定を觀たものではないかといはれてゐるが船客を閉ざして面會せず一說には中央は奉天側に更に別人を代表として出すのではないかと

【北平特電二十八日發】前國務總理靳雲鶚氏は吳佩孚氏の命を帶びて近く奉天に張學良氏を訪ね時局について協議する豫定

山東交涉處長

【北平二十七日發電】閻錫山氏は濟南占領後同方面の對外關係重大化せるに鑑み外交處アジヤ課長祝惺元氏を山東政府交涉處長に任命即時赴任すべきを電命し祝氏は本日午後四時津浦線で濟南へ向つた

高、劉兩軍に挾まれ膠濟線の韓軍孤立

李生達軍泰安を占領

【濟南特電二十八日發】劉珍年氏は武力で韓復渠軍の東進を阻止することに決定し日下山西軍と打合中、高桂滋軍は諸城で韓軍の南進を防ぐことになつたが韓軍は膠濟沿線に孤立となつた、泰安は二十六日李生達軍に占領され馬鴻逵氏は全軍を率ゐて東南に退却した

南軍は全部駐馬店に集中し何成濬氏始め各將領も同地にて反攻を策してゐる、徐源泉軍の一部が襲返つたのは事實である

濟南の治安完全に維持さる

山西軍排日ビラ貼出を禁止

【濟南特電二十八日發】濟南の治安は第九軍馮鵬▼氏によりて維持されてゐるが山西軍は在留日本人の誤解を恐れて市街に排日標語の貼出を禁止した、南京米の省政府委員は全部青島へ引揚げ濟南青島間の客車は車務處長加賀山氏の努力にて通じてゐる

邦人婦女子避難所から復歸

【濟南二十八日發電】濟南引渡し完了後市中の秩序は平穩裡に維持されてゐるので西田領事は邦人婦女子等の避難命令を解除し二十八日朝食後解散した、居留民避難中の衞生狀態は幼兒死亡一名、下痢患者十名餘りであつた

天津濟南間近く開通

西軍に收められたので津浦鐵路局では黃河鐵橋の修理に技師職工等を急派した、天津濟南間の列車も數日中に開通する豫定

平漢線の南軍駐馬店集結

【北平特電二十八日發】平漢線の

東鐵技師俸給

【ハルビン廿八日發電】東鐵管理局長は理事會の承認前に左の技師に對する俸給額を決定した

工務課技師デ・ウーマレウエンナゴ六千金留、機務課マルテンコ技師四千八百留、イ・ベ・マリコワ五千百留、工務課スミルノフ第九區管長技師四千八百留機務課セマノワ六千留、ヘーシナ八千留

尙イリンスキー氏は鬪爭後交通部代表委員となり現在はモスクワにおける監督の地位に就任した、尙新任のベ・イ・ガルブゾフは五千百金留である

ロシヤ共産黨大會

ス氏反幹部派の反對を一掃し圓滿に終りを告げん

【ハルビン特電二十八日發】蘇聯共產黨第十六回大會は廿五日からモスクワにて開催、各地から約二千の代表者參集しスターリン氏は派の根本的一掃に關し長廣舌一席全露の注目は本大會に集中されてゐるが、反幹部派は多少スターリン氏の最極政策に緩いメスを揮ひリン一派は既に職員の懷柔に成功せるため大體は圓滿に終了するものと見らる

財界對策を懇談

日銀、民間銀行家と

【東京廿八日發電】日本銀行では民間銀行家と財界對策に關する懇談會を開く事となり廿八日午前十一時より東西シンジゲート團の代表十五氏を招き日本銀行側より正副總裁、各理事、大藏省より井上藏相等出席し先づ土方日銀總裁の挨拶あり井上藏相より財界不安一掃に對する銀行側の援助努力を要望する處あつて懇談に入り隔意なき意見の交換を遂ぐる處があつた

吉長鐵營業不振

借入金の償還不能となり滿鐵に延期方を交涉

【吉林廿八日發電】滿鐵の委任經營に係る吉長鐵道は滿鐵より六百五十萬圓を借入れた時より起算して十一年目即ち民國十七年より毎年二十分の一宛を償還する契約になつて居る、而して十七、十八の兩年は完全に義務を履行したが、本年度に入り吉海線全通に因る營業不振に加ふるに銀安の影響を蒙り收入は例年の半に減じた爲め滿鐵への償還不可能となり目下吉長鐵路管理局會計處より滿鐵に向つて延期方照會中であると、獨韓局長は平素滿鐵局長との關係面白からざる上に局近局員の增俸要求問題等もあつて地位に留まることを欲せず、他へ轉職の希望を懷いてゐることは確であると

米上院ロ氏 軍縮條約に反對

【ワシントン二十七日發電】上院議員ロビンソン氏は本日放送してロンドン條約は主としてイギリスの希望を滿たし折角アメリカが建造してもこの根據地のないやうな巡洋艦を建造する事、又日本の比率を增加したがアメリカは代償として何等得る處はなかつたと述べた

日伊貿易不振原因

井上領事歸朝談

【ハルビン特電二十八日發】井上ミラン領事は賜暇歸朝の途廿七日歐亞聯絡列車にて來哈、八木總領事の出迎へを受けた氏は驛頭にて語る

日伊の通商は一ケ年輸出入約二千萬圓、ミランは商業の中心地だが多くの日本人はローマ、ナポリを見物しミランを見るものが少く自然イタリーを解せぬため日伊取引は發展せぬ又イタリーの物產絹糸その他が日本と似てゐる事も一つの原因だが漆器その他特有の品ももつと立派な品を輸出すれば好いと思ふ、ムッソリーニ氏の政策は徹底してゐる、氏は國定忠次式人物で親分乾兒の緣により結合されてゐるミラン市は百萬の人口で發展する餘裕あるも農村から青年の集まるを防ぐ爲市の發展を政府は限定してゐる、余は九月歸任する

關東廳一部異動

けふ午後四時發表

關東廳高等官一部異動は廿八日午後四時發表になる筈であるが、森本勝巳氏の警務課長新任及び增田衞生課長の金州民政支署長田邊同支署長の衞生課長轉任等は確實と見られてゐる、尙文書課長、大連取引所長等の新任も發表されるかも知れぬと

我鐵道技師派遣要求

ペルシヤから

【東京特電二十八日發】鐵道省では今春ロシヤ政府の依賴で數名の技術員をロシヤに派遣し技術の救濟に從事せしめつゝあるが、意想外の大評判でアメリカあたりでも大いに日本の鐵道技術の進步に驚々であるところへ、今度はペルシヤより同國駐在の笠間公使を通じて鐵道技師一兩名を同國に派遣して技術指導に當らしてくれとの依賴があつた、同國は何分にも隔の地で言語も不自由なため詳しい事情は判明せぬが種々取調べたところ、目下建設中のアストラバッド・テヘラン・モハーメラを結ぶ國有鐵道の工事につき土木技師を派遣して欲しいとの要求らしく、鐵道省では出來る限りこの友邦の申し出でに應ずべく技師派遣の條件等に就き外務省を通じ同國と交涉を進める一方、目下人選中である

竹內博士歡迎會

職前工業會滿洲支部にては今般東京明電舍の竹內壽太郎博士が廿九日の香港丸にて滿鮮視察の途來連を機として廿九日午後七時よりヤマトホテルにおいて同博士の歡迎會を催す會費金五圓申込はヤマトホテル（電三一一一番）中野へ

伍堂製鋼社長挨拶

【東京特電二十七日發】今朝入京した伍堂昭和製鋼社長は同日午後三時仙石總裁を訪ひ挨拶した

ほんこん丸船客

【門司特電二十八日發】廿九日大連入港豫定のほんこん丸の主なる船客

新任正金銀行大連支店長鷲尾磯一、三村和一、竹內德亥、紅松雄、竹下重太郎、河野久太郎、石田健一郎、川口市之助、牟田口格郎、片山事之助、高等法院長土屋信民、岡田卓雄

人事

▲千秋寛氏（元鞍山製鐵所長）廿七日夜行で來連ヤマトホテル投宿

▲竹內壽太郎氏（工學博士明電舍技師長）は滿鮮視察のため廿九日入港の香港丸で來連

▲大淵三樹氏（新任滿鐵東京支社長）廿八日入港奉天丸にて上海より來連、一日出帆香港丸にて上京赴任の途に上ると

▲胡若愚氏（南京政府衞生處長）同上來連

▲張群氏（上海市長）同上

▲鄉敏氏（滿鐵社會事務所長）廿八日出帆榊丸にて上海へ

▲劉光氏（南京政府代表）同上

▲山崎元幹氏（滿鐵涉外課長）廿八日出帆うらる丸にて內地へ

▲西山左內氏（關東廳財務部長）同上

▲本位田祥男氏（帝大敎授）同上

▲藤井十四三氏（滿鐵下關案內所主任）同上赴任

大觀小觀

今さら金輸出禁止などを提唱するものあり、事業家は金融業者と立場が違ふか。

◇

北軍の南進、意外に急激、蔣氏の頑張り徐州を死守すと、また下野外遊の奧の手を出さねば。

◇

支那でも減俸するといふ。支那の文武大官に月給などアテにしてゐるものあるか知ら。

◇

大連郵便局けふ落成式、輪奐の美と共に內容の充實、能率を期せよ。

◇

三方、四方、海に惠まれ居る大連の時代が來た。

◇

海へ、灘へ、飄颻を求めて長風に吹かるべきである。

天氣豫報

廿九日（南西の風）晴一時曇 滿潮 午後零時十分

モダン大連郵便局 けふ華々しく新築落成式

旅大の知名士多數を集めて 祝意を表す低空飛行

大連の摩天樓――モダーン大連郵便局の新築落成式は二十八日正午から大連全市を眼下に見下す同局屋上庭園に於て行はれた

同郵便局は關東廳に於て豫算八十八萬三千圓を計上し四ヶ年繼續事業として昭和二年十月二十七日起工し翌年六月二十七日

定礎式 を了へ昭和四年十一月二十七日竣工したもので建築は近世復興式、地階を合せて五階建、建坪六百九十六坪餘、高さ前面建物地盤から扶欄上端迄直七十五尺、塔屋上部アンテナポール上端まで百二十五尺、室數七十餘、總延坪二千九百五十七坪餘でその規模の宏大、輪奐の美は目も綾なす許りである

この日出席の知名士は太田關東長官、藤田總理部長、大平滿鐵副總裁、三浦內務局長、厚東要塞司令官、神田大連民政署長、西山旅順民政署長、永井市助役を始め市會議員、各關係知名士、沿線各郵便局所長等約五百名、これより先き午前十時より

招待者 を遞信展覽會に案內し定刻開式したが、劈頭和多野郵便局長開會の辭を述べ、櫻井遞信局長の式辭に次いで關東廳臼井技師工事報告をなし太田關東長官の告辭ありて來賓の式辭に移り遞信大臣(篠原遞信局庶務課長代讀)大連市長(永井助役代讀)田滿鐵總裁(大平副總裁代讀)田東北郵委員會郵便局長、朝鮮遞信局長(中山遞信局監理課長代讀)村井商工會議所會頭、張大連華商公議會長、嘉小樹子公議會長、加藤元遞信局長等の式辭あり、和多野郵便局長の挨拶、櫻井遞信局長の

挨拶 宴に移つたが、櫻井遞信局長杯を擧げて來賓一同の

健康を 祝せば、大平滿鐵副總裁また盃を擧げて遞信從事員の健康を祝し主客歡をつくし同二時散會した、この日航空會社ではこの大連の上空にシューパー機を飛ばし「モダーン大連郵便局內の遞信展覽會を御覽下さい」「飛行機上より遙かに大連遞信展覽會の盛會を祝し市民各位の御健康を祈る」等と印刷した紅白、青紫とりどりの宣傳ビラを撒布し祝意を表し景氣を添へた

遞信大臣祝辭

大連は滿洲の門戶にして通信機關の整備に一日意を曠くする事能はざるは固より言を俟たず、然るに當局舍は日露戰役後僅に戰禍を免れし民家を充用せしものにして從來執務上に多大の不便を伴ひしは識者の齊しく遺憾とせし所なりしが、今や局舍新營の工成り其の備ふる幾多斬新なる設備は當局各位の熱誠なる努力と相俟ちて克く全滿の通信系統の中樞機關たる使命を達成する事を得、內地との通信連絡亦是より全く其の面目を一新せらるゝに至らんとするは余の太だ欣快とする所なり、本日大連郵便局々舍新築落成式に當り一言以て祝辭と代ず

昭和五年六月二十八日

遞信大臣 小泉又次郎

けふの寫眞 (上)太田關東長官の祝辭(中)祝賀飛行の日本航空輸送のシューパー機(下)新廳舍屋上で開かれた祝賀宴

けさの出船 うらる丸賑はふ

◇―知名士を滿載して

廿八日出帆のうらる丸、知名の士を滿載して初夏の朝陽を向け旅立つた、先づ關東廳財務部長西山佐內氏は六年度豫算方針につき拓務省、大藏省側と重要なる協議をなすため上京するのであるが船中で語る

例によつて豫算關係の仕事で行つてくる往復一ヶ月の豫定であるが或ひは

永びく かも知れない、新聞なぞで本年度豫算計上方針に關して色々いはれてゐるが結局政府の方針である低減縮小主義である、細かい數字に就いては何とも今のところいへないが、とにかく警備費や、警察費等在滿邦人の福利增進に關するものに對しては是非努力してとつておくつもりでゐる、そんな事で主として大藏、拓務兩省に打つかるつもりでゐるが時節柄成功すれば好いと考へてゐる、昭和製鋼所の問題も何だか

目鼻が ついた樣に新聞で報ぜられてゐるが事實だらうか？自分としてはまだそこまで話が進んでゐる樣にも思へない、また新官制の制定に關しては日下殖產課長が上京打合せるが自分で出來る事は私でもやつても好いと思つてゐる

なほ今回の滿鐵職制改正に伴ふ人事異動で涉外課長に榮轉した山崎元幹氏も同船上京したが「三週間の豫定で東京の各方面に

挨拶に 行くに過ぎない、仙石總裁も在京中の事だからかへつてあちらの方が仕事が多いだらう」と多くを語らず、同じく下關鮮滿案內所長に榮轉してゆく藤井十四三氏は多數の見送り人に圍まれ「久しぶりで內地勤めです在滿中は色々ありがたうございました貴紙を通じてよろしく」とあり、また十日間に亘り消費經濟問題に關する夏期講習に講師として招聘された帝大教授本位田祥雄博士はこちらに來て非常に參考になる事を見たり聞いたりした

滿鐵の 消費組合なぞの組織はなかなか立派なのに驚いた機會があつたら又來たいと思つてゐる

それに市役所を勇退した上田恭馬平氏「故鄉に歸りますよ色々お世話になりました」と簡單な挨拶を交してゐた

菱刈司令官 初度巡視

けふ關東倉庫その他を

新任の菱刈軍司令官は初度巡視のため恒吉高級副官、今村副官、板垣參謀を隨へ二十八日午前九時五十分自動車にて大連に着いたが、直ちに滿鐵本社に向ひ、大連神社忠靈塔に參拜して關東倉庫に入り晝食を攝つた、午後は憲兵分隊を視察し同二時三十分自動車にて歸旅した

悔悟の涙に……盜みの若僧

天理教々師も犯行を認めて けふ夫々求刑さる

佛樣と神樣の公判が廿八日午前十時から大連地方法院二號法廷で長島判官係り今村檢察官事務取扱立會の下に開廷された

◇

被告は市內播磨町西本願寺別院僧侶木下晃龍(二一)――判官の審理が始まると被告は人目も恥ずワッと泣き伏し「佛に仕へる身でありながら何んと恐ろしい罪を犯した私でせう」と悔悟の言葉のうち犯罪事實を申し立てた

私は去る九日午後九時ごろ當直の福原了叡が入浴に出た後で、獨りションボリと四十圓の借金返濟方法に就いて考へ拔いてゐました、その時目に留つたのが寺の金庫です、前後のわきまへなくパッと開けると手の切れるやうな十圓紙幣が一千圓あるではありませんか、ムラムラと惡心が起き件の手提金庫を抱へるなり若草山に逃げ込みました、犯跡を晦すため外部から泥棒が忍び込んだ樣に窓硝子を破壞して置きましたが犯行直後捕へられたのです、今は悔悟の情に堪へず淚の日を送つてゐます

素直に犯行の事實を申立てゝから法廷の板の間にヒレ伏サメザメと泣き崩れた、立會檢察官は被告に懲役六ヶ月を求刑した

◇

次いで神樣の裁きに移り被告市內天神町七〇番地天理教々師中原巳之助(二七)が獄中生活にやつれた姿で法廷に立つた、同人は青年時代から惡の道を辿り內地で竊盜、詐欺、賭博で前科三犯の兒獄を持ち世間の爪彈き者であつた、ところが大正十四年七月下旬輜重務演習に召集された際、中隊長から懇々と說論されてから悟りを開き、神に仕へて過去の罪行を清め正道に就くべく奈良縣丹波市の天理教學校に入學、大正十五年四月卒業と同時に本部の許可を得て大連に派遣されたものであるが、フトした動機から茶屋遊びの味を呼び覺ましばしば遊里の巷に足を踏み入れるやうになつてから遊興費に窮し犯罪を重ねたもので、彼も神仕へ神を說く身を忘れ再び邪道に落ちたことを深く悔ひ判官の問に對し逐一犯行を認めた、立會檢察官は懲役八ヶ月を求刑した

行李詰の妻と 列車逃走を企つ

酌婦稼業中を連出して

【小倉二十八日發電】二十七日午前十時ごろ小倉驛に柳行李を持參し長崎線早岐驛託送申出た男あり斤數超過のため拒絕されて引取つたが右行李運搬の自動車運轉手が怪しと睨み小倉署に屆出たので搜査の結果、同市高砂町杉浦千代吉方下宿人、長崎縣北松浦郡山口村岩崎貞任(二三)同人內緣の妻、愛媛縣上浮穴郡浮穴村矢野竹子(二〇)の兩名の仕業と判明、岩崎は本年四月小倉市大正町料理屋奧田シズ方に竹子を前借三百圓で賣付け二百圓持つて岡山縣教員養成所に入つたが見込みなく前記杉浦方に止宿中、竹子が持病に苦むので逃走を企て相談のうへ竹子を行李詰にして小倉驛より發送せんとしたもので、竹子は行李中で逆樣に入れられてゐたので瀕死の重態に陷つてゐた目下小倉署で前借詐欺の罪名で取調中である

前科數犯の 竊盜犯逮捕

入質て足がつき兩名ともに

原籍高知市本町三八二當時住所不定杉村克(二七)は、去る廿三日秋田縣生れ八木長四郎(三九)と共に市內若狹町一一七中野某方より衣類十數點を竊取し、西公園町木谷質店に入質し逢坂町で豪遊してゐるのを入質臟品より足がつき、廿七日夜小崗子派出所刑事に逮捕された、兩人は何れも竊盜前科四犯五犯を有する强かもので餘罪も多數あり引續き嚴重取調中

不實の妻に 離婚の訴へ

廿六年間連れ添つたが

市內寺內通四一番地田原寶一は、正妻たる龍田町百九番地大松洋行方田原トモを相手取り廿八日離婚請求の訴訟を大連地方法院民事部に提起した、理由は寶一はトモと明治三十七年正式結婚したが妻が性來の粗暴で家庭に風波の絕間なく、昭和二年九月手切金二百圓を渡し別居した、其後トモは夫の惡口を世間にふれ步き甚しきは禁制品の密賣をするといふて警察に虛僞の訴へをするなど、忍び難い侮辱を與へ到底同棲し難いといふのである

露官憲漁船を拿捕 邦人漁夫一名を射殺す

カフラン灣で發砲追擊のうへ 驅逐艦『松風』直に出動

【函館二十八日發電】カムチヤツカ西海岸におけるロシア側監視船は遂に日本の川崎船を拿捕し險惡な風雲に鎖はれてゐたが、遂に血迷へるロシア官憲は邦人漁夫の射殺事件を惹起し驅逐艦松風は二十六日大湊を拔錨カムチヤツカに出動するに至つた、事件はカフラン灣に出漁中の日本工船會社蟹工船遠東丸所屬川崎船第二十三國丸(十九噸)が去る二十四日領海侵入の嫌疑を受け、突如ロシア監視船オロスコイ號から發砲追擊のうへ一名を射殺、漁船を拿捕して領海內に在るステチチ島に曳航、乘組員十五名を監禁してそのまゝ同島より姿を消した

外務省を通じて 嚴重抗議す

【東京廿八日發電】蟹工船遠東丸附屬、三國丸拿捕並に邦人漁夫射殺事件調査のため急航した農林省監視船鐵糸丸より農林省に左の如く入電あつた

二十三日カムサツカ西海岸カフラン灣を隔つる三海里二分の一標識から約五哩の沖合で作業中、ロシア監視船のため發砲拿捕され乘組の船頭函館市水島松次郎は死亡し、その他相當負傷者ある模樣である

右に基き農林省では拿捕現場が領海外なること明かになつたので外務省を經て嚴重なる抗議を發すると共に即死者負傷者への賠償を要求したが、目下カフラン灣附近一帶は日露漁區工船が入り亂れて作業中で何時事件を惹起するかも知れぬので、監視船を同所にとゞむると共に驅逐艦朝風に嚴重監視警戒を依頼した

早大劍道部 滿鮮武者修業

高野佐三郎氏に引率されて

【浦和二十八日發電】當地在住の高野佐三郎範士は來る八月十日から九月十日まで早大劍道部員二十五名を引率し、滿鮮を武者修業する筈である

大評判の新柄浴衣

二萬圓大懸賞つきの『婦人倶樂部』浴衣は、賣出し早々飛ぶ樣な賣行、染と質が素敵によくて、値段の安いのが婦人間に大評判である。

臨時競馬 (五日目)

星ヶ浦臨時競馬第五日目午前中の成績左の如し

▲第一競馬(春抽)千八百米第一着春美(山本騎手)二分三十六秒四第二着龍(一馬身半)第三着(陀佛鋼(大差)配當十六圓八十錢

▲第二競馬(新古呼)千八百米第一着隆洞(堤騎手)二分二十四秒四第二着松島(一馬身)配當六圓二十錢

▲第三競馬(各抽)千八百米第一着春日(山下騎手)二分二十六秒一第二着日之丸(一馬身)叶(半馬身)(配當十三圓十錢

▲第四競馬(春抽)千六百米第一着昇光(福島騎手)二分二十一秒四第二着春光(鼻)第三着龍王(大差)配當六圓二十錢

實業新人チーム 旅順に遠征

實業團フレッシュマンチームは旅順關東廳千歲クラブの招聘に應じ二十九日午後二時より旅順グラウンドにおいて對戰することになつた、メムバー左の如くである

中井田 田西 藤永 原川 田武 津山 小安 池上 中 投捕 一二三 遊左中右

富士紡川崎工場に爭議

職工解雇から

【川崎二十八日發電】富士紡川崎工場では二十七日事業整理のため從業員男工二百三十四名、女工百四十四名計三百七十八名を解雇し直に特別手當、普通退職手當をそれぞれ支給したが大正十四年の大爭議に鑑み工場內は憲兵隊が嚴重警戒した、一方解雇從業員は二十七日午後六時總同盟指導の下に爭議團を結成し解雇者の復職要求その他五箇條の要求を決定し六名の交涉委員は二十八日工場側に交涉をなすはずである

相模紡も動搖

【平塚二十八日發電】神奈川縣平塚町相模紡績では操短實施の結果として最近男女工二百名を解雇し今後なほ犧牲者を出さぬとも限らず職工は動搖してゐる

日曜の催物

▲黑石礁水泳場開場式 午前九時から同場で

▲實滿硬球庭球戰 午前九時から中央公園滿鐵コートで

▲池坊生花會 大連橋會主催で菖蒲一式の花會を天神町常安寺で

着物の壽命は かうして延ばせ!!

繰廻し秘訣座談會を『婦女界』七月號に

着物の繰廻しの上手下手――それは家政上の重大問題です「婦女界」七月號には愛讀者代表六十六人の方々が、この問題について自分の經驗談を寄せてみられます。まづ衣服費の出し方と割合、仕立物はどうするか、を初めとして、繰廻しの實際的方法の色々――

▼一つ身を長く着せる法
▼初着一丈で四つ身羽織を
▼四つ身を長く着せる法二つ
▼羽織を着物裁ちにする法二つ
▼片面物を前をかゝずに羽織裁ちにする法
▼丈の足りないのをゆつたり作る法二つ
▼セルの羽織を袴に直す法
▼膝の薄くなつたものの切更法
▼六尺三寸で出來る八掛
▼袖の無双の長襦袢を羽織に
▼無双の袖の利用法二つ
▼縫ひ方つもり方の失敗三つ

その他染物や染直し物の成功談失敗談、古物の上手な利用法、主人の古洋服や附屬品の處分法、着物の壽命を長保ちさせる法等々、ムダを省いてどんなものでも有效に生かすことの出來る話を滿載しました。緊縮時代の主婦の重大讀物として到る處で大評判です。

尙「婦女界」七月號は、夏を樂む生活號と題して、流行、裁縫、美容、手藝、料理等、夏の實際記事滿載。外に附錄として「最新型夏の婦人子供服」一册(四六判二五六頁)を添へました。大好評ですから急ぎお求め下さい價六十錢(送料七錢半)、發行所は東京丸ビル婦女界社(振替東京二九三七)です。

艶色生膽秘譚 (156)

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

毒盃(二)

別既お仙の秘密を發くつもりはなかつたが、宿醉疲れの不快さに堪へかね密室の重苦い空氣から脱れやうとつい天井窓を開き、地下部屋まで開けてしまつた右近、

「あッ……」

と思はず一瞥ふりかへれば、いままで壁としか見られなかつたにかくし戸だつたか、湯上りに濃い化粧すませたお仙が、しどけない姿態して、媚態こめたまなざしで鷹揚く笑つて立つ。

「ほ、ほ、ほ、ほ、珍しくも御座んすまいに、左近様、神奈川宿のブランウヰーラあの異人館への生贄おろし、ありやたしか血卍組が御本家でござんしたねえ」

右近は苦笑にまぎらせた。

「さぞおうつとうしいでござんせう、一風呂お浴びなすつたら、五三郎も今夜は暇を出してやりましたよ」

「よからう、湯上り姿はまたひとしほぢや、憫ます喃」

右近はテレかくしにかう云ひ乍ら廊下へ出た。

「憎い口をお利なさる」

お仙は朗かな笑ひを浴びせた。

風呂場は狹かつたが、その構造はこれまた奇怪至極だつた。

むごたらしい死を遂げた檜物町の剛次郎が、嘗て大黒屋才兵衛が手に入れる前さる旗本の老隱居の奢靡道樂を滿足させるため腕限り根限り、巧をつくしただけのことはある。

ゆつたりと風呂に浸つたまゝのびのびと身體を横にして、しかも向ひ側の欄干につくりつけられた飼棚で一杯飲めやうといふ變つた趣好。

高い天井にこそ入れ交り格子がきつてあつたがそれとてもひいてしまへば宛然密閉された箱も同様湯煙たちこめれば蒸し風呂とも變ずる都合。

右近は鬱しきつた氣持を一掃しやうと、あふるゝ湯槽に身をひたした。

「御ゆつくり、ぢき御酒の支度をして來ますよ」

「なに、此處で飲むのか」

「ほほ、ずんとよく廻りますアね」

一寸傳法に云ひすてお仙は出ていつた。

「サーッ、サーッ」

風呂場からは浴びる湯の音がとぎれとぎれにきこえてくる。

「どうして左近様は何一つ打明けて下さらぬのだらう、こつちがかうまで何もかも曝けだしいはゞ素裸の姿をお見せしても、あちらは唯の一言、血卍のことに觸れても下さらぬ、細腕作ら明してさへ下されば、お手助けも出來やうかと今日まで思ひつめてゐたものを……」

お仙は燗のかんを氣にし乍ら心ひそかにうらめしく思ふのであつた。

それにしても短からぬこの月日を總がれぬいた揚句、思ふまゝの境涯に辿りつけたいまの身をまだに夢かと、胸ときめかすのでもあつた。

と、廊前にいとも忍びやかな足音がきこえた。

「はて！」

お仙は息をこらせた。

「昨夜といひ、またしても――」

そつと爪立して廊下に佇めば氣の所爲か邊りはシインと靜まりかへつてゐる。

「おおさう云へばあの鬮川、あれもどうやら腑におちぬ、なんでこの寮へ忍びよつたものか、それに左近様が譯もなく一刀にお仆しなされたは……いはば同志の契でもあつたらうに、その癖うつかり訛ねやうものなら一口もそのことについてはお聞きなされずあのやうな無理を仰有る……」

と、ほんのかすかではあつたが鳴子につれてひそやかな歩調が近づいて來た。

「あれッ！」

お仙はすぐさま風呂場へとつて返さうとしたが、

「おお五三郎かしれぬ」

さう思ひ直して手燭をかざし玄關に出て見た。

と、外では忍びやかに訪ふ聲。

「お仙どのが寮か、案内をたのむ」

低くはあるが力づよい。

お仙はグッと息をのんだ。いまもいま風呂場にのびのびと湯にひたつてゐる筈の左近が戸外ではないか？

と戸外では再びよびかける。

「お仙どのに逢ひたうてまいつた宮川左近でござるよ」

「あッ！」

驚愕惑亂してふらふらッとよろめいたお仙、傍らのついたてにやつとその身を支へて、

「左、左近様、まア、何時の間に――御冗談にも程がある……」

さう思つた瞬間、風呂場からは

「サーッ！」

湯を浴びてゐる音だ。

「げッ！」

さすが氣丈なお仙もこれをきくと、双脚俄に力を失ひ、ベッタリそのまゝ居据はつてしまつた。

第六回 滿日勝繼碁戰(勝三回目)

井上氏二回 先二子番　秋元豊二郎氏　井上太市氏

○二一への十五　●二二トの十六　○二三への十七　●二四チの十六
○二五チの十七　●二六リの十六　○二七への十四　●二八への十五
○二九ヌの十七　●三〇ヌの十六　○三一ルの十七　●三二ルの十六
○三三ヲの十六　●三四リの十七　○三五リの十八　●三六ヲの十七
○三七ヲの十八　●三八ワの十七　○三九ヲの十五　●四〇リの十二

▲都筑四段講評　白廿一の截りは無理の様です此手を以て廿二に押し黒廿一に粘きたるとき(い)に下りて打ちたい白廿七も無理單に廿九に飛ぶ所黒廿八は卅四に曲る處さすれば白(ろ)黒(は)白(に)黒廿八白(ほ)黒(へ)となりて白は大に困りましよう黒卅六無理隨て白卅七の綽け卅八に抱へ黒卅七に下れば白(と)に押へて黒惡し

―【2】―

懸賞募集の當選者近く發表

上映日は七月二日で　時代劇『風雲天滿草紙』に決定

本社演藝部にて懸賞募集中であつた本紙連載日活現代劇特作品「この母を見よ」の大連上映日及び同週間に組合す日活時代劇題名は去る廿五日を以て締切り當日の消印あるものを有效と認めて整理の結果、總應募數一千七百三十一に上り、そのうち日活作品以外の應募數十三票を除き一千七百十八のうち左の如き成績を以て目下花形俳優として人氣の絶頂にある片岡千惠藏主演の「風雲天滿草紙」が選ばれたので目下日活關西支店と交渉中である、尚第一回の「この母を見よ」の上映日は七月二日と決定した

▲風雲天滿草紙　六六七
▲續大岡政談　五一四
▲素浪人忠彌　三六九
▲春風の彼方へ　七九

その他「腕一本」「唐人お吉」「渦潮」「忠直卿行狀記」「落花狼炎」錄等であつたが、右の結果より見ると、昨秋より大河内傳次郎と片岡千惠藏の主演作品が接戰をつゞけつゝあつたところ、大河内傳次郎の作品は「續大岡政談」と「素浪人忠彌」に割れた爲め片岡千惠藏の「風雲天滿草紙」が遂に最高點を得たものであるが「素浪人忠彌」が目下撮影中で未封切であるに拘らず斯く多數の應募者があつたのは不思議であるが一面大河内傳次郎の新作品を常にファンが注目してゐることを裏書してゐる、尚「風雲天滿草紙」の應募者六百六十七名のうち「この母を見よ」の上映日を七月二日とした正解者は四十名の多數に上つたので本社にて來る七月一日抽籤を行ひ當選者の等級を決定することになつた

【寫眞は素顔の片岡千惠藏】

大連 JQAK

六月廿九日午後七時三十分

▲講話(夏向水菓子製造法第一回) 山城寓照
▲薩摩琵琶(小野訓導) 正派橫溝湖城
▲萬歳 川田梅丸、海老一鐵丸、三味線 岡崎ツネ
▲俗謠數種 唄川田梅丸、三味線岡崎ツネ
▲浪花節(都の夜嵐) 宮川小金丸
▲料理獻立
▲天氣豫報

名武生李吉瑞來る

巖徹生

支那劇の眞髓は梅蘭芳の演るやうな艶麗な形にのみ在るわけではなく、むしろ大部分は老生と武生に存する。

現代武生の第一人者楊小樓が全支那劇を通じての第一人者である事は、辻聽花先生の東日に發表せられた記事でも充分知られる通りであるが、こゝに往年楊小樓と別に一派をなして華北に雄飛した天津派武生の頭領李吉瑞がある。

彼は功成り名遂げて十數年前から殆ど隱退して居り、特別の義務劇以外滅多に出演しなかつた、處が今度友人往訪の爲め數日前來連しゝのを機として在連劇通有志の懇情により昨二十七日から三日間奥町永善舞臺で特別出演してゐる。

彼の演ずる武劇は天津派の正宗で、特徴は普通の武劇の如き立廻りをやらないで老生の如く歌を主とすることである、その歌調たるや所謂蒼涼趣味の趣を具現せるもので、演ずる役がすべて歴史上有名な忠臣烈士或は正義派の豪傑であるから聞く者をして思はず共鳴同情の感を催さしめ、殊に俠義を愛する日本男兒を感激せしめるのだが、梅蘭芳に騷はれて溜り日本に知られて居ないのは惜い。

彼の十八番とする名劇「鐵木關」は支那劇中滿洲を舞臺とする唯一無二のもの、即ち安寧殿鳳凰山の傳説に名高い薛仁貴が月下に滿腔の悲憤をやる場面で、李吉瑞か薛仁貴か薛仁貴か李吉瑞かと云はれるはまり役である。

パテーの蓄音器レコード以外にもう聽かれまいと思つて居た彼の傑作を親しく本人に依つて聽くことの出來るのは滿洲否大連に住む者として望外の幸ひである因みに右の鐵木關は最終日たる廿九日の夜に演ずる由。

捨丸が返り咲日で一圓均一の町廻りでまた映畫界を喰ふ氣▲來月一日から大連劇場で御目見得する村田篤子が下關から各方面に挨拶狀▲そのうちに河部五郎のも來るだらうし、一若改め三代目奈良丸もそろそろ宣傳の用意▲これに大出撲で七月は大分賑やか過ぎて映畫街は大恐慌▲その上に澁政と陳腐に人氣を奪はれたら一體あとに何が殘るのか▲夏枯時に惡材料ばかりで「これからは金方を探すより方法がありません」

聲明

常盤座は

大連映畫界に唯一つの外國映畫專門封切館として新しく斯界に進出することになりました。

顧りみますれば、わが常盤座が大連映畫街に誕生の産ぶ聲を上げまして今日で丁度半歳を經過して居ります。皆様の御指導、御聲援のお蔭げをもちまして、今日を保ち得たのでございます。憶へば、滿腔の謝意を表明し、合せてそれに報いなければならないのでございますが、いまだそれに及び難いことを知つて居ります。さあれ、わが常盤座は徒らに惰眠を貪ぼつてゐるときでないことを知つて居ります。

大連映畫戰線漸く多事多難、異常を傳へてゐます。此の内憂的なる局面に低徊するの愚をさけるべきではないでせうか。こゝに於てわが常盤座は『既に行はるべくして行はれざりし』初志を今日こそ斷然、果斷に手を着けるときを迎へました。高らかに旗をかざして、混沌たる映畫街に超然と外國映畫專門封切館とし飛躍することになりました――。

行きづまれる日本映畫を見切つて敢然として進出する、この方針、勿論大衆本位をモットーとして觀覽料金も日本映畫を御覽になるより御安くといふ主義――專念――經營の合理化を標榜して、未踏地の開拓に斧を揮ひ、優秀なる外國映畫封切を前線にわが常盤座はあくまで堅き陣營と、潑剌たる面目を整へて進みます、この勇躍、この壯擧、必ずやわが常盤座の雄圖行く處、刮目して有るべきものあらんを。

茲に――全力を盡して皆様の御期待に背かないことを誓ひ、倍舊の御支持と御聲援を希はんとする所以でございます。

連鎖街　常盤座　經濟者 小泉友男

滿洲日報

社説

私立小學校生れ出でよ

下は幼稚園小學校より上は高等學校大學に至るまで日本に於ける教育の全般を通じて共通的な缺陷と見るべきものは著しく傳統的なことである、勿論教育者の多くは教育の革新改善に日夜つとめては居るがそこには依然として舊態を改めぬ執拗な傳統が影の形に添ふが如く常につき纏つてゐる。

◇

教育は常に進展して止まぬ生命の流れでなければならない、潑剌たる生命の躍動でなければならない、然るに傳統は一つの形骸であつて、教育の仕事に傳統が多ければ多いほど生命の進展は阻碍される、然らば如何にして此の執拗なる傳統を脱し得るか、それには教育を司るもの〻自覺と、教育者の自覺と民衆の自覺とそして、それに伴ふ絶えざる努力とが必要である。

◇

教育に對する民衆の自覺はやがて教育者への要求となつて現れ、教育者の自覺と努力は又教育を統ぶる者への要求となり、これらの要求は更らに教育を司る者の自覺を促すこと〻なり、そしてその努力はやがてよき教育制度となつて現れる、然し現在の教育界を見るに學校に子弟を託する父兄の多くに教育を觀るの明と努力とがなく從つて教育者に要求するだけの理想を持たない、それから又多くの教育當事者は當局者に當然要求すべきこと要求するだけの熱意と勇氣とがなく教育を司るもの又傳統の中に安逸を續けてゐる、斯くて時代は絶えざる進展を續けてゐるのに反し教育は舊態依然として進歩しない所以である、恐らく斯うした狀態は今後も永く續くであらう。

◇

斯の如く八方塞り的な教育界に於いて唯一つの血路とも見るべきものは私立學校の設立である、現在に於いては幾多の私立學校特に新學校としての色彩の明らかな私立小學校が各所に設立され、これらの學校は窮屈な制度と幾多の傳統とから完全に脱し教育の眞の目的に向つて目覺しい活躍を續けてゐるが、これら私立學校の經營者及び其の教育に携はるものはいづれも傳統に捉はれた官學に慊らずして飛び出した教育界の反逆者のみである、これらの教育者にはサラリーなどは問題とならない、唯望むところは生命ある教育の崇高な姿である、眞に個性の生かされた潑剌たる人格の伸びゆく姿である。

◇

そこで滿洲の教育界を眺めるといづれも大量生産的なそして官學の色彩の濃厚な學校のみで一つの私立學校のないことは實に遺憾である、滿洲にも私立小學校の一つや二つはあつていゝ時だ、私立小學校の經營を夢みてゐる人も決して少くはない、ヌさうした學校の經營に對して優れた理想と教育に對する確乎たる信念とを有する教育家も決して少いとは言へない、勿論斯る小學校が一、二校設立されたにしてもそれは一部少數の兒童を收容し得るに過ぎないもので　はあ〻、然し時代の要求から見ても新教育の機運を促進する上から見ても、それが又一般教育界に教育の歩むべきヒントを常に與へ得ることから見るも其の設立は決して無意味でないことを固く信ずるものである。

英國皇帝陛下より元帥標杖御贈進
わが天皇陛下に對し

【東京特電二十七日發】英國皇帝ジョーヂ五世陛下から高松宮殿下に託されたわが天皇陛下に御贈進の英國元帥標杖は極めて豐富なる由緒を持ちガーター勳章に次いでの名譽の標杖とされてゐる、同標杖には大體下賜又は御贈進の範圍と數に限りがあり現在右標杖を有するものは十三名（或ひは十四名といはれてゐるが判然しない）で英國外で持たれるのはベルギー皇帝アルベール一世陛下、スペイン皇帝アルフォンゾ陛下の御兩方で今度わが天皇陛下が受けさせられたため皇帝は御三方となられたわけである、日本では大正天皇が大正七年一月一日英國皇帝陛下から英國元帥號御贈進の旨の御親電を受けられ同年六月御來朝のコンノート殿下によつてその標杖の御贈進を受けられたのであつた、標杖は二尺餘の棒樣なものでクラシカルなビロードにて被ひ卷かれ金色燦然たるクラウンがついてゐる非常に壯麗なもので天皇陛下には今秋英人との公式のセレモニーには御携帶臨御遊ばされると承はる

御禮電報を御發送

【東京二十七日發電】宮內省發表 本月二十六日イギリス皇帝陛下より宣仁親王同妃兩殿下御安着並びに天皇陛下を同國陸軍元帥に列し該標杖を同親王殿下に託せられたる御親電を寄せられ天皇陛下はこれに對し二十七日同親王殿下に御贈賜の御禮と共に御禮電を發せられた

英紙筆を揃へて御答禮宮を奉迎
日英兩帝國皇室の密接なる御交情は更らに深められん

【東京特電二十八日發】廿七日朝のロンドン新聞は競つて高松宮、同妃兩殿下奉迎の記事を掲げた、その中

ロンドンタイムスの社説

ガーター勳章御答禮使高松宮殿下並びに同妃殿下の御來英は日英兩帝國皇室の密接なる御交情を更に深からしむに至るであらう、而して吾人が希望して止まぬのは更に殿下の皇弟澄宮崇仁親王殿下が御兄宮方をはじめ日本皇室の慣例とされたるイギリス御訪問を近き將來において倣はせられん事これである、高松宮兩殿下には我が英國皇室の懇ろなる御歡迎振りが直ちにイギリス全國民の日本に對する感情を代表してゐるものである事を必らずや御感得遊ばされた事であらう

デリーエキスプレスは曰く

海の宮様及び日本のあらゆる善きものゝうち最もやさしく最もいみじきもの〻權化たる妃の宮喜久子殿下を今我等の都に迎へたるは最大の喜びである

デリーニユウスは曰く

ロンドンは最も鄭重な禮を以つて珍らしき賓客高松宮殿下を奉迎した、而してチャーミングな新婚妃宮こそは綠のロンドンの社交季節に際し敬愛の的たるに相應はしき御方でなくてはならぬ

拓務懇談會諮問事項

【東京二十七日發電】拓務懇談會第三回總會は二十七日午後五時より工業俱樂部に開會松田拓相以下各關係官阪谷男を始め約八十名出席、松田拓相の挨拶後阪谷男議長席につき議に委員會において協議された

一、諮問二號案（我國の現狀に鑑み移植民の奬勵保護指導上特に改善を行ひ又は新なる施設をなすを必要とする事項如何）
一、諮問三號案（邦人の海外における拓殖事業の指導奬勵上特に改善をなすを必要とする事項如何）

の二事項につき委員會の答申案を原案通り可決したる後晩餐を共にし午後八時半散會した

保險會社が今後證券を買ひ進む
藏相の希望を容れて

【東京二十七日發電】井上藏相と保險業者との懇談會において保險業者側は藏相の希望に依りこの際有價證券の處分を差控へ進んでこれを買向ふ事に賛同したので生命保險協會では近く出席せざりし會員にこれを報告する事となつた、而して保險會社側では有價證券の評價並びに責任準備積立金の條件緩和を請ふ處あつたが政府は考慮する旨を答へた

勞働組合法案の通過努力を進言
安達內相より首相に

【東京二十七日發電】安達內相は二十七日閣議散會後濱口首相と會見し勞働組合法案に對する資本家側の反對運動につき協議する處あつた該法案は政府が攜て公約せる處であり勞働運動の統制上必要のものであるから是非とも來議會に提出して社會局案を通過せしむるやう內相より首相に進言する處があつた

皇室賓客を御辭退
高松宮兩殿下ホテルお移り

【ロンドン二十七日發電】高松宮同妃兩殿下には二十七日を以つてイギリス皇室の賓客としての御待遇を辭退され、二十八日午前十一時クレアリッズス、ホテルに御移り遊ばされ午後はヘンドン飛行場にて行はれる公立飛行隊の航空ページエントを御覽遊ばさる〻御豫定である

米支の公債條約
廿七日兩國間に調印

【ワシントン廿七日發電】米貨公債條約は本日支那アメリカ兩者間において調印を了した

製鋼所上京委員 仙石總裁訪問

【東京特電二十八日發】昭和製鋼所大連上京委員は連日關係各方面を歷訪中であつたが廿七日午前十一時滿鐵支社に仙石總裁を訪問、種々意見を交換した、廿八日は俵商相並に伍堂製鋼社長を訪問の筈

濱口首相靜養

【東京廿八日發電】濱口首相は二十八日午後二時自動車にて鎌倉の別莊に赴き靜養の上三十日午前歸京の豫定である

國產品奬勵の成績
大阪では「舶來」の言葉を廢止
代用し得る國產品約六億圓
今後植民地にも徹底

【東京二十七日發電】二十七日の定例閣議は午前十時より開會國產愛用につき左の如き報告あつて正午散會した

安達內相

國產愛用奬勵宣傳は全國に漸次徹底し殊に關西方面は最も講演の要なきに至つた、大阪では舶來の語を廢し輸入品といふ言葉を使つてゐる

俵商相

前の閣議で輸入品二十數億圓中約六億は國產品を以て代用し得る旨報告したが其の後更に調査の結果

一、價格、品質、數量の點において輸入品を驅逐するもの二億五千萬圓
二、數量は不充分なるも價格品質において勝るもの二億圓
三、現在は及ばぬが指導宜しきを得ばこれに代用し得るもの一億五千萬圓
四、その他のものは現在では有望でない

江木鐵相

鐵道省では昨年八月より省內に國產使用奬勵委員會を設けた結果十二月以降前年には二百六十九萬圓を購入した輸入品が三十一萬圓（八割八分の減）に減少した

財部海相

この運動は更に植民地にも徹底させたい
尚後、幣原外相の支那時局に關する詳細な說明があつた

產業合理化實行に別働隊の會社設立
藏相、銀行家と懇談

【東京廿八日發電】政府は產業合理化の實現に當りこれが助長徹底を期するため諸種の方法を講究中であるが、過般英國に產業合理化の別働隊として設立されたバンカース、インダストリアル、デベロップメント、カムパニーに倣ひこれに類似せる會社を我國にも設立せんとの意向あり、二十八日日銀において開かれた東西シンヂケート銀行代表者との懇談會に於て井上藏相よりこの點につき銀行家の諒解を求めた

支那事件行賞
殘餘の分決定

【東京廿七日發電】昭和二、三年度に亙る支那事件に關する論功行賞の殘餘（第三師團第十師團軍艦及び朝鮮軍の一部その他）は最近全部軍部側と賞勳局との間に大體の協定を見たので來月より本年末にかけて逐次發表することとなつた

製鋼所敷地問題決定說は疑問だ
鮮人の歸化問題は急がぬ
奉天にて 小坂拓務次官談

【奉天特電二十七日發】小坂拓務次官は廿七日午後七時十分安奉線により着奉、林總領事鈴木特務機關長守田民會長外官民數十名の出迎へを受けたが驛の貴賓室にて語る

滿鮮には昔一度來た事があるがその時は勿論拓務省の仕事をするものとは思つてゐなかつたので漫然見物したに過ぎないその後大分年月も經つたし仕事の都合上海外に居る人々の便宜を計るには事情も解らないのでは困ると思つて來たわけだ、朝鮮人の歸化權附與問題に外務省と拓務省の間に意見が衝突してゐるとの事だが全然そんな事はない第一それ程差迫つて決める程の事もなく歸化すれば歸化鮮人を支那側が大事にするかといふとそれは解るまい、それから間島鮮人民團長なども歸化權附與に反對であつた、又昭和製鋼所敷地が鞍山に決つた樣に電報が報じてゐるたが信用出來ない、又鞍山は製鐵奬勵金と輸入關稅の免許がやつぱり問題である、大藏省が鞍山設置に有利な條件を承認したといふ事も疑問である時に鞍山の分だけ輸入關稅を免除する事は日支新關稅協定から見てもどうかと思ふ最も私は仙石總裁と行違ひに東京を出たから最近の事は知らないがさう急に決定するものとは考へられない今度は滿洲見物で奉天から四平街、洮南、齊々哈爾、大連に行つて一路東京に歸る
次官は直ちに總領事館に赴き林總領事の歡迎宴に列席した

海相說明拒否問題對策

【東京二十八日發電】財部海相の說明拒否問題に關し貴族院公正會は二十七日臨時緊急五分科會（陸海軍）を開き二十五日財部海相が訪問し說明方を交涉拒否せられたる今園男より海相との折衝經過を報告した後

一、國防に關する最高諮詢機關たる軍事參議官會議の回議を閣議に於て協議し若しくば軍部に關係ある閣僚と協議するが如きは不可で同會議は一日も速かに開催せねばならぬ
一、兵力量問題は海陸關連事項であるから軍事參議官會議を開く事とせねばならぬ
一、ロンドン條約問題は會議の經過等を調べるよりも統帥權問題國防安全率問題等について財部海相に訊し時局に善處する必要がある

等の意見の開陳あり財部海相の出席拒否對策として如何にすべきかについて協議の結果今園國貞、鍋島直明兩男をして二十八日中に海相と交涉して海相との會見時日を決定せしむる事となつた

南軍の總攻撃奏功
北軍は遂に退却
隴海平漢兩線ともに

【北平二十七日發電】南京軍最後の總攻撃功を奏し隴海線において西北軍は遂に杞縣を撤退し又平漢線にても徐源泉軍のため郾城を奪回されたあつた

同され北方軍は沙河口の北方に退却し周家口も亦南軍のため奪取され北軍は西華に退いたとの確報がある由

北方派が更に青島海關を接收
英米人三名を派遣

【上海特電二十七日發】本日當地支那側に達した情報によればシプソン氏は天津海關同樣に青島海關をも北方派の手に接收すべく天津より英人二名、米人一名を同地に派遣すること〻なり右三名は近く青島に赴く筈であると

二重課稅に抗議
重光代理公使より

【上海二十七日發電】重光代理公使は今朝十時半外交部事務所に來滬中の王正廷氏を訪問し主として時局の推移に關し王氏の意見を聽取した後天津海關問題に關し國民政府が二重課稅を爲さんとする不當を指摘し天津領事團が輸出入稅供託の手段を採つたのは商人の便宜を圖る上に已むを得ない處置で該供託金は將來合法政府に當然引渡すものだから國民政府もこれを諒解して天津よりの入貨に對しては從前通り正規の手續きを經たものとして取扱はれたいと要求した模樣である

政府保險業者懇談會

【東京二十七日發電】財界不安一掃に關する政府と生命保險業者との懇談會は二十七日午後零時半より藏相官邸に開會政府側より井上藏相保險會社側より各社代表十氏出席井上藏相より

我財界の不況は主として世界的不景氣の影響に依るものでこれを打開するには飽くまでも緊縮政策を維持し產業の合理化を徹底せしめるの外はなく政府はこの方針の下に着々財界立て直しに努力してゐる、然るに一般には極度に悲觀人氣に驅られ不安を助長し財界立て直しを阻害する傾向も少くないから各位はこの點を理解充分援助せられたいと挨拶し、俵商相も簡單なる挨拶をし懇談に入り隔意なき意見を交換した

膠州の匪害
死者多數
二萬の市民避難

【青島廿七日發電】精鋭なる武器を有する大部隊の土匪千餘名昨夜膠州を襲擊し城內の民家を片つ端から掠奪し二萬餘の城內居住者は身を以て避難したが死傷者多數を出した模樣である、右の報に接し渤海艦隊急行し陸戰隊二個聯隊上陸した、邦人の安否不明である

關東廳で州外事務官會議

關東廳では恒例に依り來る七月七八日の兩日に亘り同廳會議室にて州外事務官會議を開催する筈であるが、當日は滿鐵沿線各領事館

菱刈軍司令官巡視日割

菱刈關東軍司令官は左の通り旅大部隊の初度巡視を行ふ由

▲廿八日 午前十一時—午後一時卅分關東陸軍倉庫、同一時卅分—同五十分大連憲兵分隊、同一時五十分—二時十分滿鐵囑託將校
▲三十日 午前九時二十分—同五十分旅順要塞司令部、同三十分—五十五分旅順憲兵分隊、同十一時—同四十分重砲兵大隊、午後一時—同四十分步兵第九聯隊、午後一時四十五分—二時十五分衛戍病院

辭令

【東京二十七日發電】

任關東廳事務官（四等） 地方警視 森本勝巳
任岐阜縣書記官（三等） 岐阜縣書記官 藏重久
補內務部長 茨城縣書記官
任茨城縣書記官（三等） 大竹信浩
補內務部長
任岐阜縣書記官（三等）

關東廳辭令（廿七日付）

內閣統計局統計官 森數樹
朝鮮及び南滿洲へ出張を命ず
任關東廳海務局技手 岩崎滿

人事

▲山崎元幹氏（滿鐵涉外課長）十八日出帆のうらる丸にて上京豫定は三週間
▲藤井十四三氏（滿鐵下關鮮滿案內所主任）同上赴任の筈
▲中川喜久松氏（滿鐵チチハル公所長）廿九日大連出發赴任の筈

特產

定期後場（銀建）

限月	寄付	高値	安値	大引
▲大豆（軟調）單位屯				
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	百廿二車			

▲普通大豆（出來不申）
▲豆粕（出來不申）
▲豆油（出來不申）
▲高粱（軟調）單位屯

現物後場（銀建）

温保（袋込）大豆（裸物） 寄付 七九〇〇 大引 七九〇〇
普通大豆 出來不申
出來高 十車
豆粕 出來不申
豆油 出來不申
高粱 出來不申
包米 出來不申

錢鈔

定期後場（單位錢）

期近 寄付 高値 安値 大引
出來高 百三七十七萬圓

現物後場（單位錢）

銀對金 銀對洋 金對洋
一時半 [illegible]
二時半 [illegible]
三時半 [illegible]
出來高 銀對金 六萬圓 金對洋 四千圓

商品

後場
▲受渡休會

第廿六期決算公告

（自昭和四年十二月一日 至昭和五年五月卅一日）
貸借對照表（金圓勘定）

資產：拂込未濟資本金、營業保證金、有價證券、營業用什器、不動產、諸預ヶ金、郵便振替貯金、貸付金、賣買勘定尻未入金、預託證據金代用證券、賣買未決算勘定立替金、現金

負債：資本金、法定積立金、命令積立金、使用人退職手當基金、社員積立金、營業保證金代用證券、借入金、未拂株主配當金、賣買勘定尻未拂金、取引人身元保證代用金、假預り金、預託證據金、本證據金、追證據金、增證據金、賣買未決算勘定預り金、未納稅金、前期繰越金、當期利益金

右ノ通リニ候也
昭和五年六月
大連取引所錢鈔信託株式會社

滿日地方版

奉天

省城女學生の赤化を防止 新に女督學員を設置

近來省城各女學校の生徒間には共產主義にかぶれ赤化を謳歌してゐるものが尠くないので省政府では之が取締りに苦心中の處今回官制を定め東北邊防公署內に女督學員を置くことゝなつたそしてその督學員には過般國民政府教育部より歐米女子教育視察に派遣された宿六平を任用し之が善導をなさしめることになつたと

水上選手權大會 ◇けふ奉天プールで

全奉天水上競技選手權大會は廿九日の日曜日左の如く體育協會主催の下に大々的に奉天プールに於て開催されるが本競技會はレコード本位のスピード競技と興味本位の各種餘興が擧行されるので河童連は勿論一般に非常な期待を以て迎へられてゐる

スピード競技（午前十時開始）

種別	種目	距離
選手	自由	五〇米
	同	一〇〇米
	同	二〇〇米
	同	四〇〇米
	同	八〇〇米
	背	一〇〇米
	平	二〇〇米
	リレー	二〇〇米
女子	自由	五〇米
少年（尋六以下及高等科に區分）	自由	五〇米
	同	二〇〇米
一般	自由	五〇米
	同	一〇〇米
	背	一〇〇米

餘興（午後一時開始）參加者隨意

水中角力、抽籤、綱引、川中島、寶探し、ローソク競泳、リンゴ取り、障碍物競泳、棒押、古式泳法各種、跳込み

拓大辯論部遊說

東京拓殖大學辯論部の滿鮮遊說は七月五日東京を振出しに鮮滿各地で行はれるが奉天には十三日八時半着同夜場所未定辯論大會を開き一泊十四日十五時五十六分北行の豫定であると

モヒ中毒女に 同情金

邦人の夫を捨て支那人の許に走り遂に二人の女の子を抱へながら强度のモヒ中毒に罹り途方に暮れてゐる長崎縣生れ市內吉野通二番地井手つる（三〇）に對し奉天署では大連の慈惠病院に施療患者として入院せしめるため照會中であつた事は既報の通りであるがその後慈惠病院では之を心よく承諾したため廿七日二十時半發列車で保護を加へ赴連せしめた病氣も一ケ月餘治療すれば全快する筈で快癒の上は長女（一〇）及び三女（四）を伴ひ實父のゐる福岡縣嘉穗郡飯塚町に歸省することになつてゐるなほつるの身の上につき各方面から同情が集りつゝあるがその氏名は左の通り

觀音講一圓五十錢、白石龍二氏三圓、末芳町內會三圓、松井藤三郎氏二圓、佐藤胤治氏五十錢末芳町內會長月川八百八氏は家賃その他五十圓を免除、城廠松本芳松氏二十圓

赤痢猖獗 六月中に廿五名

本年も傳染病の流行時期を前に控へ傳染病患者が漸次現はれてゐるが殊に赤痢は氣候の關係で六月に入り既に廿五名も發生し昨廿六日の如きは四名、廿七日は三名の新患者を出し猶續々發生する模樣があるので奉天署では更に力を入れ之が豫防に努めてゐるが患者の大部分は食物が原因となつてゐるためこの際一般市民も注意が肝要である

日曜の催し

▲午前十時より全奉天水上競技豫選會午後一時より同餘興何れも奉天プールに於て開催

▲夕方ヤマトホテルのルーフ開き

▲琴平町廣瀨市郎氏方に於て筑前琵琶の教授稱號試驗施行受驗者は奉天、營口、撫順、四平街より十數名

▲午前八時半より醫大、中學堂、三井物產、勸業公司、滿鐵々道關係、實業側、正金銀行その他のチームに分け優勝旗爭奪硬球庭球戰を體育協會主催の下に擧行、終つて右近氏の送別を兼ね懇親會を催す

▲奉天西分會射擊會は午前九時から午後四時まで[illegible]隊（入口は練兵場より）に於て開催賞品は各射手の區別に從ひ一等より十五等まで班の競點射擊を行ひ優勝班に優勝旗授與

▲午後六時半から春日小學校に於て高勇吉、關鑑子氏等の音樂と舞踊の會開催、ピアノとセロ二重奏、セロ、獨奏、ソプラノ獨唱舞踊等がある

四平街

打通線の値下 對策研究の聲擧る

既報打通線運賃五割引問題は地方特產商の損害も亦至大なるものあり、而して輸入品についても同樣の割引を實施されんか打擊の範圍は可なり廣汎に亘るものあるより當市民協會側は山添、鶴見の正副會長並びに桂擧三、竹本二丸、田中佐重郎、島村喜久馬の經濟委員を始め添出特產組合長以下池田吉郎、松田琢海、伊藤新八、飯塚龍之助の諸氏は二十七日午後七時三十分より驛前稻半旅館に集合對策協議會を開いたが青年聯盟でも近く市民大會を開催して大に輿論喚起に努める由である

吉林

民有地の買收 ◇市政籌備處が商埠地整理◇

吉林市政籌備處では今回商埠地の整理を行ふため民有地買收價格を七等級に分ちて買收するに決定した、これに依れば民有櫃房は一律に每間を五百元で買收し、墓地は移轉費用として一個に付大洋三十元を給し、牆垣等に對しても相當買收費を支拂ふ旨を規定してある尚土地は每畝に付左の價格を以て買收すると

▲一等百六十元▲二等百四十元▲三等百二十元▲四等百〇五元▲五等八十元▲六等六十元▲七等四十元

腸チブス續發 近く豫防注射

吉林居留民會では腸チブス患者が引續き發生するので近く豫防注射を行ふ筈である

電影園の犧牲者遺族に 恤救金を下附

去る三月十八日夜の吉林省城大東門內永吉電影園の慘死者一名につき吉林省政府委員會において恤救金吉林大洋五百元づゝを各遺族に發給する案を議決し、近く財政廳より分配すると

教育廳長訓示 校長會議で

吉林教育廳長王莘林氏は各學校の暑中休暇も目前に迫つたので、此程各學校長を召集して校長會議を行つた席上、大要次の如く訓示した

目下時局不靖の際で不逞徒が學生を利用煽動して事端を釀す恐れがあるから、各學校長は自校の學生に嚴重訓諭して勉學を勸め、以て軌外運動と曠學を戒められたし

舊官帖燒却

吉林永衡官銀號では來月三、四、五の三日間各午前十時より北山麓において、各機關より派出の立會人監視の下に破損の舊官帖五千萬吊の燒却處分を行ふべく此旨各機關に通牒した由

長春

赤痢らしい惡疫猖獗を極む ＝下痢と高度の發熱 既に城內で百名罹病

昨今の雨季に入つて長春方面では去る十三日前後から城內方面に赤痢やうの患者續出し入院患者だけでも百餘名に達してゐる、症狀は急激の下痢と共に三十九度乃至四十度の發熱があり危險狀態に陷るものである、その外に隱蔽されてゐる患者は夥しい數に上つてゐるらしいが何故か支那側公安局及び衞生當局は放任して防疫處置を講じてゐないので病菌は益々蔓延する一方である、附屬地內においても昨今赤痢が流行し猖獗を極めんとしてゐる折柄、各家庭では野菜その他飲食物及び寢冷等に充分注意が肝要である

送別式と推戴式 長春健兒團で

長春健兒團では土肥團長が大連に赴任することゝなつたので二十七日午後四時からキャンプ場に於て土肥團長の送別及び大岩峰吉氏の團長推戴式を擧行し茶話會を催した

◯馬賊の片割れ 平康里で逮捕

去る二十日夜吉野町平康里において馬場刑事及び巡捕一名が擧動不審の一支那人を逮捕取調中の處、同人は趙田發（三二）と云ひ鐵北方面を荒してゐた馬賊の一味なることを自白した

防疫打合會

二十四、二十五の兩日長警衞生係が長春座で催した衞生活寫會は頗る好評で入場者は約二千名に達した尚衞生係では廿六日午後三時から滿鐵側の參加を得て衞生會議を開き防疫上の打合せを爲した

蠅の買上や野菜消毒 一日から實行 防疫協議會で決定

長春警察署及び滿鐵衞生當局の二十五日の防疫會議の結果

一、七月一日より附屬地外より搬入される野菜類果實を泉町、西公園、朝日通り、西廣場驛前の各派出所並びに東廣場及び東五條通り祝町交叉點で消毒を施行すること

二、蠅驅除のため同日より蠅の買上げを行ふ

三、飲食店、料理店の衞生設備を完全にし飲食物の消毒を督勵すること

の諸項を決した

異動で料理店賑ふ

今回の滿鐵異動で長春在勤者にして他地に轉ずるものが頗る多く殆ど每日送別會續きで廿七日の日本側二十八日の支那側土肥氏送別、二十四日の日支合同中島交涉係長送別、二十六日の日本側二十七日の支那側記者團の同氏送別を始め地事驛兩方面とも送別や歡迎が續くので料理店方面はホク／＼顏である

射擊會の入賞者

既報二十四二十五兩日の長春警察署員の西覺城子射擊場に於ける拳銃射擊會の入賞者左の如し

三十米拳銃 ▲一等四四點杉澤巡查▲二等四一點日高巡查▲三等四一點本田警部補▲四等四一點內藤巡查▲五等四〇點谷口巡查

二百米長銃 ▲一等三八點武田巡查▲二等三[illegible]點[illegible]村巡查▲三等三二點榊原巡查▲四等三二點安本部長▲五等三二點石井署長

九齒全長對抗野球戰延期

九州齒科醫專對全長春軍の野球試合は二十六日開催の筈の處雨天のため延期された

所長更迭披露

土肥、大岩新舊地事所長の更迭披露宴は二十六日午後六時半からヤマトホテル納涼園で開催、來賓は日支人約百二十名、土肥舊所長の挨拶に次いで大岩新所長の新任挨拶あり、來賓側からは田代領事及び周市政籌備處長の謝辭ありて午後八時半閉宴した

白系露人南米行

國を追はれた白系露人は今でも哈爾賓長春等の北滿方面に職業らしい職業もなく放浪生活を續けてゐるものが多いが、昨今之等白系露人間には赤復ブラジル移住熱が勃興し出したと見へて續々長春經由南下してゐる

驛員海水浴に

長春驛では森田驛長の發案で夏季の閑散時に驛員の海水浴場行きを實行することゝなり二十五日第一班が出發したが各班一週間交代で十班に分かれ八月二十四日で終ると場所は夏家河子だと

營口

在營の華商葫蘆島進出 移住者續出せん

支那側では葫蘆島築港熱旺盛にして同地へ轉住するものに對しては土地の無料貸下をなすなどいろいろの便宜を與へて商民の招徠に狂奔して居るが、當地永世街恭順利外二十餘軒の商店は同地に赴き土地の借入れにつき手續中である、舊市街では昨年以來市區の改正や道路擴張のため商民が家屋の改築に投じたる資金は實に莫大の額に達して居り加へて不況と銀塊暴落の痛手を受け困憊の極に達し居る彼等商民は寧ろ此際衰微に傾ける當地に早く見切りを付けて新興氣分の旺溢せる葫蘆島に移住して一擧げた方が得策だと考ふるもの多く、今後なほ移轉者續出の傾向にある

原警部補出發

當地警察原警部補は二十五日附瓦房店本署保安主任に榮轉と發表二十七日第十六列車にて家族同伴赴任の途に就いたが驛頭には多數の日支官民が見送つた、尚後任には大連より松枝警部補が第十五列車にて着任した

湯街漫語

去る六月一日から沿線各地に於ける郵便物の取集め時間が改正されたが夜間は日暮れ八時に開函するのみで其の郵便物は翌日十二時の列車にて遞送するので、前夜八時過ぎに投函した郵便物は從來五六時間內外で大連市內に配達されたものが二十四時間以上を要する事となり沙河口老虎灘方面等の如きは發信後三日目の朝でなければ配達されないと今度の改正には不平の聲が高い

菱刈軍司令官 七月十九日來營

菱刈新任關東軍司令官は初度の巡視として七月十九日午後二時三十五分來營、同夜は清林館に一泊翌二十日午前十時半辭營、隨員は高級參謀同副官及專屬副官の三名なりと

柔道部新設 商業實習所

營口商業實習所では從來の劍道部に更に柔道部をも設くることゝなり警察の柔道教師中國仲次郎氏每週火、木、土の三日間午後四時から同五時まで指南することゝなり二十六日から道場開きをなし稽古を始めた

飛行郵便 奉天―營口 七月上旬から

遼寧省政府では奉天營口間の飛行郵便を實施することゝし七月上旬から實行する筈である

熊岳城

農業實習所の入所試へ 應募者は五倍

熊岳城農業實習所では二十五、二十六の兩日に亘つて入所試驗を行つた、今回の應募者は七十五名で募入人員は約五分の一の十五名だと云ふ

▲第一日は午前八時より十時迄所長の話、八時十五分より九時迄筆記試驗、九時十分より十二時まで體育試驗、午後二時より同五時まで實科の試驗

▲第二日は口答試問で就職難時代だけに涙ぐましい場面が演ぜられて居る

遼陽

廿萬圓問題 原◇案◇承◇認 法人團設立委員も決る ▽……廿七日の市民大會

遼陽市民大會は廿七日午後一時五十分から公會堂に開催、地方事務所長と折衝委員との決定せる配分案は二三質問ありたるも大多數で承認、社團法人、財團法人組織說立の件も異議なく通過したが、最後に設立委員を[illegible]に當り、議長指名にするか[illegible]より選ぶかに關し議場紛糾を極めたが、折衷說の動議に依り銓衡委員六名が選ばれた結果、生田、松田、梶原、安藤、高橋、安藤、近藤（細野、笠井）の七名を設立委員に決定し午後六時半閉會した、これで[illegible]

哈爾賓

巴里の畫壇 日本人畫家では矢張藤田氏 戶谷畫伯談

廿五日ハルビン着歐亞連絡列車の三等車からひよッこり姿を現した戶谷畫家は

佛蘭西生活約三ケ年日本人は大使館に屆けてゐる者だけで約三百數十名、其の八割までは畫家である、藤田氏の評判は矢張り日本人中で第一、次は青木芳夫君が認められてゐる、ロシヤ人の畫家も相當ゐる、クラシカルなものが尊重されてゐる、支那人畫家は模倣のみに力を注いでゐる、日本人は先生に師事するとか西歐の大家が殘した博物館の名畫を手本にしてゐる、畫家の多いことは世界一番だが二十餘戶の畫商の勢力は大したもので大多數の畫家は畫商に頤使されてゐる、畫家も立派な鑑賞眼を有し、將來有望な人物とみれば直間接に保護もする、巴里で製作された畫が米國から歐洲、獨、伊其他に輸出される額は大したものであるが、最近は多少沈滯した、それは財界の不況の半面、模造品の濫製に因ると畫商等は語つてゐる、ロシヤ人の畫家が認められてゐるのはロシヤ人の畫商があるからで、日本人でも日本人の畫商があればもつと世界的に認められるだらう

八人組の掏摸

ハルビンを中心にして最近露人のスリ團が往行し女も混つてゐる一味は八名で列車內の混雜に乘じスルのが專門である、驛長はこの事實を知つてゐるが支那側が取締らぬので困ると言ふてゐる

宇佐美所長 二十七日着任

宇佐美事務所長は二十七日午前八時着哈、驛にはエムシヤノフ、ルーデイ氏、李紹庚その他日支官民多數出迎へた

濱江雜俎

チエツクスラバツクの代表的會社であるシコダ製鋼會社極東支配人アラーゴ氏は本月中旬奉天に向つたまゝ未だ歸哈しないが、遼寧省當局に目下飛行機の賣込奔走中であると

◇

へ決まれば全部の解決を見るも遠きにあらざる事になつた

◇

する從事員の兒童に對する夏期休暇無賃乘車の運轉を開始した

◇

東鐵材料係では燃料用の薪、ケラシン、石油其他に對し新評價を發表した

◇

東鐵にては夏期間中第四及三號列車は游泳者の便宜を計りアルゲン河驛は臨時停車すると

◇

東鐵の二十六日の換算率は二五〇元

◇

新城大街公園內に二十七日から園內專屬の特別市華俄飯店が開業した當日在哈日支新聞記者を招待し披露宴を開催した

◇

滿洲里市政局は東鐵に向け昨年の露支紛爭のために市政局の財產は破壞されたので、電燈廠の復活に要する補助をして欲しいと皮肉な要求をして來た、東鐵では考究中

公主嶺

人事 ▲飯田博氏（遼陽醫院長）二十六日各所縣訪着任挨拶

長春商業生 軍隊生活研究

長春商業學校四、五年生百四十餘名は二十七日十三時五十一分着の列車にて來公、三十日まで騎兵聯隊に宿泊野外教練並に軍隊生活の研究をなすと

保々田村兩氏來公

前地方部長保々氏と田村氏は退社挨拶のため二十七日午後十一時五十一分着の北行列車で來公した

修養團講習會

公主嶺修養團支部では三十日午後三時から守備隊將校集合所で講習會を開くと

大隈堂長榮轉

公主嶺公學堂長大隈坐次郎氏は今回開原の公學堂に榮轉近く離公するが好堂長として日支人より惜まれてゐる

鐵嶺

國民知識促進會 支部發會式

當地支那側の國民智識促進會支部では今二十九日西關清樂茶園において縣教育會主催の下に支部の創立發會式を擧行し新舊劇音樂歌舞等の餘興もあると

家出少年歸國

既報無斷家出した福岡商業學校二年生北[illegible]久雄（一七）は當地滿鐵計員[illegible]氏が同人の亡姉と知人であつた關係上同氏が預つてゐたが親からの希望により同人にも懇々說諭した結果二十六日溫かい親許に歸つて行つた

新書頒布會

日本現代の中堅書家とも謂ひつべき東京、京都十二書伯の新作品書頒布會では明三十日午前九時より午後六時まで當地滿鐵クラブを會場として展覽會を開催し希望者には抽籤にて頒布する由

篤志看護婦會員の慰問

篤志看護婦人會鐵嶺支部員十餘名は二十七日午後一時赤十字支部事務所に集合して衞戍病院に赴き入院中の傷病兵二十餘名を慰問しレコードや遊戲具などを贈り病院の施設を參觀した

今日の案內（廿九日）

◇陸上競技會 午前十時より小學校々庭において連日猛練習中の選手全部を召集して鐵開四公對抗大競技の前衞戰たる競技會を開催す

◇寶生流初謠會 午後七時より滿鐵クラブにおいて復活第一回の寶生流謠曲初會を開催會員及び入會希望者の出席を希望す

◇山口牧師告別講演會 午前十時半より鐵嶺教會において奉天山口牧師最後の告別講演說教

姙婦を蹴飛ばす

新義州若竹町七番地飲食店の李英子（二五）といふ醉婦人は去る十八日午前一時頃同町十七番地李希根を相手に喧嘩を初めたのを李希根の妾女徐善[illegible]（二〇）が之を見兼ね仲に入り双方をなだめ夫を連れ歸らうとしたところ李英子は生意氣な奴だと矢庭に靴履きのまゝ姙娠六ヶ月の身重の善女の腹部を蹴飛ばした爲め廿五日夜早產嬰兒を死に至らしめた、新義州署に於ては直に加害者李英子を引致し取調中である

鞍山

中等校聯合演習 來一日から三日まで

滿鐵中等學校聯合演習は既報の如く七月一、二日の兩日に亘り守備隊の後援を以て擧行されるが北軍は立山驛附近に、南軍は大石橋南側に一日正午までに集合し、午後一時より戰鬪を開始して夜に入り二日は午前四時より行動を開始し戰備行軍警戒等の演習を行ひ三日午前三時より白兵戰を行つて演習を修了し講評を行ふ豫定である

富永次長歸鞍

製鐵部次長富永能雄氏は大連へ出張中の處二十七日十四時二十二分着急行列車にて歸鞍した

鞍山附近で 檢閱演習 二週間に亘る

奉天步兵第三十三聯隊の檢閱演習は二十九日より向ふ二週間鞍山附近において實施せられるが、同聯隊先發隊は廿六日十一時四十四分着列車にて來鞍、參加人員は約九百名であると

ゴルフ對抗試合 來月六日撫、鞍で

撫順鞍山のゴルフ對抗試合は來月六日擧行せられるが、A組は撫順B組は鞍山にて行ふ豫定である

千秋氏出發

前鞍山製鐵所長千秋寬氏は二十七日十五時九分發急行にて家族同伴離鞍したが、驛頭には富永次長始め所員多數、松木署長、間野院長、加藤區會長、實業青年團、老人會等其他官民三百數十名が見送つた尚同氏は離鞍に際し濟生會小中學校軍人後援會、更生會、神社、修養團等に金八百圓を寄附したと

立山元郵便局入札

立山附屬地驛前元郵便局木造平家建一棟卅一坪三四は七月七日午前十一時より鞍山地方事務所經理係において公入札の上賣却、入札希望者は經理係に申込まれたし

安東

州外中等校野外演習參加 安中生卅日出發

滿鐵地方部主催の州外中等學校並に守備隊聯合野外演習は七月初旬鞍山、千山附近において擧行の筈で演習地帶實地調査に赴いた阿久刀川安東中學校教諭は二十五日歸校と同時に諸般の準備を整へ來る三十日安東發演習地に向ふ事となつた、參加者は安中四、五年生九十名、監督者は阿久刀川大尉、柴田特務曹長、伊東校長、辛島、緒方教諭及び宮原經理の六氏であると

篠田實 沿線巡業日程

瓦房店 廿日　奉天 廿一日 廿二日
撫順 廿三日 廿四日　營口 廿五日
鞍山 廿六日　遼陽 廿七日
長春 廿八日 廿九日　哈爾賓 卅日 一日
四平街 二日　開原 三日
鐵嶺 四日　本溪湖 五日
安東 六日 七日

新義州木材商 組合賃銀値下

木材界の不況に際し新義州木材商組合は屢々會合し對策を講究してゐたが其の一方法として製材職業員の賃金を一割方引下げるべく決議をなし二十六日より實施した

小坂拓務次官 多獅島を視察

[illegible]務次官は二十六日午前十時鐵道ホテルを發し自動車にて道廳に向つたが、道廳玄關前にて各課長以上高等官の堵列出迎へを受けて知事應接室に入り管內狀況の報告を聽取し營林署視察の豫定を變更し營林署より事業概況の報告をも聽取したので引續き伊藤營林署長の案內にて一行五臺の自動車に分乘し多獅島視察に向つた

かくて午前十時三十分三橋川を渡り午後零時二十分多獅島到着、同一時四十分までに視察並に中食を濟ませたる上多獅島出發、二時四十分龍岩浦着、約三十分間視察三時十分龍岩浦を發し四時半新義州に歸着直に公會堂の官民合同歡迎會に臨んだ

開原

◯馬賊の頭目逮捕さる

伊通縣沙河子の畠岡炭礦を根據とし畠岡、開原、伊通の三縣下に亘り暴威を逞しくして居た馬賊頭目劉大舌頭或は劉占山と稱する遼寧省太溪湖石欄子住所不定劉海山（二〇）は目下部下三十餘名を擁し大頭目唐小六子と氣脈を通じ人質拉去、殺人强盜等を行ひつゝあつたが、二十七日午前八時五十三分第二十八列車に馬蓮河驛より三人連にて撫順へ向け乘車せるを同地派出所よりの電話により本署にては直ちに沿線各署に手配し中固驛において劉海山を車中に逮捕し本署に引致目下嚴重取調中であると尚同行者二名は鐵嶺署に引致されたと

庭球紅白試合 廿九日滿鐵で

滿鐵運動會開原支部庭球部にては二十九日滿鐵コートにおいて紅白庭球試合を擧行すると

神社常任會計更迭

開原神社常任會計幹事遠藤氏辭任につき後任に地方事務所經理主任中野常春氏を委囑したと

周孫家臺公安分局長榮轉

開原縣小孫家臺公安分局長周宇文氏は今般金川縣公安局長に榮轉し二十七日出發赴任せるが後任に就いては運動激烈のため尹開原縣公安局長は省當局に其選定方を申請中なりと

井上驛長出發

井上安東驛長一家は二十七日十一時發列車にて日支官民驛員其他の見送りを受け赴任した

新舊驛長挨拶

新任開原驛長利光正路、前驛長井上芳雄兩氏は同道にて廿六日新任並びに離開の挨拶に各方面を歷訪

井上氏の寄附

[illegible]

吾等の町を語る 旅順

外國人を誘致せよ 物價や關稅の低下も必要 那須梅吉氏談

旅順 今日の發展は自然でせう、國防の見地とかソンナ專門的な事はアマリ判りませんが、旅[illegible]

其他 の發展策については種々と理論もありますが、可能性を[illegible]を撤廢するか、少くとも現在の規則を大いに緩和して人口の增加を圖る事が一番と思ひます、人口さへ增加すれば種々な事業も勃興し問題は總てが解決されると信じる、近頃大分旅順大連間の接近を促して來ましたが未だ／＼今日の如き狀態では駄目です、◇

[illegible]が外國人に對し土地の租借權を與へぬ方針を執つてゐる事は一寸研究すべき問題だと思ひます、資本の少ない日本人が如何に焦つても結局何にもならない事で、寧ろ信用ある外國人なら開放してやつた方が却つて好くはないでせうか現に十萬圓の投資をして旅順に住み度いと云ふ外人もあるが、此の外人の云ふ處に依ると、自分だけでも三家族は旅順に永住するので[illegible]する者も出來ると話して居つた、夏から秋にかけて來る母國の見學團が來て落す金も結構ですが、外國人の多數が永住して旅順市に落す金はヨリ以上の額に上り各方面を潤はす事も多いと思ひます、◇

第二 に旅順の物價を安くする事も必要です、それには現在の制度が惡い、理由は白菜一つでも持つて來い、金拂は慢々的、最後には金を呉れない、此の制度を改めない內は物價の低下は望まれないと思ひます、關稅をモット安くして生產品の勃興を促す事も必要です、現在のやうな有樣では致方がありません、一昨年から見ると約三倍の高率を示してゐる今日では、到底新興事業の出現は困難と思ひます（寫眞は那須氏）

金が降つた昔話 夢のやうな好景氣 岡野武市氏談

卅八 年頃は、どだい滿洲に行つたら金が腐るやうに降つてゐると云ふので、死んだ家內のお秀とスタンダードに雇はれて來たのが三十八年の二月二十一日でしたよ私が丁度二十三の時で、着いたのが秦皇島、それから山海關まで汽車に乘つて更に天津まで來たが[illegible]成らなかつた、互に抱き合つて毛布から風呂敷まで頭から引つかぶつたやうな始末でした、兎に角すぐ旅順には上陸出來ず、芝罘からなら出來ると云ふので同地に五日間滯在し、漸く便船を得て上陸したのが[illegible]だつた、それから當時[illegible]

使は れてゐる若い者も多勢であつたが、寢飯にはビールの一打位は御茶の替りに空けられる、暇があつたら藤八拳を打つて、それで六七十圓の金はいつも懷中に出入してゐた、その時に二龍と云ふ醫者が居たが一ケ月の祝儀だけで千圓宛貰つてゐた、賣揚は八百圓內外でしたよ、それが移り變つて今日此頃の不景氣、いろ／＼の理由があるでせうが、一つは世間が進んだためもあるでせう、然し今日のやうにドン底の不景氣になるとは思はなんだ、何と云つても現在より惡くはなるまいと思ふ、見込んで住んだ旅順ですからどんなになつても大に戰ふつもりですよ今後の旅順――さうですネ、遊覽地とするのが一番だと思ひます マア私共の來た當時のやうに、家內なんかが襲衣に着替る時帶をほどくと、バラ／＼銀苦茶の札が落ちるやうな時代は二度とありません[illegible]

皇后先づ範を— 英の綿製品週間

全國の同情と理解を獲得して大成功裡に了る

積極的な宣傳

イギリスでは去る五月五日から十一日までを「綿製品週間」とし綿業者は全國的の大宣傳をやつた、都市の小賣店ではウヰンドウに綿製品を飾り立て、一般消費者、殊に婦人の注意を喚起するに努めた、新聞も赤盛にそれを書いた、綿業者は廣告にポスターに、聲を限りと訴へた。

擧國の後援

國を擧げての大騷である、イギリスの綿業者が大同團結し、各部門協力一致して計畫した仕事である、全産業總動員の大宣傳である、こんな事は今まで例のない事である、それに新聞が加勢をしてゐる新聞は擴聲機である、これを通じて社會に訴へる時は大衆が躍り出す、けれどもイギリスの國民は綿業者の吹く笛につれて徒らに躍つたのではない、綿業はイギリス最大の輸出工業である、その重要な産業が近年衰退し、何十萬といふ失業群を出してゐる、これはイギリス全國民の最大關心事である、この國民的憂慮が凝りかたまつて「コットン・ウヰーク」となり、そして此の全國民的な後援となつたのである。

先づ皇室から

その結果はどうであつたか、皇后陛下が先づヴオイル其他數々の生地を御買上げになつた、そして本年の夏は綿製品を御着用になると御沙汰があり、御買上げの生地を用ゐてドレスを御作らせになるとか傳へられてゐる、ランカシアの喜びは一方でない、新聞には御買上げになつた綿布の寫眞が出る皇室の御示しになつた御手本に從つて、綿製品愛用のトップを切つたのは下院に議席を有する婦人代議士達である「綿製品週間」中彼女等は綿服着用で議會に出席したこれが又大評判になつて、新聞が書き立てる。斯うなると世間の人々は綿製品にあつまり、あらゆる階級の人々が競つて綿製の衣服を着る、綿服を持ち合せない貴婦人達は急いで新調するといふ騒ぎである、流行の尖端をゆく女優たちもわれ劣らじと綿製のドレスを着飾つて、新聞紙上に寫眞を掲げて貰つた。

五ツの理由

綿製品を安物であり、低級品と心得てゐたイギリス人はすつかり驚いてしまつた、いつの間にこんなに技術が進んだものか、原料はコットンでも藝術的な高級品がいくらでも出來るやうになつてゐるそして千種萬別、好きなものがある、或る店では五つの理由を掲げて大に綿製品を買ふべしと宣傳した

第一は「持ちがよい」
第二は「洗ひがきく」
第三は「縮まない」
第四は「安い」
第五は「失業者を少くする」

といふのである。

日本も受難期

勿論、イギリス内地で需要が増したとてランカシアにとり大した助けとはならないけれども、全國民に綿業の苦悶を訴へ、その理解と同情と後援とを求めたのは、決して無意義なことではあるまい、日本の綿業も受難期に入つてゐる、そして今日「加工品へ、高級品へ」と進まんとしてゐる、日本の綿業者も國民的後援を求むべきではないか。

ー新刊批評ー

▲ソヴェート・ロシヤ文學の展望(ペ・エス・コガン著、黒田辰男譯)原著者は現代ロシヤが持つ文學史家の第一人者で本著は彼の類書中でも最近のものであり彼の傑作の一つに數へられるものである、著者は本著においてその以前の作「現代の文學」「我々の文學的論爭」「プロレタリア文學論」「文學に於ける赤衛軍」等々について檢討せられた諸現象を再檢討し新しい幾多の事實を補充してゐる、即ちかの有名なる十月革命以後のロシヤ文學を二期に分つて素晴らしいその發展を講述してゐる、著者はその第一期の本質を——文學を革命の仕事への的文學觀からの解放のための闘爭、時間と空間を外にして發展し行きつゝある藝術のための藝術の理論、さうしたもの殘存物に對する闘爭であつた——とし第二期の本質を——文學の社會的意義が總ての人々に容認され闘爭は文學を上層機構と認める認めないの闘爭でなくなり、文學のグループはお互にプロレタリアートの欲求であり武器であらうとする名譽を爭ふ——ものであるとして、この本論を進めてゐる、即ち「十月」の前夜、プロレタリア文學、同伴者文學の三章に分ち最近十年間の文學界をソウエート人の立場から明らかにしてゐる(四六版三百二十一頁定價一圓東京麹町區四番町叢文閣發行)

哈市のプロフヰル (三)

これは又拔目ない 更紗の宣傳賣出

▽…コムらしくない官僚商内

洋服の切地もない、更紗の着替へすらつくることのできない、白パンの喰へないソウエート聯邦だと人は言ふが、全聯邦織物シンヂケートは世界的有名なロシヤ更紗の支那市場開拓のために、超スピードの宣傳振りである

◇

露支紛爭の際は一時閉居して本國に引揚げてゐたが、既に堂々と店舗をキタイスカヤ街マカジナヤ街の角の舊趾で新陣容を整へての躍進

◇

白地夏物の更紗が賑い店頭の陳列棚一面にギッシリ積まれてゐる、最近ダリバンクから百萬圓の資金を得て本國から豐富な品物を取寄せたが、自國民は着なくても他國人に新らしいものを着せよとのコム思想から打算した結果であるのかどうかは別だが、賣子は全部支那店員が其の衝に當つてゐる、「國家直營の貿易だ」——臺所は日の丸ぢやない赤勞農旗だから心配することはないのだらう、店員の官吏風な不愛想な態度、支那商人としては全く問題にならないものばかり、うちの一人、老頭兒が店員は五十名はゐる、品物は一日平均どれ程賣れるか判らない、一ケ月三千疋もあれば一萬疋も賣れることもある、一麻袋三十疋が一梱だ、小賣は勿論一切しない、哈大洋票の暴落で賣足が遠いかつて——サア、建値は日本金だから別に關係はないと説明するチヨルオネツツを使用せず圓金を本位として取引をしてゐる處が不思議だその根源を洗へば資金は圓金であるかも知れない

◇

ソウエートの五ケ年計畫の産業革命の尖端を走つてゐるのが紡織シンヂゲートであらう、舊帝政時代のアルシン尺度制は革命によつてメートル制に改められ舊い人間の頭に無理な計算を注入してゐるが、長さはメートルであるも幅は矢張り舊帝政のアルシン物ばかりである、これから觀測しても製織機は舊型の機物を使用してゐることが判る

◇

其の長さのメートル建が又ニイチエボ式、三三米半、二五米二、五五米三、等々一疋として幾尺の揃ふたものがない、これではメートルに馴れない支那商人は計算に惱まされるだらう、この點は逆比例式のマイナス、ピードではある値段は大體において一米が金十七、八錢から十二、三錢、這にロシヤ式な更紗模樣もあるが粗製品が多い、豆の漏れさうな品もある捺染式に藥品が少し異ふ位ゐがロシヤ更紗としての眞生命であらうが、所々に斑點があり色合が變つたところもあるのだから、粗製品で有名な本邦品に比べて遜色のないことは保證ができる

◇

階下の販賣は全部支那店員に委任し階上にはソウエート代表者が盛んにタイプライターのキーを叩いてゐる、電話が飛ぶ急がしいこと、だが「インタービユーは通商代表のところで總括してゐるから此處では話せない」との挨拶であつた、ソウエート國營機關の元締は通商代表が統制管理することに紛爭後改められたのであつた

◇

一米二十錢で仕入れた更紗が、秋林其他の商店へ卸入すると一ヤード(二尺四寸)又は一アルシン(一尺七寸)の建値に變り、値段は一米を基本にした卸値で今大洋票換算に改められて消費者の手に渡つて行くのである、コンメルサントは一米で約二割方の餘剩價値を得てゐる譯である(ハルビン特信)

感謝と勤勉

ガンヂー氏の獄中記

五月五日未明突如アミユラム・カラチの天幕からボンベイ州警察局の手により一八二七年ボンベイ州治安條例第廿七條で「國家の都合上」プーナ郊外のエラウダ中央刑務所に投獄された非軍事不服從抗爭の指導者モハンダス・カラムチヤンド・ガンヂー氏の其後の消息は、デーリー・ヘラルド記者ジョージ・スロコブ氏の會見記の他殆ど全く杜絶えて居たが、最近獄中からアーメダバッド・アシユラムの留守を預かつて居るスレード嬢に宛てた左の如き聖雄の手紙が發表された

「私は久しい以前から望んで居た休養が出來るので現在の獄中生活を至極幸福だ、夜は涼しいが時に許を得て蒼空の眞下にねて居る、獄裡の睡眠で大いに英氣を養ふことが出來さうだ、獄中では出來るだけチヤーカ(紡ぎ車)に親んで居るが相變らず仕事はのろい、一時間三十封度も紡げない位だ、最初入獄した日には殆ど七時間紡ぎ車を廻したがそれでも漸く百六十封度だ、もう少し早く

仕事が

出來るやうになりたいと思つてゐる、身體工合は申分ない、朝はアシユラムの規定時間(午前四時)に起る、明りも貰へるのでアシユラムの通り聖典も讀める、段々疲れも直つて來るやうだ、朝八時から十二時までは規則正しく休養することゝし、その内二三時間の睡眠をとる、行軍中はオレンヂを止めて居たがこゝへ來てから又食べ出した、最近入獄の日には山羊の乳を飲んだが、その後ズット續けて一日三封度づゝ飲むことにして居る、或は少し山羊乳の分量を減らし凝乳にして

飲む方

がいゝかも知れない朝起きると先づ冷水を飲むことにしてゐる、湯を作る設備もあるが冷水で身體がほてるのに態々あつくする必要はない、又蜂蜜も止めた、山羊の乳を搾るのは自分の目の前でするのだから乳の純良なことは疑ひがない、食器を洗つたりその他掃除萬端の爲め時に人を一人附けて呉れた、食物については決して心配して呉れるな」

ガンヂー氏は更に夫人にも手紙を出して居るが、時に神の加護に對する氏の深い信念を吐露してから書送つて居る

姉妹に

「自分が逮捕の前夜お前を始め多數の姉妹に會へたのは何と有難いことだらう、あの晩お前の宿所まで同行し得たことは實に嬉しい次第だ、神の惠みは恰も天から降る慈雨のやうに我々に降り注がれるのだ、お前達は決して神經過敏になつたり氣を腐らしてはならぬ」

ガンヂー氏は四月九日煽動罪の廉で一ケ年の重禁錮に處された令息ダヴイダス・ガンヂー氏にも書翰を與へ

「父はその許が今何處に居るか知る由もないが、天に在す神が我々を護つて下さるからお互のことで氣をつかはぬやうにしよう」

と美しい父としての愛情を披瀝して居る

探偵小説 女妖 (128)

江戸川亂歩作
横溝正史
伊藤幾久造畫

奔馬 (五)

綾小路浪子が今非常な危難に遭遇したと聞かされて、由良子は氣も顚倒するばかりの思ひであつた

「さあ、早くあたしを其の場所へ連れて行つて下さい。早く、早く!」

彼女は相手の男が馬車に乘るのも待ちきれないでさう言ふのであつた。

「一體、何處でそんな事が起つたのです?誰もその場に居合せなかつたのですか」

「公園の側なんです。どうしたはづみか、浪子さんが馬車に乘ると急に馬が暴れ出して……何しろ急な事ですから、誰も手を出す事が出來なかつたのです」

由良子は胸をわくわくさせながらその話を聞いてゐた。浪子は何んと言つても彼女にとつては恩人である。幾度か彼女によつて由良子は救はれて來た。殊に最近、あの春日邸で起つた殺人事件——それに關して、彼女は誰よりも肩身の狹い思ひをしなければならなかつた。たつた一夜の宿のために彼女は恐ろしい疑惑の中心に立たねばならなかつた。さうした場合にも、親身になつて彼女を救ふために奔走してくれたのは、他ならぬ浪子であつた。

さうして主人の居なくなつた春日邸から、何處へ行く事も出來なくなつた彼女を、又昔の優しい心を以て迎へてくれたのは、綾小路浪子に他ならなかつた。

「あゝ、神樣、何事も起つてゐませぬやうに浪子さまが御無事でゐらせられますやうに」

由良子はそれきり默りこんで、たゞひたすら前方のみを見つめてゐる。その顏はめつきりと窶れはて蒼白んだ頰には、昔のやうな色艶は全く見られなかつた。僅か數ケ月の歳月だつたけれど最近の苦惱はすつかりと彼女の健康を奪つて了つてゐた。

やがて馬車は公園の側の通りまでやつて來た。見ると所々に三々五々集つて何事かを語り合つてゐる。それを見ると、由良子は早くも不吉な思ひに胸を慄はせた。

「何て、お前さん、知らねェんですかつて」

馭者の問ひに對して、直ぐそれ等のうちの一人が答へた。

「何しろ大變でさ。まア、もう少し向ふへ行つて見な。馬は首根つこを折つて死んで了つてゐるよ。ええ、乘つてゐた人達かね。さアどうせあの樣子ぢや助からねえに違ひねえよ」

「まア!」

由良子は息を嚥みこむと、今にも氣が遠くなりさうだつた。

「どうしやう。あたし、どうしやう」

彼女は胸の前で腕を組み合せて叫んだ。

公園通の曲り角までくると、そこには慘憺たる光景があつた。馬車はもう木端微塵に碎けとび、馬が長くなつて横たはつてゐた。その皮は破れ、白い脚の骨が生々しく見えた。

由良子はそれを見ると急いで馬車から飛び下りた。

「浪子さんは?浪子さんは?」

その聲を聞きつけて、浪子の馭者がびつこを曳きながら、蒼白い顏を出した。彼は不思議にも、この大慘事に、脚の骨を折つただけで助かつたのだ。

「あゝ、お孃さま、大變なことが出來まして……」

彼は如何にも自分の粗忽を詫るやうに低い聲で言つた。

「浪さんは?浪子さんはどうなすつて?」

「奧樣は、今、直ぐそこの病院へお連れ申しました。お氣は確かです、然し然し、あの大怪我では……」

「そして、あの小夏ちやんは……?」

「あゝ、あの小さいお孃さま……」と言ひかけたが、彼は思はず顏を外らして言葉を濁して了つた。

家庭

教育者の見た 國産品愛用奬勵

兒童は悉く 國産品の愛用者ばかり

柿野南山麓小學校長（A）と記者（B）との對話

現内閣が我國焦眉の經濟難局打開策として輸出の奬勵のためには産業の合理化を勸め、輸入の防止については國産品愛用の勵行を國民に慫慂してゐるが、文部省では過般來全國の各學校に通牒を發して學用品の國産使用及兒童を通じての國産愛用奬勵につとめてゐるが、之につき南山麓小學校に柿野校長を訪ねて意見を訊いて見る

B、文部省が學用品の國産品使用及び兒童生徒を通じての國産愛用奬勵に大いに勸めてゐるやうですが、兒童の學用品を調査した結果はどうでしたか

A、學用品として外國品を使つてゐるのは一人もありません

B、兒童は國産品だとか外國品だとかいふことについては案外無關心でせうね

A、何も考へてゐないでせう、何しろ兒童の使用してゐる學用品といつたところでそれはいづれも極めて安價なものではあり、大部分は學校の賣店で取扱つてゐるものですから兒童の學用品については特に國産品を奬勵しなければならないといふやうな必要はないやうです

B、さうなると、國産奬勵についての學校の仕事は兒童を通じて家庭へ呼びかけるの一途が殘されるわけですね

A、結局さうなります、これについてはいづれ校長會などで打合せをした上奬勵の方法を講ずることにならうと思ひます

B、國産品使用についてはいろいろ意見があるやうですが之を家庭經濟或は個人經濟から見ると國産品であらうが、外國品であらうがとにかく品質がよくて値段も安いものを買ふといふことになるのが自然だと思ひますね

それで結局は、品質がよくて値も安いといふ國産品が出來るやうにならなければ國産品愛用といふことゝはほんとうに徹底しないと思ひますがこの點について御意見は如何です

A、個人的立場から見ると私もさう思ひます、しかし私は教育的立場からこんな風に考へてゐます、つまり現政府が國産品の愛用を奬勵する所以のものは年々超過に超過を重ねつゝある輸入超過にあるのであるから國の財貨を外國に流出せしめないといふ趣旨から見て、國民は個人の經濟に多少の犧牲を拂つてもつとめて國産品を愛用するやうにしなければならないと考へてゐます

B、つまり多少品質が惡くとも値段は高くとも國産品を使用するといふことですね

A、さうです、これは個人經濟の立場から見ると如何にも矛盾してゐるやうですが一歩退いて之を國家的に見るとそれは國策の精神と全く一致すると思ひます

B、その論旨をそのまゝ實行することは事實に於て不可能ではありませうが、一面經濟の相關々係から見て、國民が全然外國品を使用せず專ら國産品を使用するとなれば・結局國産品に對する需要が増加することゝなり、需要が増加すれば生産者も大量生産が出來るから値段も安くなり、それと同時に資金も潤澤になるから設備も完全して品質の優良なものが出來るやうになるといふやうに我國の生産業が相關的に進歩發達するとも考へられますね

A、さうです、さういふ風に考へたいのです、そして結局は我國民の要する事物は悉く我國内で産出されるといふやうになることが理想です、勿論之をそのまゝ實現させることはむづかしいことであるかもしれません、しかし、出來るだけこの理想に近づくやう努力を怠つてはならないと思ひます（寫眞は柿野校長）

完全に消化されるものは よい食物でない

不消化物は腸の蠕動を助ける

▼…吾々の食べ物はすべて消化の良いものでなければいけないと云はれて居りますが若し食物のすべてが消化してしまふものとするなら好ましくない現象を呈する、それは腸の蠕動力を弱くするからであります。元來食物が先づ胃で消化されて腸へ下つて來ると腸はその縱横斜也の筋肉層が刺戟を受けて蠕動を初めます、此の蠕動によつて

▼…食物が押し進められて肛門の方へ行くのですが、蠕動の力が弱い場合は排便か工合良くゆかないため何時までも腸内につかへて居ります、つまり便秘を起すのであります、それで食物中には適度の不消化分を含んでゐる必要があります、此の蠕動を助ける爲めの不消化分としては植物性の食物が最もよくなほ蠕動を助ける爲めには大腸菌その他の細菌によつて發生する瓦斯も良い結果を與へます、大腸菌は時に害を及ぼするがあるが一方右の樣に間接な益を與へてゐます

スピード漫畫

M奧さんは此の燒けつくやうな眞夏に、しかも生れたばかりの乳兒があるにもかゝわらず、何時訪ねても帶をキチンとお太鼓にしめてゐるのは感心だつた、感心と言ふよりも寧ろ不思議だつた。

麻布の涼しい感觸

◇洗濯の仕方

麻類の着物 はすべて身體を冷すので、特に御婦人にはよろしくないなどと云はれたものでありますがそれは身體にさわる程冷す譯のものでなく、夏の暑い時分としては當然その方が良い事は云ふまでもありません、何故麻布が身體を冷すかと申しますと、麻の纖維は熱をよく傳達するからであります、その上麻の性質として、さらさらして居りますから感觸から言つてもまさ夏向きと云はねばなりません、麻の類と云つても、

普通の麻も あり、最近流行の絹麻あるひはリンネルなどは何れも夏向きとして相應しい布とされて居ります、絹麻は一寸絹のやうでゐて肌ざわりがさらりとして麻の本質を失つてゐないし、なほ揉み洗ひしても毛羽がたたずぼやけもせぬのが特徴であります、リンネルは亞麻製で、一名リンネルとも呼びます、やはり普通の麻や絹麻と同じ樣な特徴を持つて居りますが、これはもつと丈夫です、麻類は他の布と違つて汚れが少いので大へん便利です、

洗濯の場合 には暫く水に浸して置いてから濯いだ丈けでもきれいになります、そして絞らずにその儘乾かすのです、乾いてから霧を吹いてアイロンをかけるか壓しをして置けば新しいものゝ樣に美しくなります、なほ着た後では霧を吹いてしめりを與へ、壓をかけて置くと着くづれがする樣な事がありません

童謠 あこがれ

春木和夫

夢のお國は
海越えた
遠い南の
椰子の島。

木蔭にいこふ
姫さまの
長いもすそが
いとしうて。

今日も一日
片岡の
芝生の上に
おもふこと。

―眞白な雲に
のれたなら
もしも翼が
あつたなら、
あこがれ遠い
椰子島に
空をかけても
行かうもの―。

あゝ雲がゆく
はるばると
裏のお山の
空遠く……。

◇……初夏の涼味……◇

家族本位の海水浴場

滿鐵地方課が星ケ浦に開設

海のなつかしいシーズンになつて逸早くも滿鐵地方課では昨二十八日から昨年同樣星ケ浦の溫泉停留所前に一般海水浴客のため家族會館を開設した、此の星ケ浦家族會館は、滿鐵地方課が一般社會施設中の保健施設として、昨年の夏期中開設したもので場所は廣く、建物は宏壯で、眺望佳く、電車の便もよいので昨年は大いに好評を博した、本年は更に一般休憩室の改造と、宿泊室の改造を爲し、前年よりは一層利用者の便を計ることになつてゐるさうである。

星ケ浦電車西門停留所で下車すると、直ぐ其前が家族會館である。居ながらにして油繪のやうな海の眺め、腹一杯清澄な空氣を呼吸することが出來る。

……家族會館の目的は大連……

に居住する一般市民及沿線社員に其家族の健康に留意し、或は海水浴、或は海岸を逍遙し、清澄なる郊外の海氣を味得しやうとする者の爲めに休憩所として之を開設し、家族團欒の趣味を享受せしめんとしたもので一般休憩利用者のために階上日本間三十六疊、同二十疊、同十二疊、洋室、ベランダ、階下洋室が開放されてゐる、日本間は涼しい衝立の備立で仕切るやうになつてゐるから、家族は一團となつて遠慮なく打寛ぐことも出來、洋室には安樂椅子や肘掛椅子があり、ベランダには大人用藤椅子、兒童用の藤椅子等心地よき設備がしてある、尚その他

……沿線社員家族のために……

宿泊の設備がある。宿泊室は全部日本間で、四疊一間、八疊三間、十四疊一間の外に豫備室があつて沿線家族の希望者が宿泊の出來るやうになつてゐる。それから一般利用者の爲に階上、階下に湯呑場が設備してあつて無料で供給する又清涼飲料水の館内販賣もするが酒類は一切取扱はないさうである、尚食事は宿泊者のために安價で美味な定食を供する外、一般利用者の爲めにも簡易な食事を準備する。食費は三食で金八十錢（朝二十錢、晝三十錢、晩三十錢）當分の内自炊の設備はしないことになつてゐる。

……一般休憩利用者のため……

には、清楚な男女別浴場の設備がある。沿線の社員家族のためには別に氣持のよい浴場の設備があり館内には巡回文庫、雜誌、新聞等の備へ付けがしてある外、活動寫眞、蓄音機、自働ピアノ、碁、將棋等の娛樂設備もある、それから海岸又は公園内で遊ぶ者のために希望に依つては茣蓙を貸す、又兒童にはバケツ、シャベル、浮き袋等を無料で借りることが出來る。

……一般休憩者の入館料と……

しては大人金十錢、小人金五錢五歳以下は無料である。又居室に餘裕ある場合は料金の定むる所に依り、專用利用の希望に應じ、五歳未滿は無料である。宿泊者は夜具を持參することになつてゐるが、館内備へ付けの寢具を借りることも出來る。寢具は來客毎に洗濯した清潔な被布を使用する故、極めて清潔である。使用料金は一日一組（敷布團、掛毛布各一枚、枕一個）金二十錢、蚊帳は金五錢である、宿泊申込は沿線社員並に同家族宿泊希望者は所屬氏名、續柄、男女別年齡等を記載し、滿鐵地方課に申込めば申込順に許可することになつてゐる。

▽大島義昌大將銅像

その頃を語る

關東總督府は大連にか旅順にか

繁昌の中心は磐城町、岩代町 二十五年前の回顧

遼東新報の初號發刊は明治三十八年十月廿五日である、但毎週二回發行といふのであつた、第一號は本日本紙十頁として號外に

本紙創業の際編輯庶務共に不行屆勝にて大方の御容赦に背き候段平に御宥恕希上候次號よりは漸々整頓可仕候に付左樣御承知被成下度候

としてある。當時はまだ軍政が布かれて居り滿洲軍總司令官は侯爵大山巖、關東洲（當時は洲の字を用ゆ）民政署民政長官が今の臺灣總督石塚英藏氏であつた。

新聞紙は何といふても遼東新報が滿洲で最初の邦字新聞、舊五號活字十九字詰め七段といふ今日から觀れば頗る時代ばなれのしたものでロンドン電報、東京電報の二種を聯ね、第一號の東京電報のうちには二號活字で東郷大將の凱旋といふ見出しの傍に（十月廿二日發）とあり本文は

今朝十時半東郷大將以下凱旋す「プラットホーム」より二重橋に掛け官私團體及個人の歡迎者堵の如く萬歳の聲は鯨波を爲して雲表に響く

とあり、大山元帥の凱旋については二十一日の電報として

滿洲軍總司令官凱旋入京に際し上陸する港灣には帝國軍艦を在泊せしめ其先任指揮官は之に對し禮砲を行ふ一九發

公布式

この遼東新報が十月二十五日づけを以て與令第五號により關東州における公布式と定められた。

民政に關し滿洲軍總司令官の發する命令及關東州民政署民政長官の發する命令は遼東新報に掲載するを以て公布式と定む

遼東新報社の社主は末永純一郎で發行兼編輯人であり印刷人は淺野外吉といふ人であつた。一ケ月前金四十錢、一部金五錢、廣告料は十九字詰一行に付、普通金五十錢

五番戸に本社があり、旅順三笠町廿二番戸に旅順出張所、遼陽停車場内に遼陽出張所があつた。末永社主は「首途の一言」と題し約一段にわたり所懷を述べ新聞經營の抱負を披瀝してゐる。すなはち

戰ひの幕一たび落ち平和の舞臺は茲に開かれたり。同胞の血を以て染め得たる遼東半島の地は再び、故主の手裡に還りぬ、山河靈あらば久濶を叙しなん、天地情あらば健在を祝すべし。

頭しもあれ、我が遼東新報は滿腹の經綸と多大の期待とを抱いて、大連の一角に崛起しぬ、自ら以爲らく、新聞紙は文化の宣臘使なり、開明の傳道者なり、文明の精神を扶植せんとせば、新聞紙に依らざるべからず社會の實務を知覺せんと欲する者は新聞紙に來らざるべからず。此故に文明の存在する所、一日も新聞紙なかるべからず、新聞紙の成立せる所、片時も文明の缺乏を容さんや。

新聞紙は或意味に於て一種の神權なり、而して之に從事する新聞記者は一種の天職なる哉。新聞社其物に至りては直ちに一種の階級なり、吾人豈自ら高く標置せんや、社會の進歩は吾人の理想を實現して此極に至らしめんとせり、吾人安んぞ黽勉自彊以て大勢に追陪せんことを期せざらんや。

……

然り、雖も憤るべくして憤り、喜ぶべくして喜び、悲しむべくして悲み、笑ふべくして笑ふは直情徑行の人之を爲す、吾人も亦實に之を欲す。奈何せん感情の激する所は、往々にして理性の向ふ所と背馳す、是れ吾人の最も愼戒を要する所、幸にして遼東の地未だ内地の自由なるが如く自由ならざるなり、特に或範圍内に於ける言論の檢束は時勢の止むを得ざるものある點、爲めに吾人をして奔放自在なる能はざらしむ、吾人は須らく此間に於て修養自存する所あるべきを期す、世の吾人を知るもの庶幾くは以て諒とせん哉。

なる能はざるべきを告白し、最後に至つて、

吾人は茲に吾人の所志と境遇とを言明するに方り、肅然として敬意を致し、恭しく謝意を表せざるを得ざるものあり。各種事業中に在りて、新聞事業は最も困難なるものゝ一に算せらるゝに拘らず、吾人をして其今日初一歩を踏ましむるに至らしめたる、深厚なる諸君の同情と、剴切なる注意則ち是なり、想ふに新聞事業の困難は、尚ほ多く今日以後に在るべし、山の如き諸君の高義、火の如き諸君の熱情以て吾人を啓發し、以て吾人を提撕するにあらずんば、恐らくは吾人の堪ふる能はざるものあらん、諸君冀くは高誉を愛しむ勿らんことを。

終に臨んで本紙發刊に際し、祝詞祝文並物品等を寄贈せられたる諸君の好意に對し茲に謹んで滿腔の謝意を致す。

大觀小觀

當初は「茶の烟」といふ欄があつた後に「砂けぶり」となつたものであらうが今日の「大觀小觀」すなはち短評をモノしたもの、第一號には

此度の戰爭に付大阪商界は副食物其他物資の買上のため九州地方は石炭騰貴のため等にて大繁昌を極めたが關東地方は戰爭の餘澤に與ら無かつた所から非常に不景氣に苦んだとのことだ、△所がコンナ餘惠や餘澤は別問題として茲に戰爭の爲め直接大損害を蒙つた者が居る夫れは誰かと云へば戰爭際迄浦鹽滿洲遼東の各所に居住した吾同胞である

と宣戰布告と周章狼狽、取るものも取り敢ず引揚げた人達の氣の毒な狀況を述べてゐる。「御紹介致します」といふ今日の「滿日案内」といつたものは「一件錢五十錢三行以内とす」といふので

△男子雇はれたし、男年三十歳通高等教育を受け文筆相應品行缺點なし相當の會社商店で雇入れ希望（姓名在社）

とあつて當時は東洋の風雲を望んで雄飛せんものと相當の元氣者、しかも筆も立ち辯舌もあり腕も利くといふやうな國士先生が職を求めて來たものらしい。D讀者の氣焰（私怨を報ふな、誹毀に亘るな、嘘を吐くな、冗漫に流れるな）の欄中には

眞正なる市民の利害を代表する居留民會の組織たきは大連市民の大恥辱ならずや（憤慨生）△市場のチャン／＼は實に失敬です女のお客を見ればホーホーデとかサイコ／＼とかチャンの癖に生意氣千萬見當り次第抛り飛ばすぞ（江戸ッ子）△大連の藝者さんモ少し三味の稽古をしなさい（前線子）△女は比較的美しいが値も滅法高いが鶴屋で女は多いが言葉の分らんのが芙蓉館で日本料理と來たら矢ッ張扇芳亭でせう、尤も食ふ一方なら支那料理屋に限るよ（極堂生）△一日も早く小包郵便の便利を得たいものです（磐城町松田生）商品陳列館は何日から始まるのですか敎へて下さい（若闘子）

連鎖商店が出來たり大連郵便局が新築されたりした今日から回顧すれば二十五年の昔も全く今昔の感に堪へぬものがある。

當時の物價

當時大連市物價なるものを示せば

日用品小賣値段

品目	單位	値段
米（日本精米上）	一斗	金二圓
木炭	一貫目	十八錢
石炭	百斤	一圓
牛肉	一斤	二十五錢
豚肉	一斤	二十二錢
清酒（灘製上物）	一斗	四圓五十錢
醤油（日本製上）	同	三圓
白菜	一斤	一錢五厘
玉葱	同	五錢
煙草（官製紙捲煙草）朝日		五錢
同 チエリー		四錢
同 リリー		三錢五厘

明治三十八年當時における大連市繁昌の中心は何の邊といへば次の如き記事が踏張生記のうちに出てゐる。

繁昌の中心は磐城公園の内外、其之に次ぐは吉野町附近ならん店の偉大な所から見れば鶴屋、芙蓉館、扇芳亭を第一流とし、二流には研屋ホテル、日の出館、萬華、三筋庵あり、三流の雄なるものは水晶館、井筒礎等なるべし以上は何れも抱へ藝者なる者あれど此以下酌婦専門の所。帝國館、明月樓、名古屋館の類は枚擧に暇あらざる程なり、中にも飛驒町のビヤホールや、大連湯の大將（一に親方と云ふ）の如きは、いの一番に當地に乘込んだので甘い汁を吸つてゐるとか

今日のカフエー大流行を比較すると二、三世紀も前のやうな氣がせざるを得ない。十月三十日の第二號による大連居住者の營業別は十月現在において

營業	數	營業	數
雜貨	一一二	食料品	三七
飲食	五五	旅館	五三
料理	六九	土木建築請負	三一
陶器	二	藥種	六
青物	四	魚類	五
印刷	五	湯屋	三
ラムネ	二	屠獸	三
貸家	四	牧畜	〇
海産	四	織物	七
解船	四	商船會社	一
靴革具商	二	造船	一
荒物	三	硫黄	一
馬車	一	回漕	二
提灯製造	一	興行許可	一
下宿業	一	漁業	一二
運送	二六	寫眞	九
時計	七	醫師	六
酒	四〇	醬油	一六
味噌	一五	石油	二
小間物	二	洗濯業	五
牛肉屋	七	書籍	二
雜誌	二	文房具	三
諸器械	二	鐵工	二
倉庫	一	石炭	一
潜水	二	糸	一

大連か旅順か

關東州を統轄する行政の中心を旅順に置くべきか、それとも大連に置くべきかといふことは當時の重大問題であつたらしく、いまだ決するに至らなかつたらしい、第二號の「茶の烟」では次ぎの如くに大連、旅順の品定めをやつてゐる

△茶の烟△今度新たに定められた關東總督府は總督に陸軍大將大島義昌氏、參謀長に陸軍少將落合豐三郎氏、民政長官に石塚英藏氏が任命されて、其他の幕僚も大抵遼東兵站監部から補任さるゝといふことだ△寛嚴宜きを得たる大島男を迎ふるに俊爽なる落合氏と、殖民地の經驗には申分なき石塚氏とを以てすれば今後遼東の政務は無論臺灣よりも速かに好成績を擧ぐるであらう△夫れにしても、總督府は何れの地に置かるゝであらうか形勢交通から以てすれば無論大連のモノだけれども唯形勢と交通と許りでは其位地を決する譯に行かぬ與國に對する政略上或は却つて偏僻なる旅順に置かれぬとも限るまい△夫に又、大連には官衙の明屋が誠に少ないけれど、旅順の方には夫れが幾らでもあつて、而かも皆大連のよりは立派な建物だから道理上、此方が總督府を置くに便利な樣にも思はれる△夫れで無くとも、元來旅順は役人町的に出來てる所で、大連は其反對の町人町だ役人町に役所が出來たとて、町人町の者は別に怪むにも又羨むにも及ばぬ話、如何夫れが却つて政治執行にも都合が好く、商業發達にも申分無い譯では無からうか△兎に角戰爭後の大連は露淸貿易の中間に立つて、非常に繁昌すべき運命を有してるのだから、此地の商人たる者は今後共に度胸を太くして御用商や軍隊相手の賣込みの夢を見ず、進んで正式の永遠的貿易に從事せられんことを望み度いものだ△然るに歸還兵士が吾妻橋を越へてコチラへ來んと云つて今日既に落膽してる商人が多いが、之ではトテモ大連商權擴張の任に當らしめる譯には參らぬ扨々情け無いぢやないか

總督府は都督府となり遂に旅順に鎭座することになつたが歴史は繰返すといふが、とにかく商人はその當時と今日と同じやうな心理狀態で商賣してゐることは不思議といへば不思議の次第である

新築社屋落成記念

一、社會奉仕部設置
イ、在滿陸海軍諸部隊及在滿警察團へ慰安娯樂器具寄贈
ロ、在滿邦人七十七歳以上の高齢者に對し敬老の意味を以て『喜字祝』に因み記念品を贈り表彰す

二、愛讀者優待大福引
イ、景品總額壹萬圓
ロ、當籤總數五千本
ハ、籤外讀者に漏れなく記念品贈呈

三、記念祝賀
イ、本紙後援支持者招待大園遊會
ロ、廣告展、廣告假裝行列

四、本社事業大擴張
イ、十三段制實施
ロ、滿日型超高速度輪轉機増設
ハ、紙面刷新大飛躍
ニ、印刷所機械更新増設

本紙創刊廿五周年

滿洲日報社

滿鐵の勇退社員に適當な職業を心配

社員會と農事會社がいよいよ來月三日協議會開催

滿鐵社員會では滿鐵今次の職制改正により勇退した社員中滿洲に止まる者のため適當なる就職を研究中であるがその第一回研究會は既に去る二十三日開催され取敢ず農事會社と連絡をとり同社の獅子窩方面における水田、農園方面に希望者があれば特別便宜を圖ることになり七月三日社員俱樂部にて社員會幹事、農事會社及び農事協會當事者の協議會を開催することゝなつた、これについて社員會某幹事は語る

世界的不況から日本內地の如きは各方面とも全く行詰つた狀態にあるので勇退した社員が內地に引揚げるのも相當考慮すべきことだと思ふ、從來でさへ退社後內地に引揚げた人で多く失敗し再び滿洲に舞ひ戾つた例は決して少くない、そこで最も地道ではあるが農園方面に資本を投じて郷土を作つて貰ひたいものだと思つてゐる

滿鐵荷主招待園遊會

滿鐵の荷主招待園遊會は恒例によりヤマトホテル屋上にて二十七日午後七時より開催されたがこれよりさき一階大廣間にて少女演藝舞踊（稻垣滿壽子、小野京子、西園寺代子嬢出演）獅子で出席者を喜ばせ、藤根鐵道部長の挨拶及び新任鈴木鐵道部次長の紹介あり後屋上の模擬店が開かれ日支の美妓連主客の間を縫ふて頗る盛會、九時過ぎ歡をつくして散會したが出席者は神田民政署長、村井商議會頭その他主なる荷主、新聞通信關係者、主人側大平副總裁、大藏、藤根兩理事ほか主客二百二十名餘であつた

遊興税の納入者僅に十八名

これも不景氣の祟り

大連市の特別税遊興税の四月分納入期限は五月二十六日になつてゐるが、六月十三日現在の調査に依れば賦課人員三百四十一名でその賦課金額は七千六百九十圓五十五錢になつてゐるがその中期限內に納入したもの十八名、金額百四十二圓九十七錢で期限後に納入した者は六十四名、金額九百六十一圓三十八錢になつてゐる、現在滯納者二百五十八名、金額六千五百八十五圓二十錢で納期內納入歩合は僅かに人員で五分二厘八毛弱、金額で一分八厘六毛弱であると、尚滯納者に對してはソレソレ督促狀を發付したが、不景氣に祟られて成績極めて不良である

畏し大御心

失業救濟、不景氣緩和に

離宮と御用邸御造營

【東京二十八日發電】宮廷費御節減の聖旨に基き編成される宮內省の明年度豫算は御料林材の賣行不振その他の收入減のため自然本年度よりも更に大緊縮をなすことゝなり目下各部局で取纏め中であるが、宮中では打續く不景氣のため一般事業界の不振、失業者激增の現狀を憂慮し明年度豫算には特に本年度を以て工事を打切るべく豫定してゐた伊勢離宮の工事および昨年畏き思召により土地買收だけにとゞめさせられた神奈川縣初聲村の御用邸御造營の工事費を計上すべく考慮中である、これは一に失業救濟、不景氣緩和に幾分たりとも貢獻したい趣旨であるため從來受容れてゐた在郷軍人、青年團等の熱誠なる勞力奉仕は謝絕し努めて一般勞働者を雇傭する方針であると

東久邇宮殿下

蒲田撮影所お成

【東京二十八日發電】東久邇宮殿下には二十七日午後三時半松竹蒲田撮影所にお成り大谷社長等の案內にて所內御視察「大都會」のセット撮御を御覽遊ばされ午後五時御歸還になつた

全英庭球選手權

第五日目成績

英皇帝行幸

【東京特電二十七日】廿七日の英國ウイブルドンに於ける全英庭球選手權大會第五日目には英國皇帝皇后兩陛下行幸啓あらせられ各試合とも緊張した、主なる勝敗左の如し

▲混合複試合二回戰

三木（九―七、四―六、六―四）グローヴァー（英）
トーマス（英）　サンディソン孃（印）

安部（五―七、六―三、六―三）マルフコイ（新西）
タケキー夫人（英）　エドワーズ（英）

安部組は不戰一勝したもの

▲男子單試合四回戰

クオフォード（濠）（九―十、五―七、四―六、七―五、六―〇）モルプルゴ（伊）
ムーン　ガスリニ

ユーシエ（佛）（六―三、四―六、六―二、六―一）レスター（英）

マンギン（米）（九―十一、三―八、六―〇）オースチン（英）

ドーグ（米）（六―三、六―三、六―一）デヴィッド（英）

▲女子單試合四回戰

ムーデー夫人（米）（六―〇、六―一）キヤンスタ一嬢（和）

マチウ夫人（佛）（六―四、七―五）サターズウエート夫人（英）

大統領を投獄す

ボリビアの叛亂

【アントフアガスタ（チリー）二十六日發電】ボリビヤ國ラパズ州一帶に亘つて二十六日革命黨の叛亂勃發し軍隊の大部分も參加し目下叛亂は益々その勢ひを增しつゝあるラパスの軍隊は現大統領ヘルナンドザイルス博士並びにハンス將軍を投獄し總ての新聞紙は停止された

首都の大部分占領

【アレキパ南米秘露廿六日發電】ボリビヤに起つた革命は政府側の旗色惡く革命軍は首都ラパスの大部分を占領した、又市中央部に衝突起り死傷者多數を出した模樣であるが、信電話不通である

明大水泳選手布哇遠征

【東京廿七日發電】來る七月十七日からハワイツイキー職勝記念プールにおいて擧行の汎太平洋水上競技大會に出場する明大村松主將以下鶴田、馬渡、佐川、武村、安田、鈴木、浦木八選手は午後零時四十分盛んな見送り裡に東京驛發途の途に上つた、ハワイでは全米學生水上競技大會の勝者エール大學と顔合せする

惡辯護士

着手金を騙り解任を肯ぜぬ

風上に置けぬ

最近市中における辯護士の增加と不景氣のために、彼等辯護士の或者は正當な手段では金が儲からぬ結果、殆ど詐欺、恐喝に等しき三百代言的な陋手段を弄して訴訟依頼人から金を捲き上げる等、惡辯護士の醜行は漸く世の視聽をひくに至つたが、茲に市內某辯護士は訴訟依頼人の**無智な**るに乘じ殆ど恐喝手段を以て着手金二百圓を騙取し且つその解任を肯ぜぬと云ふ破廉恥事件がある――市內聖德街在の滿鐵社員藤原秀夫（假名）は、に金一萬圓の遺產相續問題に關し市內藤場秀一辯護士（假名）に訴訟を提起せず穩談的に話をつけて貰ふやう依頼し、委任狀に捺印して同辯護士に交付したところ、着手金二百圓をとり、翌日藤原が再び同辯護士宅に赴いて訊したところ、同辯護士は、右の件は訴訟を提起する樣手續をとつた爲め印紙代として既に金を費消したから更に着手金を出せと要求され依頼人は大いに驚き、訴訟は絕體に避ける約束だつたのにと**不信を**詰つたところ、同辯護士は「そんな前日の話を直ちに變へる樣な人間は精神鑑定の必要がある、大連醫院の某博士は知人だからこれから直ぐ診て貰ふ自動車を呼べ」と恐ろしい勢で脅しつけた爲め、藤原は怖れをなしてほうほうの態で逃げ歸り、今後同辯護士が如何なる辛辣な手段を弄するや知れぬの前の二百圓は要らぬからこの事件と手を切つて呉れと頼み込んだるも同辯護士は相手にせぬ始末に、藤原は今更の樣に**驚いて**他の辯護士に泣きついて解任の手續を頼んだが同業の關係で誰も手を出して呉れず途方に暮れてゐる

撫順事件で市民大會

けふ開催する

【撫順・電二十八日發】廿七日開催されたる撫順大山坑下における我が鑛區侵害問題善後策有志大會は近年にない緊張裡に閉會したが寺西、古賀地方委員會正副會長、中島、大江、中原の實業協會正副會長、その他青年聯盟代表等は廿八日午前九時より同午後一時まで熟議の結果、愈々廿九日午後一時より實業協會に市民大會を開くことに決定した

龍口鯛の不漁で振はない州內漁師

漁獲激減に反して値段は暴落

氣遣はれる夏枯どき

本年龍口鯛の不漁はしばしば報ぜられた通りであるが五六月の漁期においてその漁獲高は前年の五割しかなく州內未曾有の不漁である 本年五月中の鯛漁獲高を見るも二萬九千五百貫、この金額四萬八千圓でお話にならぬ程だ、主要な鯛がこの不成績なるためひいては州內漁業は大漁獲減で本年五月中における州內總漁獲高は六十二萬貫餘、二十六萬八千圓餘で前年同月に比して十二萬一千貫、金額において十三萬六千圓を減じてゐる また出漁の**底網漁船**も本年七十五艘で前年の百十八艘に比して三分の二もない、かくの如く漁獲が少ないにも拘らず、銀安で支那人側の需要が少いため値段も非常に下落し、昨年の鯛一貫目の平均値は五十五錢であつたが本年は四十三錢に下落し、世の深刻な不景氣を物語るものである、これがため旅大間の漁師邦人二百四十名、支人一萬人餘は悲慘なる狀態に陷り本年鯛出漁に出たもので收支償つたものは殆ど無く、これからのち七、八月の夏枯時を如何に過ごすか途方に暮てゐる

水產試驗場ではこの窮狀に鑑み二十八日所屬船旅順丸を出して渤海一帶を測量して魚群を探し廻ることになつた、右について試驗場では語る

本年の不漁は未曾有で漁師は隨分困つてゐますが、內地からの出漁船を制限したりしてもなほ大漁獲減でした、また鯛が少かつたに拘はらず水產會に冷藏しないため、製氷會社で全部冷藏して了ひ會社で勝手に値をつけられるため漁師の方は少しも儲けになりません、夏枯時には漁船は大てい繫船されて了ひます が手繰網を利用して州內沿岸で鯛を漁つたら良いと思ひます、これでも本氣にやれば**二十萬圓**位の高は上る筈

海水浴場巡り（B）

安全で設備整ひ衞生上の心配も無い

今年また脫衣場を一棟增築

星ケ浦東海岸

後にヤマトホテル及び分館を控えた星ケ浦東海岸海水浴場は西海岸と黑牛島を境にしてジグザグに伸びてゐる。風致の上から言へば東海岸は、海岸線がだらしなく伸びて、西牛島に挾まれた西海岸に劣るが、足を切る貝も小岩も無く砂地許りで海水浴場としては西海岸より遙か安全である。

▽……△

從來星ケ浦の海水浴場といへば殆ど西海岸に行つて了ひ東海岸の方は餘り繁昌しなかつたが最近東海岸の眞價が大いに認められてきた たゞ同海岸は渚の凹凸が甚だしく干潮の時などは先の方に洲が露出したりして泳ぐのに不便な點があるので滿鐵地方課では同處の渚の凹凸したところを地均して、本年又脫衣場を一棟增築する等、諸施設に力めてゐる。昨年夏よりは聞場ホテルも出來、將來海水浴場としては東海岸の方が發展する兆があるが、滿鐵でも將來は海水浴場として東海岸に全力を注ぐ方針である。

▽……△

たゞ同海岸に近接した馬欄河の汚水が流入する虞ありとて昨夏衞生上問題になつたので當時同海邊の潮流關係を調査したところ、同河口から出た流れは沖の方へ行き西へ廻つて再び河口に戻つて行き、決して海岸近くには流入しないことが判明したから衞生上の心配もないこととなつた。

▽……△

然し未だ西海岸に比べては河童の數も少くその賑はしさも見られないが背にホテルを控へた此處は外國人が多く、華美な水泳着に包まれた男女の巨軀な肉體がブロンドの髮を散らして砂に戯れる樣は多分にエキゾチツク情緒を醸して居り同海岸浴場の特徴である【寫眞は星ケ浦東海岸】

床屋髪結さんの技術を試驗する

關東廳で規則を改正

關東廳では近く理髮、結髮取締規則の大改正を行ふ由で目下同廳衞生課では增田課長の査定を經て大體の成案を得たので近日審議室の審議にかけ廳令を以つて改正規則の發布を見る模樣である、而して從來の廳令に依れば理髮、結髮業を開始せんとするものは所定の屆出に依り所轄警察署の檢査を受けて直に開業し得るといふ簡單なるもので理髮師、乃至結髮師の技術の點等は全然顧慮されて居らず爲めに中には隨分怪しい理、結髮師等もあつたのであるが、今回は是等の弊害を除くため內地と同樣試驗制度を設け又技術の點のみならず總ての設備、衞生等も充分考慮されてゐる尚一面試驗制度に就いては鮮支人の營業乃至民度等の關係から果して內地同樣の方法に依り得るや否や或は先づ試みに主要都市のみに限るか考慮中である

黑石礁水泳場は廿九日開場

模範游泳の順序決る

滿鐵水泳部の黑石礁における水泳場開場式は二十九日午前九時より擧行されることゝなつたが當日の模範游泳の順序は

一、式泳　和田、奧村、鈴木

二、横體游方

▲一重伸、水府流奧村、入江、和田

▲眞游方、神傳流、關屋

▲二重伸、水府流、鈴木

▲三段伸、神傳流、關屋

▲諸手伸、神傳流、關屋、奧村

▲諸手伸、水府流、寺島、入江

▲拔手伸、水府流、和田、鈴木

▲片拔手一重伸、水府流、江夏、鈴木、奧村、入江、島

▲片拔手二重伸、變體水府流、和田

三、平體游方

▲平伸、水府流、和田、奧村

▲兩輪伸、水府流、寺島、島、伴、村田、中西

▲大拔手、水府流、和田

▲片手拔、神傳流、關屋、村田

四、浮身及沈身法並應用游方

▲伏浮、立浮、横浮、奧村、入江、村江

▲仰浮、沈身、和田

▲水書、島、伴、和田、江夏、關屋

▲前鴨後鴨、奧村

五、拭手雁行、一同

▲手足搦、奧村

六、跳込方

▲式跳、關屋、島、伴

▲逆下、伴

▲竹跳、寺島

▲武者跳、伴

七、雜行、寺島

▲遊發、關屋、島、中西

▲蹴クロール、バツク、ブレスト小野田、宮畑、新歸朝の關屋總監氏游方等が行はれることゝなつてゐる

薄給ゆゑにこの惡事

・油斷ならぬ傭主

二十六日午後四時ごろ市內臥龍臺一番地の大連檢察局春木檢察官事務取扱の宅へ二十二、三歲位の浪速町某呉服店の店員が丁稚に事をひかせて呉服の行商に訪れた、春木夫人がいろいろ應待してゐると件の店員は二十三圓の正札付紬一反を賣付けやうとしてだんだんセリ下げ六圓五十錢までに負けたので夫人は不審に思ひ質すと店員は「奧さん、我々店員は僅かの月給では食つてゆけません、そこで主人の目をかすめ、行商に出る時、二、三反誤魔化して持ち出すのですが、賣殘つたといつて店へ持つて歸ればすぐ暴れますから捨値で賣つて了ふのです」と正直に本音を吐いた、そこで夫人は「宅は檢察局に出てゐますがもう四時すぎですから歸つたら相談するから待つてゐて下さい」といふや件の店員は眞蒼になつて取擴げた呉服物を仕舞込むなりほうほうの態で逃げて歸つたと

です、とにかくこの頃の漁師の不況は實にひどいものですよ

る、而して午後一時からは餘興その他で來會者を喜ばせると

一家五人のピストル心中

失業苦から

【東京二十八日發電】市外瀧ノ川田端二九三無職稻垣留吉（四十）は二十八日夜半に妻と子供四人を拳銃で射殺し己も拳銃自殺し一家心中をなした、原因は失業苦からである

武器賣込運動失敗

時局近所方の戰亂に乘じ目下別府に亡命中の張宗昌氏再起說でこれを取卷く連中の運動は日に增し猛烈を極めつゝあるが、市內芝狹町二四七番地居住の藤田洋行大連出張所員の藤田虎次郎も、先般來前後二回にわたつて目下星ケ浦に居住の元張宗昌氏部下方永昌氏を訪れその際屈強の男二名を伴つたゝめ方氏はこれをひどく恐れその筋に對し取調方を依頼して來た、同人は張氏再起の噂に特別な關係ある方氏に對し武器賣込み運動を試みたらしく、それも遂に失敗に終つた模樣である

修養團支部の献金

修養團大連支部では國債償還獻金實行會を組織し一般團員から獻金募集中であつたがこの程三百三十六圓の献金が集つたので二十七日總代岩井勘六氏は大連民政署に屆け出た

勳章事件判事

【東京二十七日發電】天岡前賞勳局總裁に係る勳章事件の裁判長は東京地方裁判所刑事第六部垂水克己判事と決定した

野依氏捕はる

【東京二十七日發電】過般の總選擧で大分縣より立候補落選した野依秀一氏は選擧違反に問はれその後行方不明であつたが某溫泉に潜伏中二十七日朝逮捕されたが他の事件にも關係ある模樣である

高松丸の海事審判

さきに龍口より來連の途次あやふく坐礁せんとした高松丸船長西原市太郎氏に絡まる海事審判は廿七日午前海事審判室において木村理事長立會のもとに行はれたが理事官平興江原、關根兩委員、岡本姿戒飭を論告、これに對し來月七日午前十時より判決言渡しがあると

名札を出しませう

沙河口署では最近同署管內居住者にして世帶主門標掲出のなき者が非常に多くなつたので、來る十月一日の國勢調査を前にしてこれが掲示方を受持署員が一齊に各戶を訪問して勸誘することゝなつた

不用品入札競賣廣告

品名及數量　鐵屑及廢品約一五〇〇噸　不要機械六〇〇屯

入札月日　七月三日午前十一時

即時開札

入札場所　於中央事務所用度係

現品下見　七月一日、二日

保證金　見積金額ノ一割以上

炭礦部經理課

日活現代劇臺本より

この母を見よ (四六)

崎面座同人構成

其の翌朝――

夜が明けた大都市は瞬間にしてわき返るやうな活動が始まつた。車馬は轟々と音を立てゝ電燈、電話の架線は朝の大氣を呼吸して輝いてゐた。

其の賑かしさに調子を合せるかの如く元氣に、繪の道具を持つた倭子が、造花工場へと急いでゐた。

都會は種々雑多な動きを呈してゐた。或は立體的に、或は平面的に、或は大ビルデングは日に見得ぬ活動を續けてゐた、

と、元氣よく歩いてゐた倭子は突然迷惑さうに顔色を變へて、立止まつた。

が、等は耐しつこくも後を追ふのであつた。

突然行途に瑠璃子の顔が現はれた。そうして皮肉な笑を浮べつつ倭子と等の爭ひの間に這入つて來た。

満村さん！ おたのしみ…… みつともないわよ！

瑠璃子は當惑さうな倭子と、茫然としてゐる等を尻目にかけて去つて行つた。

やうやく等の手より逃れる事の出來た倭子も、瑠璃子の後を追つて工場へ急ぐのであつた。

好機を逸した等はじつと倭子の後姿を見送つてゐたが、やがて――

神よ！

倭子を待ち受けてゐた等が、馴れ馴れしく近づいて來たからである。

桑木さん 待つて居りました もう僕の――

無理に逃れやうとする倭子、それを逃さじとする等、二人は力の限り爭ふた。

止むを得ない場合は プラトニックな讃美で 滿足するが…… さうでない場合は なか〳〵プラトニック ではない…… それが男である――

等は倭子の背から縋ついた。其の時等の手にかゝつた倭子の繪の罐が……ガラン……と大きな音を立てゝ落ちた。

落ちた罐の中には……何も這入つてゐない。二人はハツとして顔を見合せた。

落花工場では、多くの女工達が相變らず、夫人の監視の下に機械的に手を動かしてゐた。

常の罐を拾ひ上げた倭子は周章てゝ等の手から逃れやうともした

お前に一つ 云ふ事がある、 お前は…… 頓馬だツ！

工場では、今夫人が神の御名の下に女工達に演説を始めてゐた。

「一寸御無理な御注文でしたが、皆樣に少しでも多くのお金を働いて戴かうと思ひまして……

同情週間の花章を 受けました

夫人は取り澄ました顔で賦にかけられてゐるキリストの像をあふぎ見た……が、そのキリストの頭から壁時計にかけて一匹の蜘蛛がたくみに其の網を張りつゝある事には氣がつかなかつた。

非常に忙しい御注文なので今夜から 二時間の夜業を行ひ、 お給金は二時間、 十五錢と決めます

二時間の夜業が十五錢……女工達は顔を見合せ、それから壁のキリストを見上げた。くもの巣……キリストの頭の蜘蛛の巣……それが女工達の目に寫つた【寫眞細花久子、大原仁美】

新刊紹介

▲海軍と航空(七號、日本海々戰記念號)勇ましい日本海々戰當時を偲べる寫眞を添へ方一杯の編輯振、日本海々戰廿五周年を迎へて(池田龢之助)偉なる哉リツワナ艦長(下位春吉)等(定價八十錢東京芝櫻田本鄕町內田ビル其社發行)

▲西鄕南洲續編(伊藤痴遊全集)前編で南洲の隆盛落まで執筆した著者は、其の後の政府と隆盛の軋轢を叙し、實權を得た大久保の活躍から有名なる十年の西南戰爭に筆を進め熊本籠城、谷村計介の活躍、兒玉參謀の苦心と宍戶正輝の奮闘、乃木少佐の苦戰ゝ聯隊旗、そう言つた方面を裏面から面白く描き出し、城兵の突破戰と協同隊の補史までを記してゐる(豫約本東京麴町六番町平凡社發行)

▲經濟國難打開の途(中外商業新報經濟部編)金解禁以來約半歲、今や日本は國を擧げて經濟國難に當面してその切拔策にあえいでゐる、勿論兩野二大政黨或ひは無產黨のその對策は別としても等しくこの事實だけは認めてゐる、本著には日本各方面の代表的事業會社の社長、取締役はぢめ經濟學者等五十一氏の經濟國難打開對策の意見を纏めて收錄し卷末に井上藏相の財政方針演說、三土前藏相の質問これに對する濱口首相、井上藏相の答辯を添えてゐる、(四六版二百九十四頁定價一圓五十錢東京京橋第一相互千倉書房發行)

▲成功指導外務員のために(馬場部著)販賣戰の尖銳化は當然に外交員の向上とその必要を增大し、各營利事業とともにその重大性を認められるやうになつた、本著は福德無盡株式會社長たる著者がその經驗から若き外交員に呼びかけた言葉、その資格方法等を說いてゐる(百二十九頁定價八十錢京城南大門通三福德無盡時報社發行)

懸賞詰聯珠發表(八)

題名「葉櫻」正解 上木三山調

【白(十四)の「ほ」に來る分】

(十三)の四追に對し白(一四)と何氣なく三聯を引いたのは攻防ある絕妙の一手にして本懸賞案の大眼目である、然かも本變化を明示したもの僅かに二案、有段者にして此點を逸したものさへあつたのは甚だ遺憾であつた。此時黑手拍子にて「い、ろ、は、に」の四追を敢行せんか立ち所に「乙、甲」と乘られて黑敗衄の憂目を見るのである。黑靜かに(一五)と入るは之又妙手であつて眞に葉櫻の蔭冷やかなる觀がある。

▲(二十三)後「甲」の勝(三十五珠打止)

▲(十六)の(十八)は「十九二十一、い、甲」の順

▲入賞者

一等 ナシ

二等 大連市乃木町七安達方 原口勝美

佳作 旅順市櫻立町一〇 吉田滿雄

同 奉天松島町一二高辻興衛

同 大連市磐城町一五九 野本晴次

(以上五十音順)